

現場説明事項

工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）

担当部署 総合政策部 管財課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立諏訪小学校のトイレを改修する。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2に基づき、受注者は特別管理産業廃棄物管理責任者を選任すること。
- 3) 令和2年8月20日までに現場使用前検査を受け、令和2年8月25日（始業式）には使用できるように、引渡しをすること。
 - ・令和2年6月15日より施工可能とする。
 - ・令和2年7月20日（終業式）以前のアスベスト除去工事は、騒音の関係上、学校休業日におこなうこと。
 - ・主な工事の施工期間は、学校の夏季休業期間とすること。
 - ・令和2年9月18日までに竣工検査をおこない引渡しを完了すること。
- 4) 降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 5) 駐車スペースは、教職員も使用するため、工事車両5台・廃材コンテナ・現場事務所等程度とし、関係者（監督員・教育委員会・学校関係者）と協議し設置すること。
- 6) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。
- 7) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 8) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 9) ホルムアルデヒド等有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）等を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 10) 提出書類については、富士見市様式で遅滞なく提出すること。
- 11) 竣工図は、監督員と協議の上、CADデータを作成すること。

参考資料

設 計 仕 様 書

工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)

工事場所 富士見市 大字鶴馬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

令和2年2月14日付国土交通省公表の労務単価適用

工事名称		市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)											
請負工事費													
工事概要		管理棟トイレ改修 建築:床・壁・天井の内装改修 電気:照明器具の改修 機械:衛生器具・設備配管の改修											
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総括要表</td> <td>上段</td> <td>設計変更</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>下段</td> <td>原設計</td> </tr> </table>					総括要表		上段	設計変更			下段	原設計	備考
					総括要表		上段	設計変更					
		下段	原設計										
名称	摘要	数量	単位	金額									
直接工事費													
建築工事		1	式										
電気設備工事		1	式										
機械設備工事		1	式										
計		1	式										
共通仮設費		1	式										
純工事費													
現場経費		1	式										
工事原価													
一般管理費		1	式										
工事価格					スクラップ控除前 スクラップ控除								
改め													
消費税相当額		1	式		10%								
請負工事費													

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	倉庫、下小屋、現場事務所 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率) + (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0				
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	共通仮設費		積上げ分										
	交通誘導員 B		35人	1.0		式							
	A - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
B	直接工事費												
I	建築工事			1.0		式							
II	電気設備工事			1.0		式							
III	機械設備工事			1.0		式							
	B - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
I	建築工事費												
1	仮設工事			1.0		式							
2	建具改修工事			1.0		式							
3	ガラス工事			1.0		式							
4	内装改修工事			1.0		式							
5	金物工事			1.0		式							
6	防水工事			1.0		式							
7	塗装改修工事			1.0		式							
8	雑工事			1.0		式							
9	撤去解体工事			1.0		式							
	I - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	仮設工事						
	墨出し(内部改修)	個別改修	173.0	m2			
	養生(内部改修)	個別改修(床)	399.0	m2			
	内部足場	脚立足場	204.0	m2			
	整理清掃片付(内部改修)	個別改修(トイレ、廊下、階段、教室)	572.0	m2			
	引き渡し前 床ワックス掛け	水性 (材工共)	173.0	m2			
	仮設間仕切り	LGS 石膏ボード片面 B種	48.5	m2			
	1 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	建具改修工事					
	AW-1	830×815+465 カバー工法 既設撤去	8.0	箇所		
	TB-1	4,120×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-2	955-1415-1,100×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-3	630-730×1,900×40	1.0	箇所		
	TB-4	6,025-890×1,900×40	3.0	箇所		
	TB-5	900-1,330-1,213×1,900×40	3.0	箇所		
	PT-1	775×1,900×50	3.0	箇所		
	PT-2	1,575×1,900×50	3.0	箇所		
	PT-3	1,175×2,450×50	3.0	箇所		
	PS点検口	500×700	6.0	箇所		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	ガラス工事						
	型板ガラス						
		強化t4.0 ガスケット 両面清掃	5.6	m2			
	3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装改修工事						
	床						
	カチオンタイト塗布		113.0	m2			
	レベラー塗布	セメント系	109.0	m2			
	抗菌防滑性ビニル床シート	t2.0	141.0	m2			
	床シート施工費		141.0	m2			A代価-1
	モルタル塗り	t20	3.3	m2			
	腰壁						
	LGS65	@450 材工	28.1	m2			
	耐水合板	t12 材工	28.1	m2			
	化粧ケイカル板	t6.0 材工	27.1	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ホ°ストフォームカウンター	VPA W2,410×D150×t20	8.0	本			
カウンター取付費		19.3	m			
ホ°ストフォームカウンター	VPA W1,820×D150×t20	2.0	本			
カウンター取付費		3.6	m			
塩ビ製巾木	H65	15.4	m			
壁						
カチオンタイト塗布		273.0	m2			
耐水石膏ボードGL工法	t12.5	287.0	m2			
化粧ケイカル板	t6.0	280.0	m2			
LGS65	@450	16.4	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製枠						
	30×45 スプルー	35.9	m			
モルタル塗り						
		7.5	m2			
廻縁						
塩ビ製						
		185.0	m			
天井						
LGS19型						
	@300	146.0	m2			
化粧吸音石膏ボード						
	t9.0 不燃	146.0	m2			
4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	金物工事					
	平付けピクトサイン	150×150	6.0	枚		
	突き出しけピクトサイン	150×150	2.0	枚		
	モップハンガー	3本掛け	8.0	台		
	モップハンガー取付費		10.0	箇所		A代価-2
	掃除用具入れ	500×1,900×600	4.0	箇所		
	天井点検口	電気設備工事用含む アルミ製 450角	11.0	箇所		
	床点検口	アルミ製 600角 鍵付	1.0	箇所		
	5 - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	防水工事						
	建具廻りシーリング						
		MS-2 10×15程度	75.2	m			
	内部シーリング						
		MS-2 10×10程度	105.0	m			
	6 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	塗装改修工事						
	EP-G塗装	木枠 細幅 糸幅100程度	35.9	m			
	EP-G塗装	木枠塗り替え 細幅 糸幅200程度 1級	35.9	m			
	DP塗装	PS点検口 錆止1級	2.1	m2			
	EP塗装	モルタル面塗り替え	81.8	m2			
	7 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	雑工事						
	床コンクリート塞ぎ						
	型枠	普通合板材、型枠（材工共）	7.3	m2			
	〃	同 運搬費	7.3	m2			
	コンクリート	生コン N24 スランプ18 小型車	1.6	m3			
	ポンプ車	打設手間共	1.6	m3			
	差し筋アンカー	横向き	108.0	本			
	鉄筋	D10 小口	17.4	kg			
	運搬、組立費	土間	1.0	式			
	土間金ゴテ押え		3.0	m2			
	8 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	撤去解体工事					
	撤去解体					
	床ハツリ					
	人研ぎ見切り	0.7	m2			
	床ハツリ					
	RCスラブ(鉄筋残し)	0.6	m3			
	床長尺					
		23.7	m2			
	床点検口					
	500φ 鋳鉄	1.0	箇所			
	腰壁					
	CBライニング、人研ぎカウンター	4.2	m3			
	壁					
	CB	23.3	m3			
	壁					
	モルタル、タイル部溝ハツリ	43.2	m			
	木製壁					
	仕上げ共	13.7	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製建具		13.0	m2			
天井	鋼製天井	150.0	m2			
トイレブース、パーテーション		102.0	m2			
人研ぎ流し		44.6	m2			
腰壁タイル	浮き部分のみ	1.0	式			
積込運搬費						
コンクリート類	2tダンプ 人力積込	72.9	m3			
ボード類	2tダンプ 人力積込	1.0	m3			
木材類	2tダンプ 人力積込	6.4	m3			
鉄類	2tダンプ 人力積込	1.0	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	処分費												
	コンクリート類												
		無筋		31.7		t							
	ボード類												
		解体系混合廃棄物(ボード類)		1.0		m3							
	木材類												
		解体系混合廃棄物(ボード類除く)		6.4		m3							
	鉄類												
		金属くず		7.5		m3							
	9 - 小計												

単価作成用紙

上 段	変更設計
下 段	原 設計

A代価-1			
内装改修工事	床シート施工費		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	張り手間	接着剤	0.30	kg			
		内装工	0.04	人			
	小計						
	改め						

(P - A 代 価 - 1)

(_____) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上 段	変更設計
下 段	原 設計

A代価-2			
金物工事	モップハンガー取付費		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内装工		0.06	人			
	その他	20%	1.00	式			
	小計						
	改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備工事費						
1	電灯・コンセント設備工事		1.0	式			
2	自火報設備工事		1.0	式			
3	撤去工事		1.0	式			
4	処分費		1.0	式			
	II - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯・コンセント設備工事					
	ケーブル (天井)					
	EM-EEF 1.6-2C	163.0	m			
	” ”					
	EM-EEF 1.6-3C	39.0	m			
	” ”					
	EM-EEF 2.0-3C	30.0	m			
	” (管内)					
	EM-EEF 1.6-3C	71.0	m			
	” ”					
	EM-EEF 2.0-3C	23.0	m			
	電線					
	EM-IE 1.6	105.0	m			
	合成樹脂可とう電線管					
	いんぺい PF22	99.0	m			
	アウトレットボックス					
	四角中浅	36.0	個			
	位置ボックス					
	四角中浅	17.0	個			
	ジャンクションボックス					
	四角中浅	28.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スイッチ	換気扇操作 SL	8.0	個			
	1P15A×2 金P付	1.0	個			
コンセント	2P15A×1 ET	28.0	個			
	2P15A×1 ロック式	8.0	個			
トイレセンサー	RAS	8.0	個			
照明器具	A	72.0	台			
	B	3.0	台			
2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	自火報設備工事						
	自火報スポット感知器						
		差動 2種	1.0	個			
	2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事					
	ケーブル	VVF1.6-2C	43.0	m		
	電線	IV1.6	240.0	m		
	1種金属線ぴ	A型	4.0	m		
	〃 コーナーボックス		8.0	個		
	合成樹脂可とう電線管	PF16	12.0	m		
	スイッチ	1P15A×2	1.0	個		
	〃	1P15A×1+1P15A L付	8.0	個		
	コンセント	2P15A×1	8.0	個		
	照明器具	直付・富士型 FL40W×1	16.0	台		
	〃	壁付・カバー付 FL40W×1	8.0	台		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具	直付・富士型 FL40W×2	3.0	台			
<弱電>						
自火報スポット感知器	差動 2種	1.0	個			
3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	処分費						
	スクラップ（有価物）	ケーブル、電線	1.0	式			
	産業廃棄物	混合	1.0	式			
	〃	照明	1.0	式			
	リサイクル	蛍光管	1.0	式			
	産業廃棄物 収集運搬	2t車 片道25km	1.0	台			
	リサイクル 収集運搬		1.0	台			
	4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
Ⅲ	機械設備工事費												
1	衛生器具設備工事			1.0			式						
2	給水設備工事			1.0			式						
3	排水設備工事			1.0			式						
4	換気設備工事			1.0			式						
5	処分費			1.0			式						
6	アスベスト保温材撤去			1.0			式						
	Ⅲ - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	衛生器具設備工事												
	洋風大便器												
		FV+普通便座+紙巻器+その他付属品		13.0		組							
	和風大便器												
		FV+普通便座+紙巻器+その他付属品		8.0		組							
	和風大便器用耐火カバー												
				6.0		組							
	小便器												
		センサー一体型ストール小便器		20.0		組							
	カウンター洗面器												
		MB500 L=2,000											
		洗面器×3,自動水栓		7.0		組							
	カウンター洗面器												
		MB500 L=1,200											
		洗面器×2,自動水栓		1.0		組							
	化粧鏡												
		360×460(耐食鏡)		23.0		枚							
	洋風大便器												
		FV+ウォシュレット(貯湯式・音姫付)											
		紙巻器+その他付属品		5.0		組							
	掃除用流し												
		S210		6.0		組							
	洗面器												
		L210C		1.0		組							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事費		1.0	式			別紙明細1
	1 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備工事					
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	20A (便所)	33.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	25A (便所)	43.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	32A (便所)	14.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	40A (便所)	8.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	50A (便所)	15.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)					
	65A (便所)	12.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	20A (便所)	11.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	25A (便所)	8.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)					
	32A (便所)	4.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩ビライニング鋼管(VD)	40A (便所)	2.0	m			
	50A (便所)	4.0	m			
ライニング仕切弁	50A 5kg	1.0	個			
	65A 5kg	3.0	個			
保温工事費		1.0	式			別紙明細2
ハツリ・補修費	100~150mm 75φ	1.0	式			別紙明細3
配管撤去費		1.0	式			別紙明細4
器具撤去費		1.0	式			別紙明細5

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温撤去費		1.0	式			別紙明細6
	切断・接続費		1.0	式			別紙明細7
	2 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水設備工事						
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	40A (便所)	12.0	m			
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	50A (便所)	12.0	m			
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	65A (便所)	3.0	m			
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	75A (便所)	10.0	m			
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	100A (便所)	20.0	m			
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 (RF-VP)	125A (便所)	6.0	m			
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	40A (便所)	27.0	m			
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	50A (便所)	25.0	m			
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	65A (便所)	32.0	m			
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	75A (便所)	30.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	100A (便所)	63.0	m			
掃除口	COA65	4.0	個			
掃除口	COA80	6.0	個			
掃除口	COA100	22.0	個			
ハツリ・補修費		1.0	式			別紙明細8
配管撤去費		1.0	式			別紙明細9
器具撤去費		1.0	式			別紙明細10
保温撤去費		1.0	式			別紙明細11
切断・接続費		1.0	式			別紙明細12
3 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	換気設備工事						
	FE-1壁用換気扇	SUSウエザカバー共 30cm 1,200m3/H	8.0	個			
	撤去費	30cm	8.0	個			
	4 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	処分費						
	陶器類		1.1	t			
	産業廃棄物		12.7	m3			
	鉄クズ		△ 573.0	kg			
	銅クズ		△ 117.0	kg			
	産業廃棄物 収集運搬	2t車 片道25km	4.0	台			
	5 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	アスベスト保温材撤去					
	レベル3(養生はレベル2)					
	作業台					
	立馬	179.0	m2			
	清掃片付(内部改修)					
	個別改修(トイレ)	179.0	m2			
	床養生					
	ポリシートt0.15二重	179.0	m2			
	壁養生					
	ポリシートt0.1	331.0	m2			
	粉じん飛散防止剤処理					
		179.0	m2			
	保護服					
	防塵マスク、防塵ゴーグル 手袋、防護服、ブーツカバー	1.0	式			
	エルボ配管撤去					
		179.0	m2			
	撤去材密閉処理					
		6.0	m3			
	集積運搬					
		2.0	台			
	廃棄処分					
	石綿含有産業廃棄物	6.0	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	6 - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 1 撤去工事費						
和風大便器		18.0	組			
洋風便器		8.0	組			
紙巻器		26.0	組			
小便器		23.0	組			
洗面器		1.0	組			
化粧鏡		23.0	枚			
ホーム水栓		30.0	個			
計						
別紙明細 1 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 2 保温工事費						
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	2 0 A (グラスウール)	33.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	2 5 A (グラスウール)	43.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	3 2 A (グラスウール)	14.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	4 0 A (グラスウール)	8.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	5 0 A (グラスウール)	15.0	m			
塩ビライニング鋼管 (VB)	便所					
	6 5 A (グラスウール)	12.0	m			
計						
別紙明細 2 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 3						
	ハツリ・補修費						
	ハツリ・補修費	100~150mm 75φ	33.0	か所			
	計						
	別紙明細 3						
	改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 4 配管撤去費						
塩ビライニング鋼管	20A ピット	7.5	m			
塩ビライニング鋼管	25A ピット	10.3	m			
塩ビライニング鋼管	32A ピット	3.2	m			
塩ビライニング鋼管	40A ピット	1.3	m			
塩ビライニング鋼管	50A ピット	1.6	m			
塩ビライニング鋼管	20A 隠蔽	22.8	m			
塩ビライニング鋼管	25A 隠蔽	43.8	m			
塩ビライニング鋼管	32A 隠蔽	12.9	m			
塩ビライニング鋼管	40A 隠蔽	12.0	m			
塩ビライニング鋼管	50A 隠蔽	12.7	m			

積算用紙

上段 変更設計

下段 原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	塩ビライニング鋼管	65A 隠蔽	8.1	m			
	計						
	別紙明細 4 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 5 器具撤去費						
仕切り弁	50A	1.0	個			
仕切り弁	65A	3.0	個			
計						
別紙明細 5 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 6 保温撤去費						
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		20A ピット	7.5	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		25A ピット	10.3	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		32A ピット	3.2	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		40A ピット	1.3	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		50A ピット	1.6	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		20A 隠蔽	22.8	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		25A 隠蔽	43.8	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		32A 隠蔽	12.9	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		40A 隠蔽	12.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		50A 隠蔽	12.7	m			
	塩ビライニング鋼管	グラスウール					
		65A 隠蔽	8.1	m			
	計						
	別紙明細 6						
	改め						

積算用紙

	上段	変更設計
	下段	原設計
	備考	

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 7 切断・接続費						
切断・接続	32A (鋼管保温有り)	3.0	か所			
切断・接続	50A (鋼管保温有り)	1.0	か所			
切断・接続	65A (鋼管保温有り)	3.0	か所			
計						
別紙明細 7 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	別紙明細 8 ハツリ・補修費						
	ハツリ・補修費	100～150mm 100φ	58.0	か所			
	ハツリ・補修費	100～150mm 150φ	43.0	か所			
	計						
	別紙明細 8 改め						

積算用紙

						上段	変更設計
						下段	原設計
名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 9 配管撤去費						
	鋼管	40A (便所)	3.0	m			
	鋼管	50A (便所)	62.9	m			
	鋼管	65A (便所)	32.7	m			
	鋼管	75A (便所)	28.6	m			
	鋼管	100A (便所)	91.1	m			
	鋼管	125A (便所)	5.8	m			
	計						
	別紙明細 9 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 10 器具撤去費						
排水金物	COB100	22.0	個			
排水金物	50T-5B	8.0	個			
排水金物	50T-5B	1.0	個			
排水金物	50T-14B	8.0	個			
排水金物	SNA65	8.0	個			
計						
別紙明細 10 改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細 1 1 保温撤去費						
保温撤去費	グラスウール 50A (ピット)	9.0	m			
	グラスウール 75A (ピット)	10.0	m			
保温撤去費	グラスウール 100A (ピット)	19.1	m			
	グラスウール 125A (ピット)	5.8	m			
保温撤去費	グラスウール 50A (隠蔽)	25.8	m			
	グラスウール 65A (隠蔽)	12.0	m			
保温撤去費	グラスウール 75A (隠蔽)	18.6	m			
	グラスウール 100A (隠蔽)	72.0	m			
計						
別紙明細 1 1 改め						

積算用紙

	上段	変更設計
	下段	原設計
	備考	

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細 1 2 切断・接続費						
切断・接続	100A	13.0	か所			
切断・接続	125A	1.0	か所			
計						
別紙明細 1 2 改め						

工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）

令和2年度工事

設計目録

総図面枚数 37枚

建築工事				電気設備工事				機械設備工事			
図面番号	図面名	改修前後	縮尺	図面番号	図面名	改修前後	縮尺	図面番号	図面名	改修前後	縮尺
A-01	表紙	-	-	E-01	電気設備工事特記仕様書	後	-	M-01	機械設備工事特記仕様書-1	後	-
A-02	特記仕様書(改修その1)	後	-	E-02	1階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-02	機械設備工事特記仕様書-2	後	-
A-03	特記仕様書(改修その2)	後	-	E-03	2階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-03	機械設備工事特記仕様書-3	後	-
A-04	特記仕様書(改修その3)	後	-	E-04	3、4階トイレ電灯・コンセント設備図	前後	1:50	M-04	凡例・系統図	後	-
A-05	特記仕様書(改修その4)	後	-	E-05	体育通路電灯設備図	前後	1:50	M-05	器具表	後	-
A-06	特記仕様書(改修その5)	後	-	E-06	2階分岐幹線図	前後	1:50	M-06	1、2、3、4階トイレ改修後図	後	1:400
欠番						前後	1:50	M-07	1、2、3、4階トイレ改修前図	後	1:400
A-08	案内、配置図	後	1:700			後	1:400			後	1:50
A-09	内部仕上表-1	前後	-							前	1:50
A-10	1階、2階平面図	後	1:400								
A-11	3階、4階平面図	後	1:400								
A-12	1階便所改修前図	前	1:50								
A-13	1階トイレ改修後図	後	1:50								
A-14	1階体育通路改修前後図	前後	1:50								
A-15	2、3、4階便所改修前図	前	1:50, 100								
A-16	3階トイレ改修後図	後	1:50, 100								
A-17	2、4階トイレ改修後図	後	1:50, 100								
A-18	2、3、4階廊下改修前後図	前後	1:50								
A-19	建具表(アルミ製建具)	後	1:5、50								
A-20	建具表(トイレブース)	後	1:50								
A-21	建具表(パーテーション)	後	1:50								
A-22	建具詳細図	後	1:5								
A-23	部分詳細図-1	後	1:5, 10, 20, 30								
A-24	部分詳細図-2	後	1:5, 10								

発注者 富士見市長 星野光弘
 設計 株式会社 柳井設計

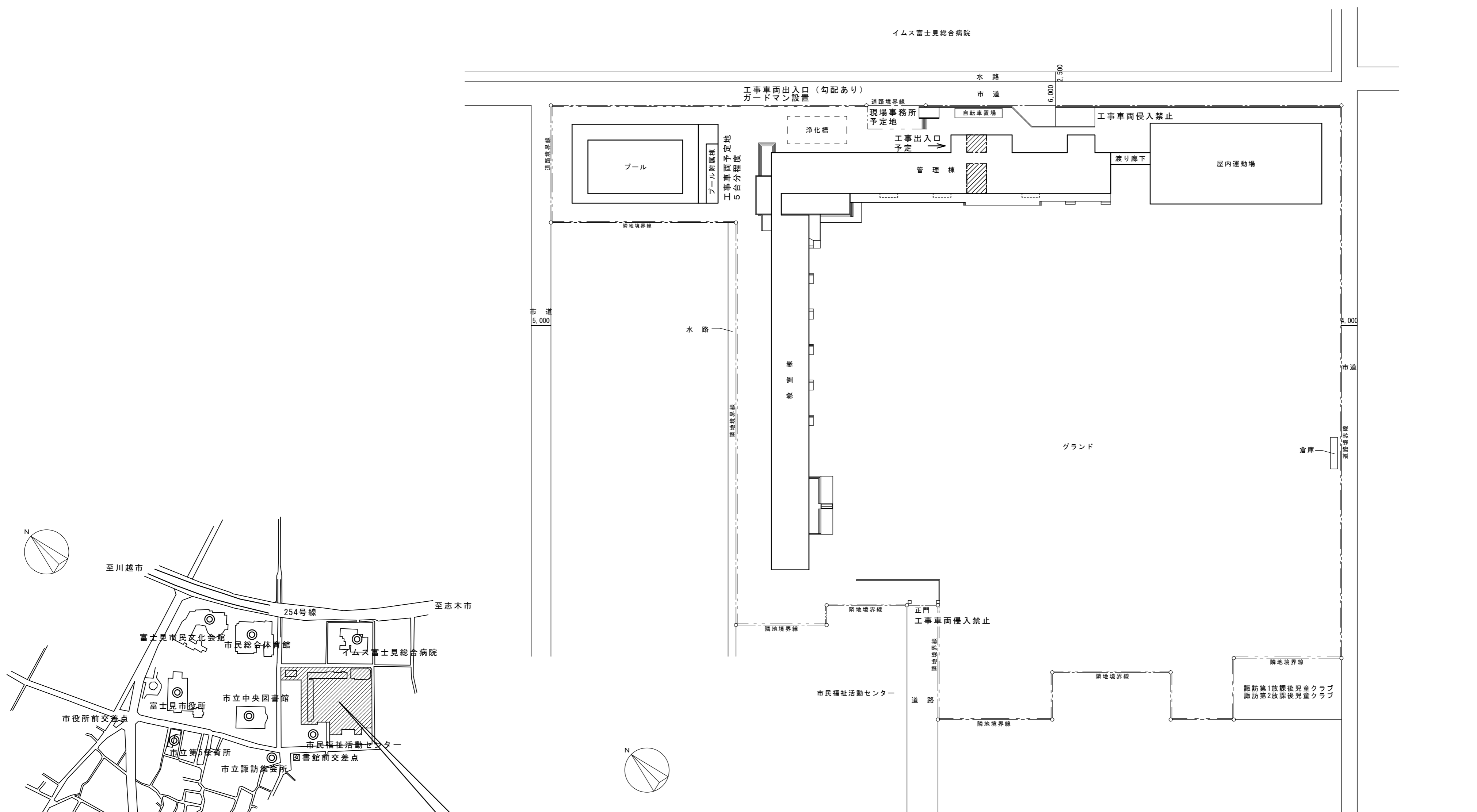
<p>7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4][表3.5.1~3]</p>	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・POS</td> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設ける</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設ける</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・S4S</td> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S3S</td> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M4S</td> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設ける</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POS1</td> <td>・SI-F1</td> <td>(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(ii)による</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設ける</td> </tr> <tr> <td>・S3S1</td> <td>(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S4S1</td> <td>・SI-M1</td> <td>(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設ける</td> </tr> <tr> <td>・M4S1</td> <td>(厚さ)・25mm</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・SI-M2</td> <td></td> <td>(厚さ)・25mm</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>脱気装置を設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・S-C1</td> <td rowspan="2"></td> <td>平場の仕上げ塗り</td> </tr> <tr> <td>立上り部の保護</td> </tr> </tbody> </table> <p>絶縁用シート</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POS	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける	・S-F2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S-M1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける	・S4S	・S-M2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S-M3			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S3S	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S-F2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・M4S	・S-M1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける	・S-M2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S-M3			・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・POS1	・SI-F1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(ii)による		・製造所の指定による		脱気装置を設ける	・S3S1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による		・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・S4S1	・SI-M1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による		・製造所の指定による		脱気装置を設ける	・M4S1	(厚さ)・25mm		・製造所の指定による		脱気装置を設けない	・SI-M2		(厚さ)・25mm		・製造所の指定による		脱気装置を設けない	種別	施工箇所	保護層	・S-C1		平場の仕上げ塗り	立上り部の保護	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 [1.5.2, 3]</p> <p>2 ポリマーセメントスラリー [4.2.2]</p> <p>3 既製適合モルタル [4.2.2]</p> <p>4-1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4~6]</p> <p>4-2 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>4-4 塗り仕上げ外壁</p> <p>1 所要量の確認 [4.6.2][表4.6.1]</p> <p>2 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整 [4.6.3]</p> <p>3 下地調整塗材 [4.1.5][4.2.2][4.6.5]</p> <p>4 仕上げ塗材仕上げ [4.1.5][4.2.2][4.6.5]</p> <p>5 マスチック塗料塗り [4.7.2][表4.7.1]</p>
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																																																																																			
・POS	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける																																																																																																																			
	・S-F2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	・S-M1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける																																																																																																																			
・S4S	・S-M2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	・S-M3			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
・S3S	・S-F1			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	・S-F2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
・M4S	・S-M1			・製造所の指定による		脱気装置を設ける																																																																																																																			
	・S-M2			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	・S-M3			・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
・POS1	・SI-F1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(ii)による		・製造所の指定による		脱気装置を設ける																																																																																																																			
	・S3S1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による		・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
・S4S1	・SI-M1	(材質)※改修標準仕様書3.5.2(C)(3)(i)による		・製造所の指定による		脱気装置を設ける																																																																																																																			
	・M4S1	(厚さ)・25mm		・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
・SI-M2		(厚さ)・25mm		・製造所の指定による		脱気装置を設けない																																																																																																																			
	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																						
・S-C1		平場の仕上げ塗り																																																																																																																							
		立上り部の保護																																																																																																																							
<p>8 塗膜防水 [3.6.2.3]</p>	<p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	<p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5.2.2][表5.2.2]</p> <p>6 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p>																																																																																																																					
<p>9 シーリング [3.7.2, 8]</p>	<p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	<p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5.2.2][表5.2.2]</p> <p>6 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p>																																																																																																																					
<p>10 とい [3.8.2, 3]</p>	<p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	<p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5.2.2][表5.2.2]</p> <p>6 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p>																																																																																																																					
<p>11 アルミニウム製建具 [3.9.2]</p>	<p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	<p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5.2.2][表5.2.2]</p> <p>6 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p>																																																																																																																					
<p>12 防水工事施工票 [2.1.2]</p>	<p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>既設防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p>	<p>4-2 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.10~15]</p>	<p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.5, 6]</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.2.2][4.5.9~15]</p>	<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5.2.2][表5.2.2]</p> <p>6 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p>																																																																																																																					

Table with specifications for building materials and components, including sections for steel fasteners, steel reinforcement, wood construction, and automatic door opening devices.

Table with specifications for overhead doors, glass, and glass blocks, detailing material types, performance standards, and installation methods.

Table with specifications for renovation work, including sections for renovation scope, removal of existing structures, and replacement of materials like tiles and floorings.

Table with specifications for pest control, interior finishing, and floor coverings, covering mold prevention, wall treatments, and carpet requirements.



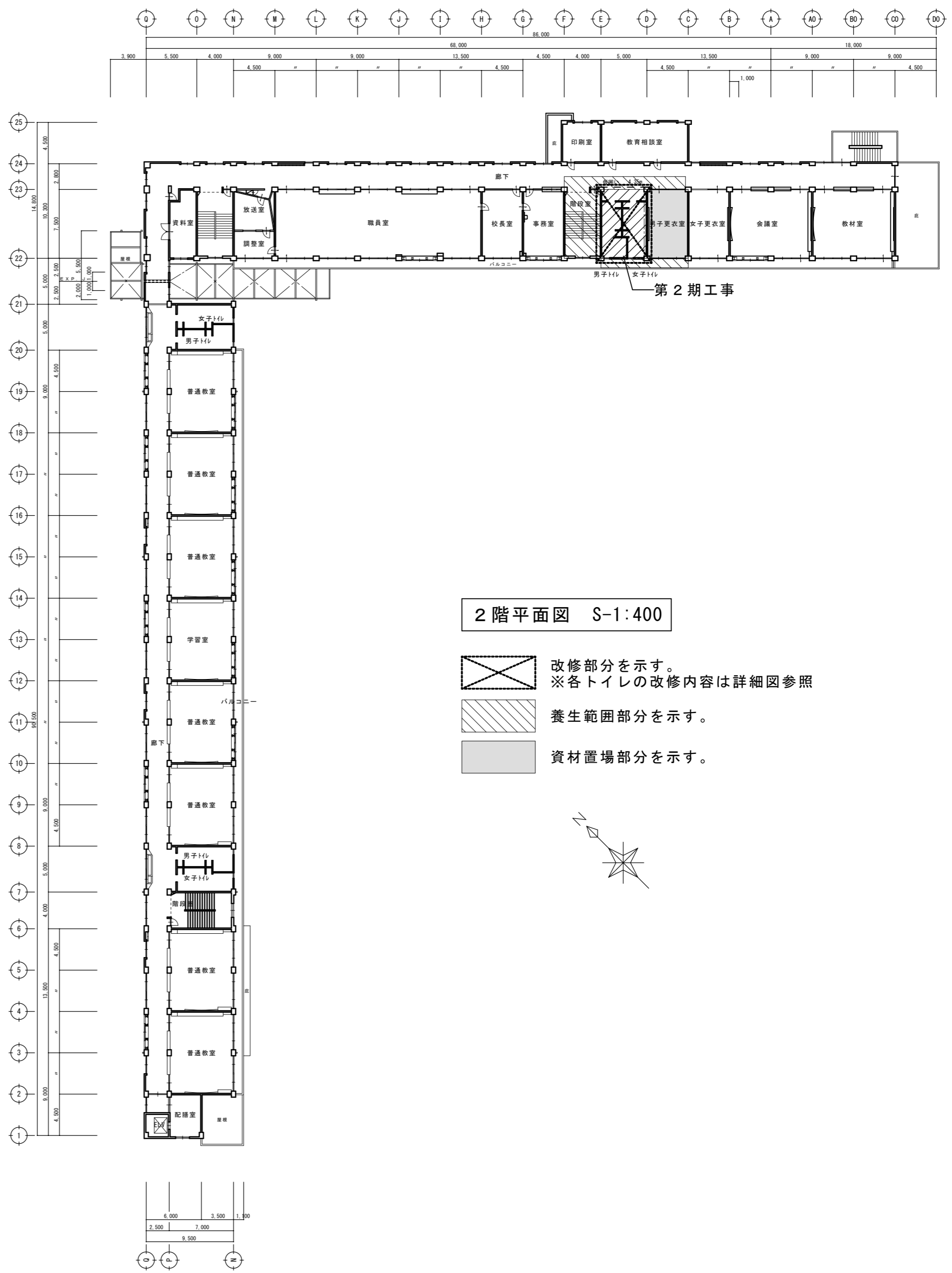
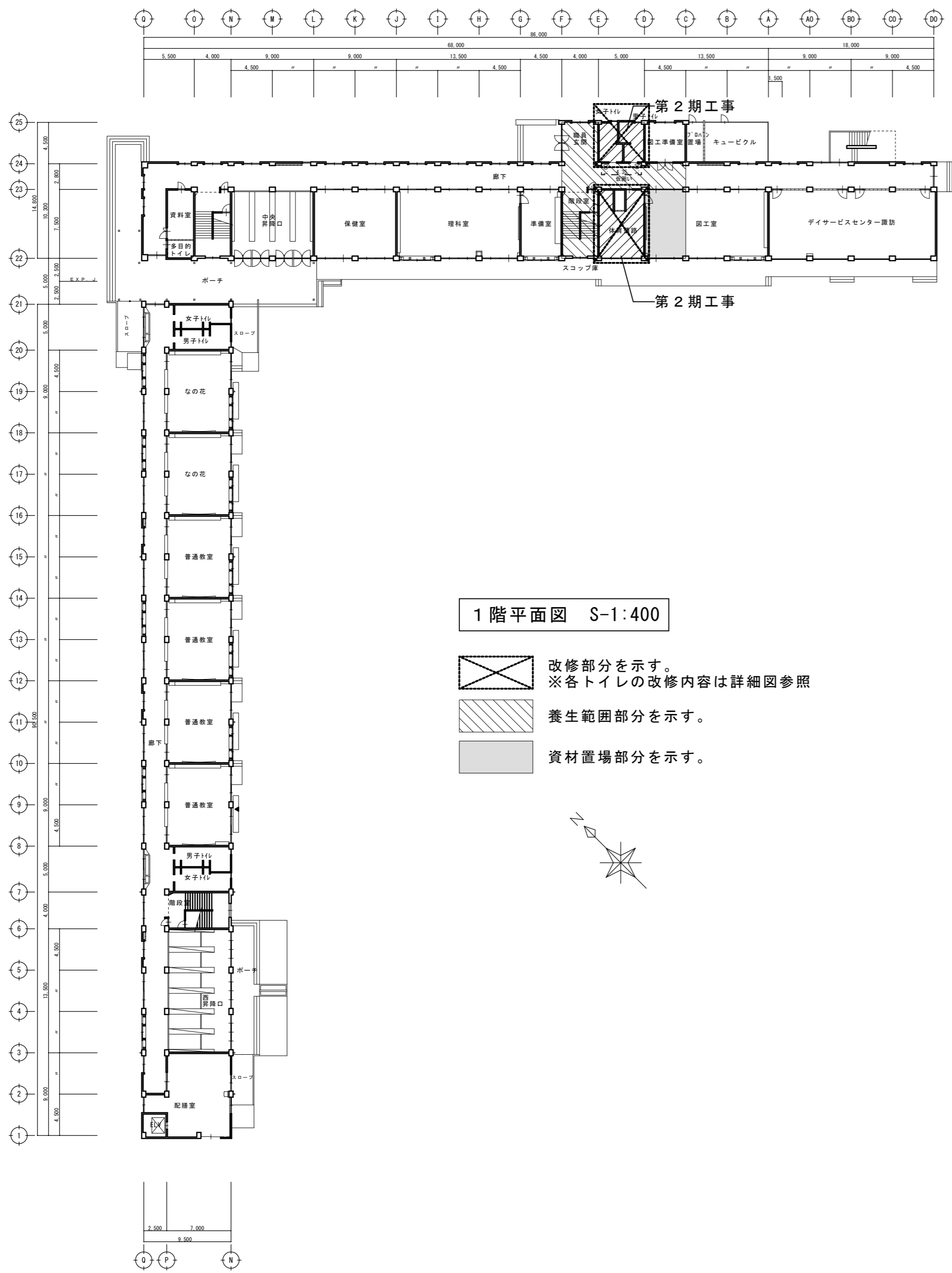
案内図 S-1:-

配置図 S-1:700

■ 施工場所を示す。

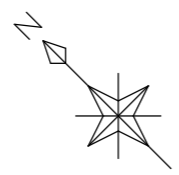
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)	図面番号 A
			登録番号 第85179号	変更年月日									図面名 案内図、配置図	S=1:- S=1:700

内部仕上表										
部位	記号		管理棟1階トイレ(男子、女子トイレ)		記号	管理棟2,3,4階トイレ、廊下(一般便所)				
			改修前	改修後		改修前	改修後			
床	A1	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル水勾配既存	モサ-イタイル25角上 カチオンタイコテ新設 床レ-ラ-50 2回打設新設 (宇都興産床レ-ラ-G) 床材巻き上げ新設 耐水工法 (タキロンシーアイ ネオクリン)	A1	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル水勾配既存	モサ-イタイル25角上 カチオンタイコテ新設 床レ-ラ-50 2回打設新設 (宇都興産床レ-ラ-G) 床材巻き上げ新設 耐水工法 (タキロンシーアイ ネオクリン)		
		仕上	モサ-イタイル25角既存	モサ-イタイル25角既存						
					A3	下地	アスファルト防水既存 シタ-コンクリートt100既存 モルタル既存	モルタル既存上		
巾木	B1	下地	壁と同一	耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	B1	下地	壁と同一	耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	壁と同一	防滑性ビ-ニル床シート2.0新設 床材巻き上げ H60		壁と同一	防滑性ビ-ニル床シート2.0新設 床材巻き上げ H60			
腰壁	C1	下地	モルタルt20既存	100角タイル既存上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	C1	下地	モルタルt20既存	100角タイル既存上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	100角タイル既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) 不燃NM-4339		100角タイル既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) 不燃NM-4339			
	C2 改修詳細図-2 男子16小便器12台	下地	人研カウンター150×30撤去 CB100ライニングH1200撤去 モルタルt20撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設	C2 改修詳細図-2 男子16小便器12台	下地	人研カウンター150×30撤去 CB100ライニングH1200撤去 モルタルt20撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設		
		仕上	100角タイル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) メラミンライニングカウンターW150t20新設 (アイ工業メラミンフォームカウンター-PVA) VP塗装既存上		100角タイル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品) メラミンライニングカウンターW150t20新設 (アイ工業メラミンフォームカウンター-PVA) VP塗装既存上			
壁	D1	下地	モルタルt20既存	カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設	D1	下地	モルタルt20既存	カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	VP塗装既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		VP塗装既存	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)			
	D2	下地	モルタルt80撤去	モルタルt80撤去上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		下地	モルタルt80撤去	モルタルt80撤去上 カチオンタイコテ新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5GL工法新設		
		仕上	VP塗装撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		VP塗装撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)			
					D3	下地	木製胴縁撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水石膏ホ-ト-t12.5新設		
						仕上	化粧ハ-ネル撤去	化粧ケイカル板t6新設 (アイ工業ルナライトカー-常備品)		
				D4	下地	モルタルt20既存	VP塗装既存上 下地調整			
					仕上	VP塗装既存	EP塗装新設			
廻縁	E1	下地	-	-	E1	下地	-	-		
		仕上	-	塩ビ製廻縁新設 (フクビ化学工業F見切)		仕上	-	塩ビ製廻縁新設 (フクビ化学工業F見切)		
天井	F2	下地	天井裏コンクリートEP吹付既存 全ねじホ-ルトで仕上材吊り込み 撤去	打込式金属系アンカー新設 吊ホ-ルト新設 軽量鉄骨天井下地19型新設	F2	下地	天井裏コンクリートEP吹付既存 全ねじホ-ルトで仕上材吊り込み 撤去	打込式金属系アンカー新設 吊ホ-ルト新設 軽量鉄骨天井下地19型新設		
		仕上	仮設用保護ネットOP撤去	化粧吸音ホ-ト-t9.5新設 910×910 (吉野石膏スチートンD)ラス		仕上	仮設用保護ネットOP撤去	化粧吸音ホ-ト-t9.5新設 910×910 (吉野石膏スチートン・ライ) 準不燃QM-1864		
備考	※仕上材は、複数色とする予定 監督員と協議する事									
	G4	7&8製建具撤去 カ-リ付き内倒し窓	7&8製建具カ-工法新設 FIX内倒し窓 寸法、形状は建具表参照	G4	7&8製建具撤去 カ-リ付き内倒し窓	7&8製建具カ-工法新設 FIX内倒し窓 寸法、形状は建具表参照				
	G6	人研ぎ流し撤去	ホ-ウル一体手洗い器新設 (機械設備工事)	G6	人研ぎ流し撤去	ホ-ウル一体手洗い器新設 (機械設備工事)				
	G7	トイレ-ス撤去	トイレ-ス新設 寸法、形状は建具表参照	G7	トイレ-ス撤去	トイレ-ス新設 寸法、形状は建具表参照				
				G8	ハ-テーション撤去	ハ-テーション新設 寸法、形状は建具表参照				
				G9	CB100+モルタルt20+VP塗装撤去	ハ-テーション新設 寸法、形状は建具表参照				
				G10	木製建具撤去	鋼製PS点検口新設 500×700、D P塗装				
				G11	木製建具撤去	掃除用具入れ新設 寸法、形状は家具図参照				
	G12	床下点検口500φ撤去	床下点検口7&8枠600角 寸法、形状は建具表参照							
	G13 改修詳細図-3 和便器撤去部	和便器撤去 (機械設備工事)	鉄筋アンカーD10@200新設 RCスラ-t120打設新設	G13 改修詳細図-3 和便器撤去部	和便器撤去 (機械設備工事)	鉄筋アンカーD10@200新設 RCスラ-t120打設新設				
G15 改修詳細図-1 出入口3方枠	木製3方枠OP既存 人研床見切撤去	既存木製枠OP上DP塗装 トイレ側木製付見切30×45DP塗装	G15	木製3方枠OP既存 人研床見切撤去	既存木製枠OP上DP塗装 トイレ側付見切30×45DP塗装					



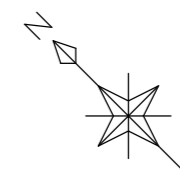
1階平面図 S-1:400

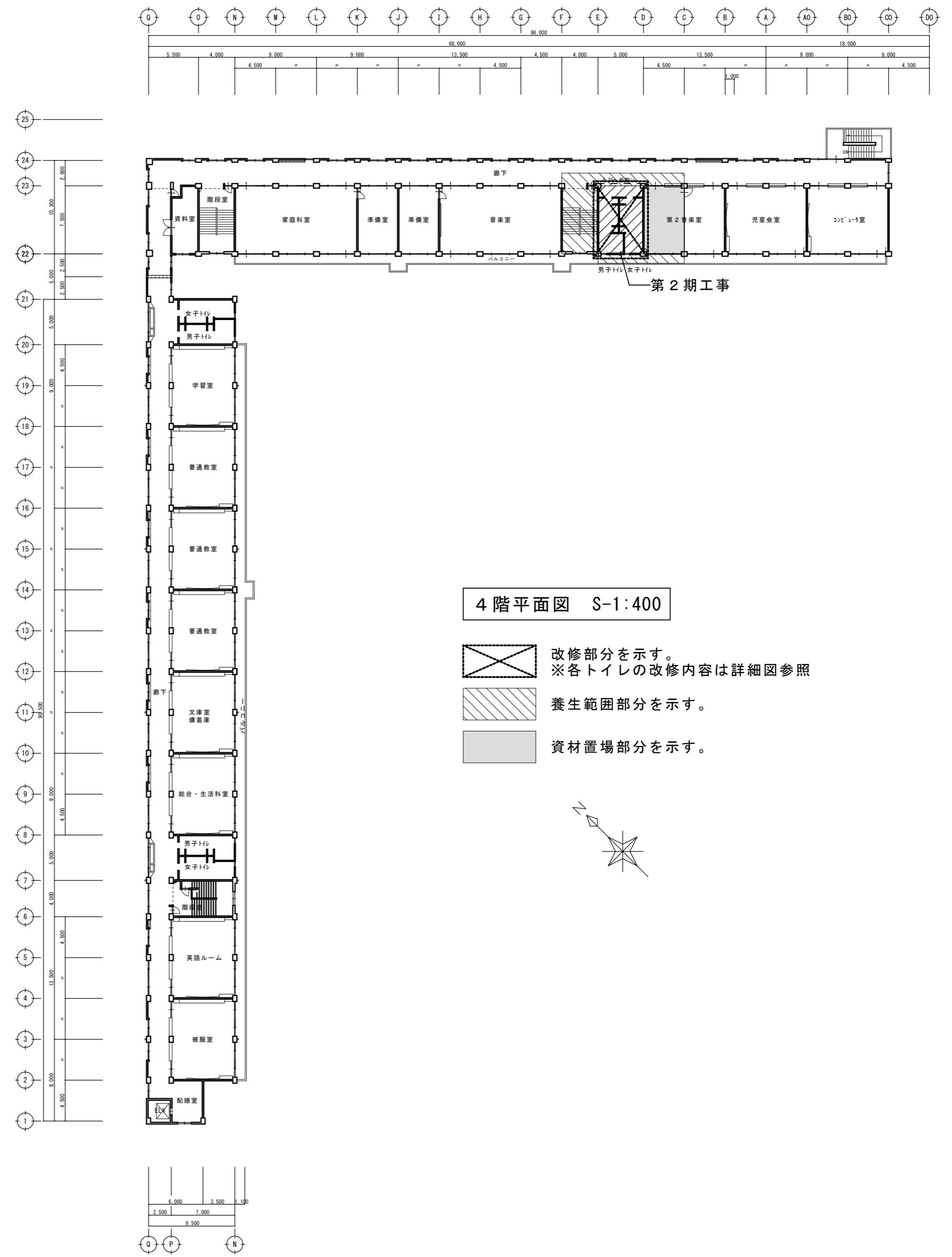
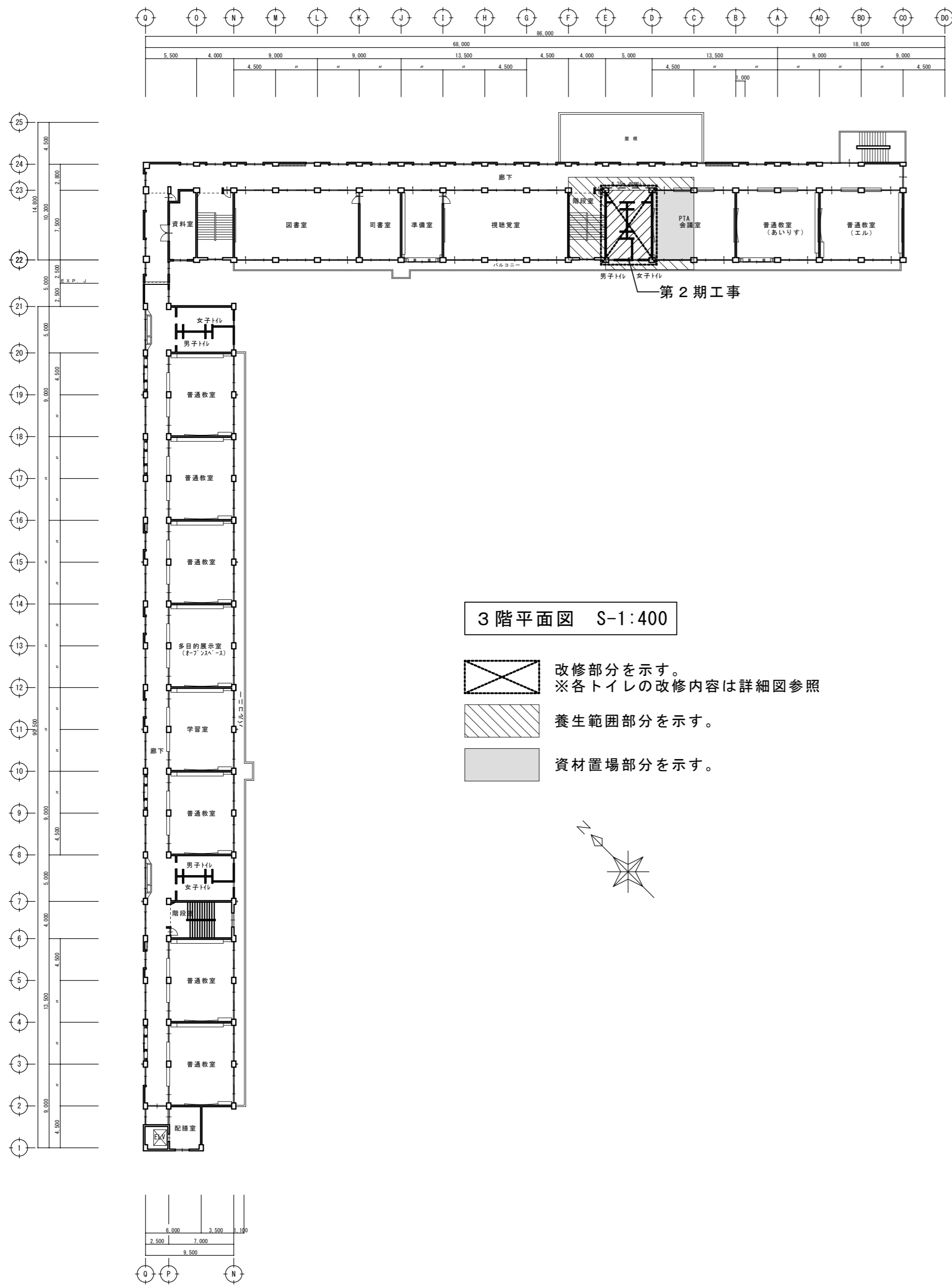
- 改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照
- 養生範囲部分を示す。
- 資材置場部分を示す。



2階平面図 S-1:400

- 改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照
- 養生範囲部分を示す。
- 資材置場部分を示す。





R1
富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisekkei@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 設計 製図

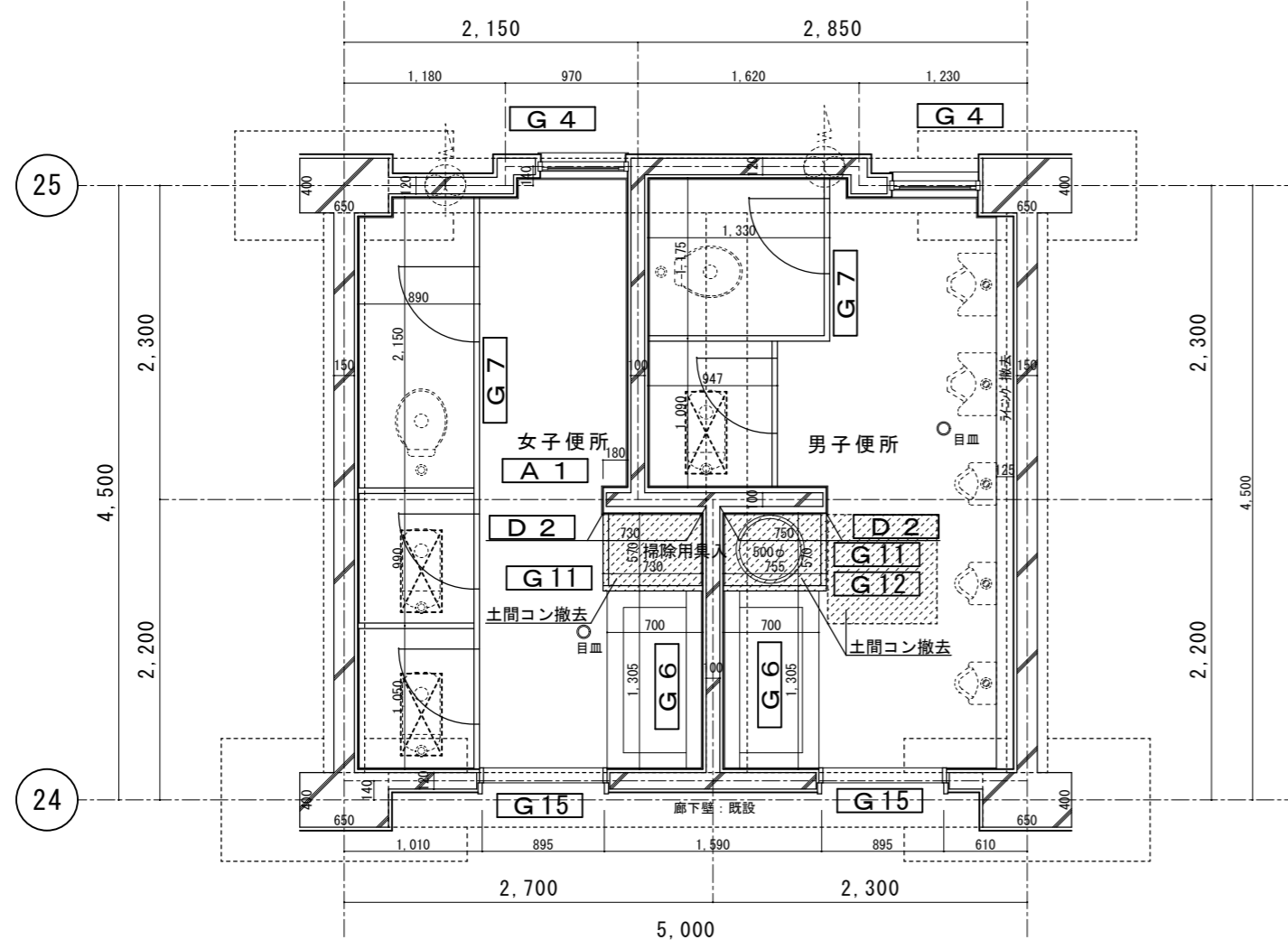
富士見市総合政策部
管財課

課長 副課長 主任 担当

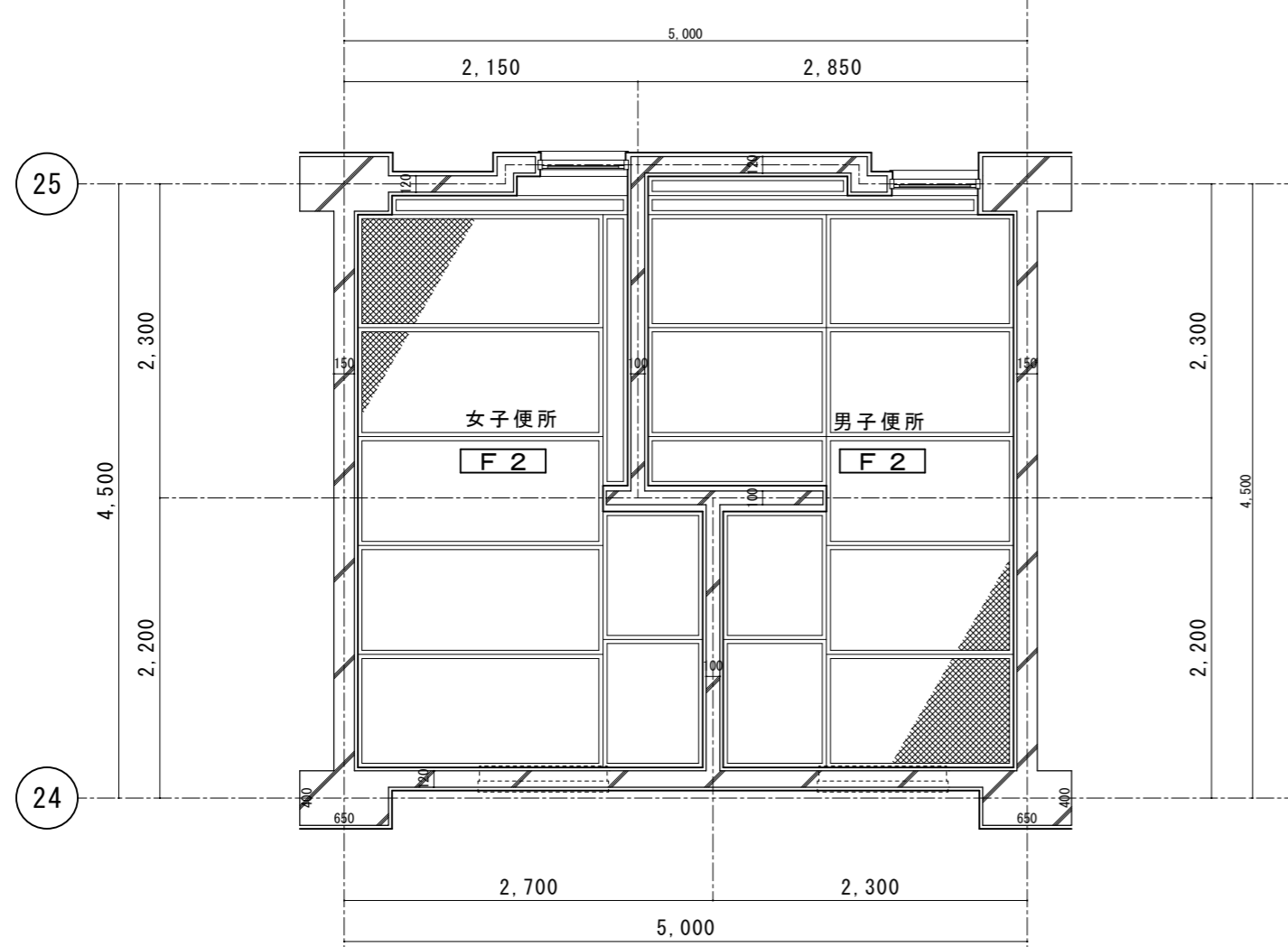
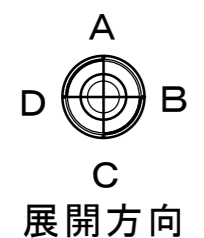
工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事 (第2期工事)
図面名 3、4階平面図 S=1:400

図面番号
A
1/1

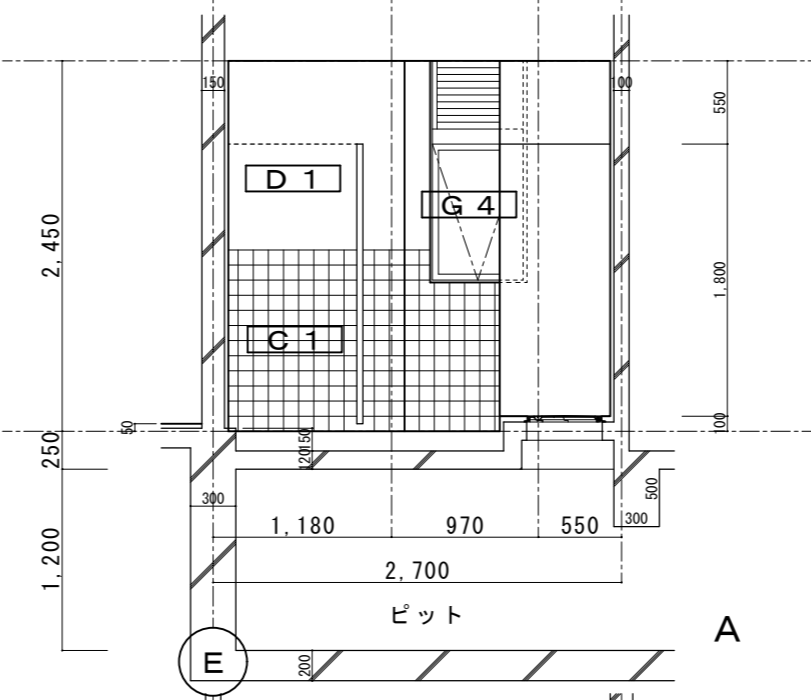
改修前



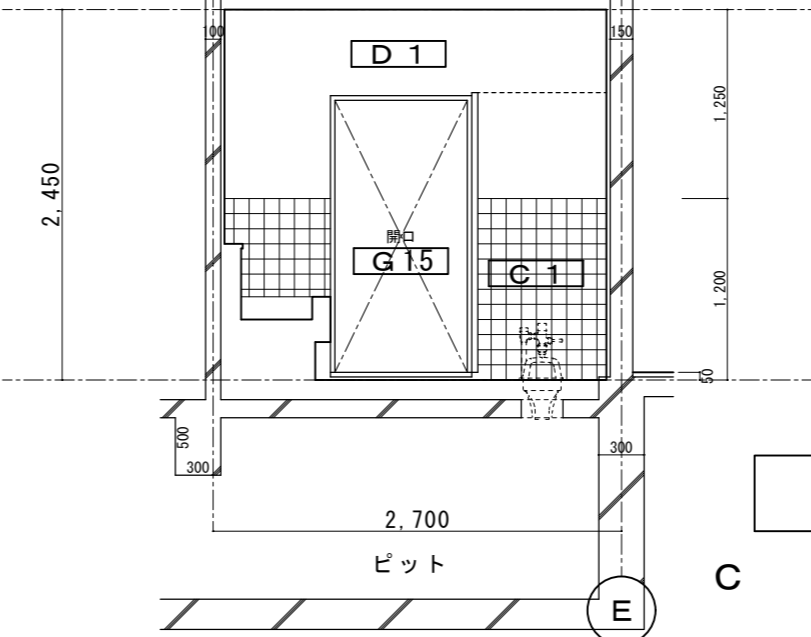
平面図 S-1:50



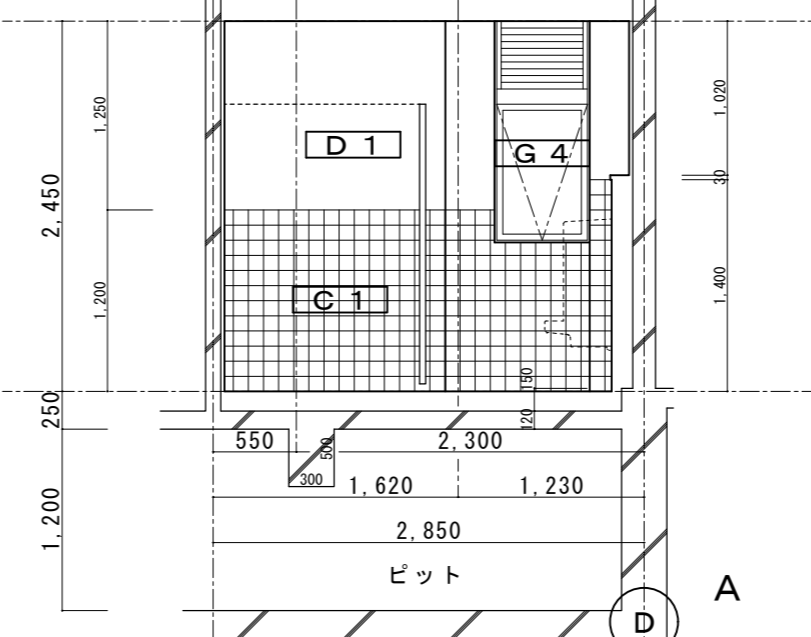
天井伏図 S-1:50



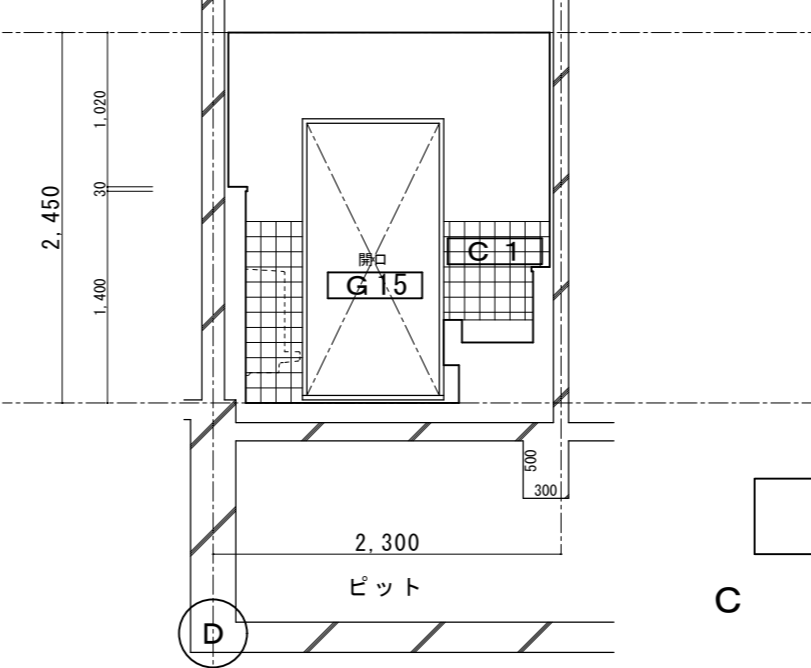
A



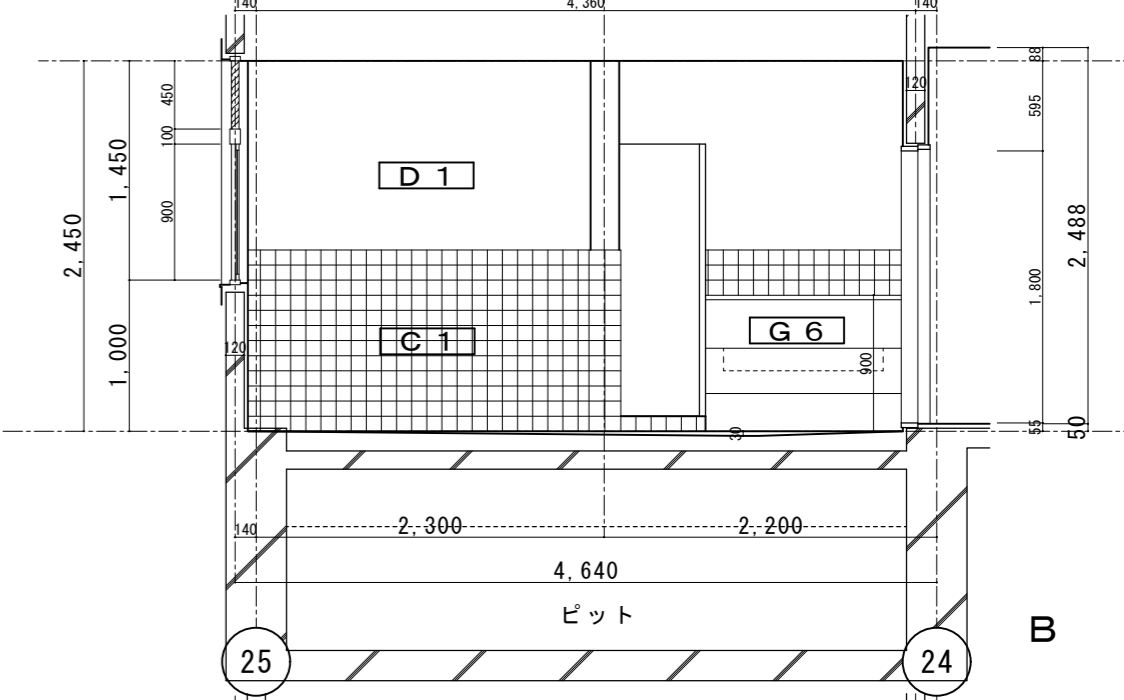
C



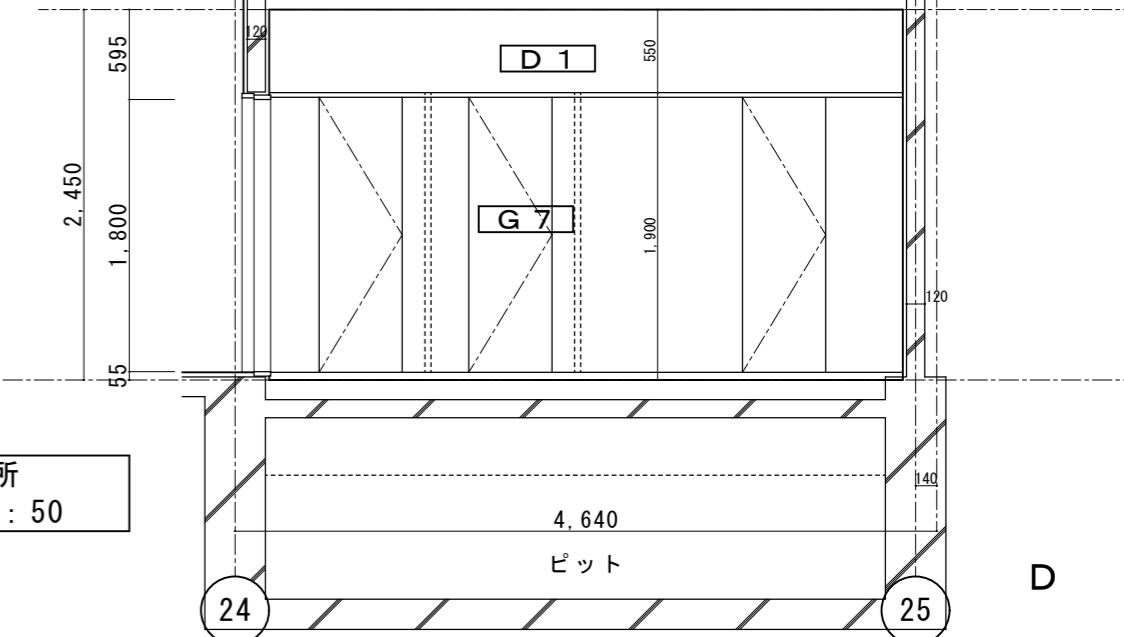
A



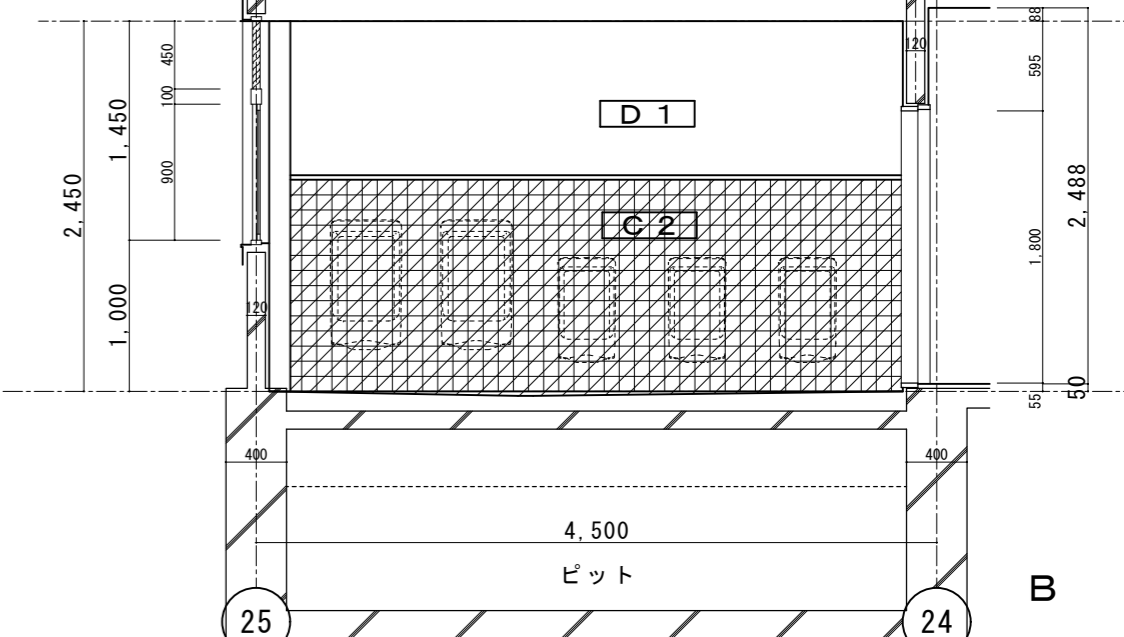
C



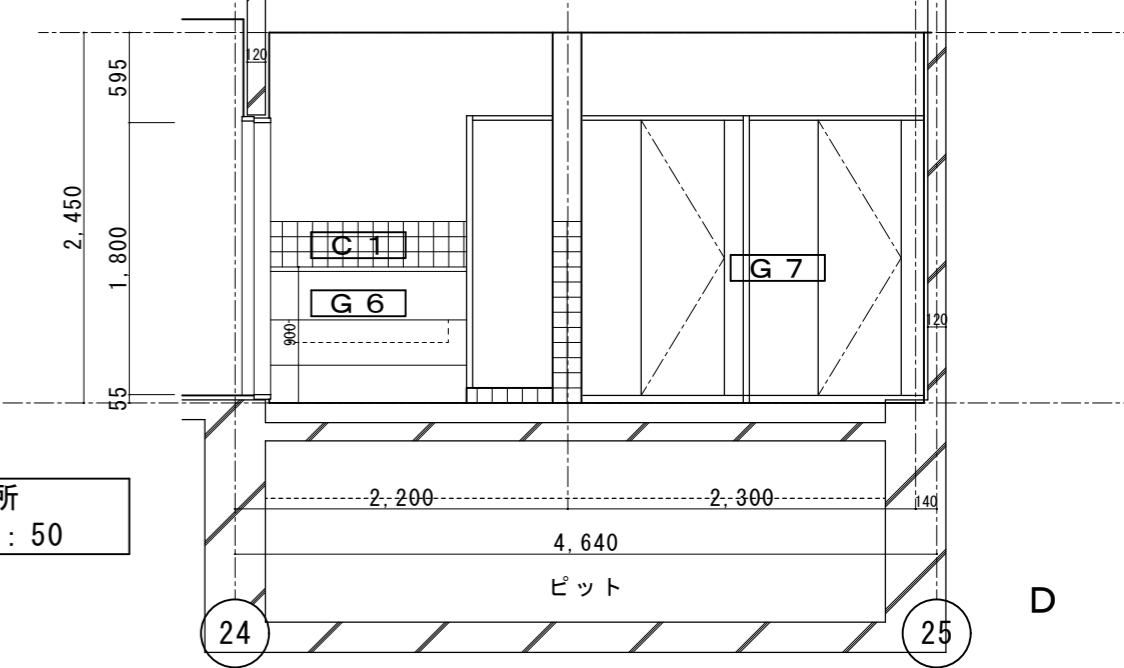
B



D



B

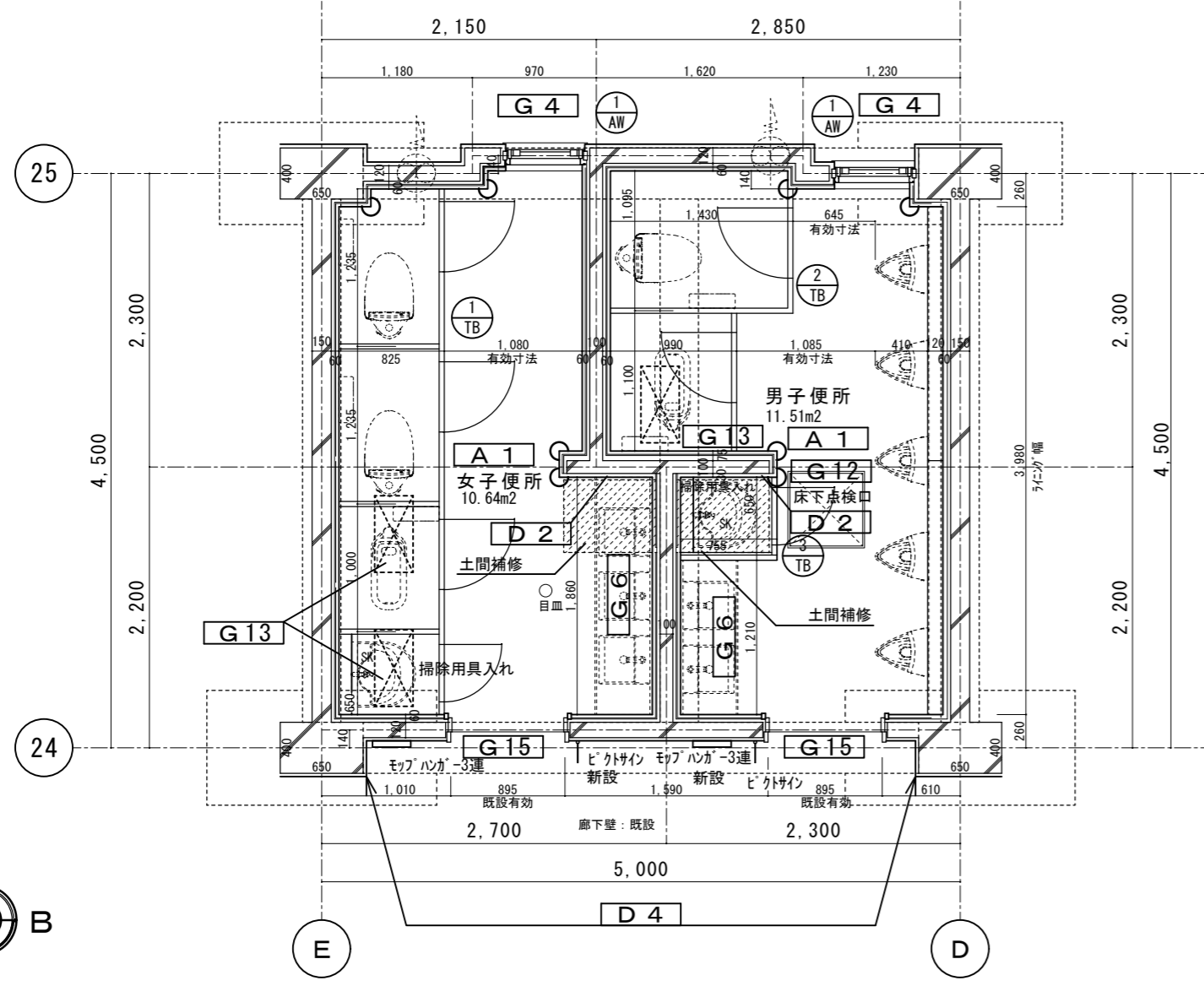


D

女子便所
展開図 S-1:50

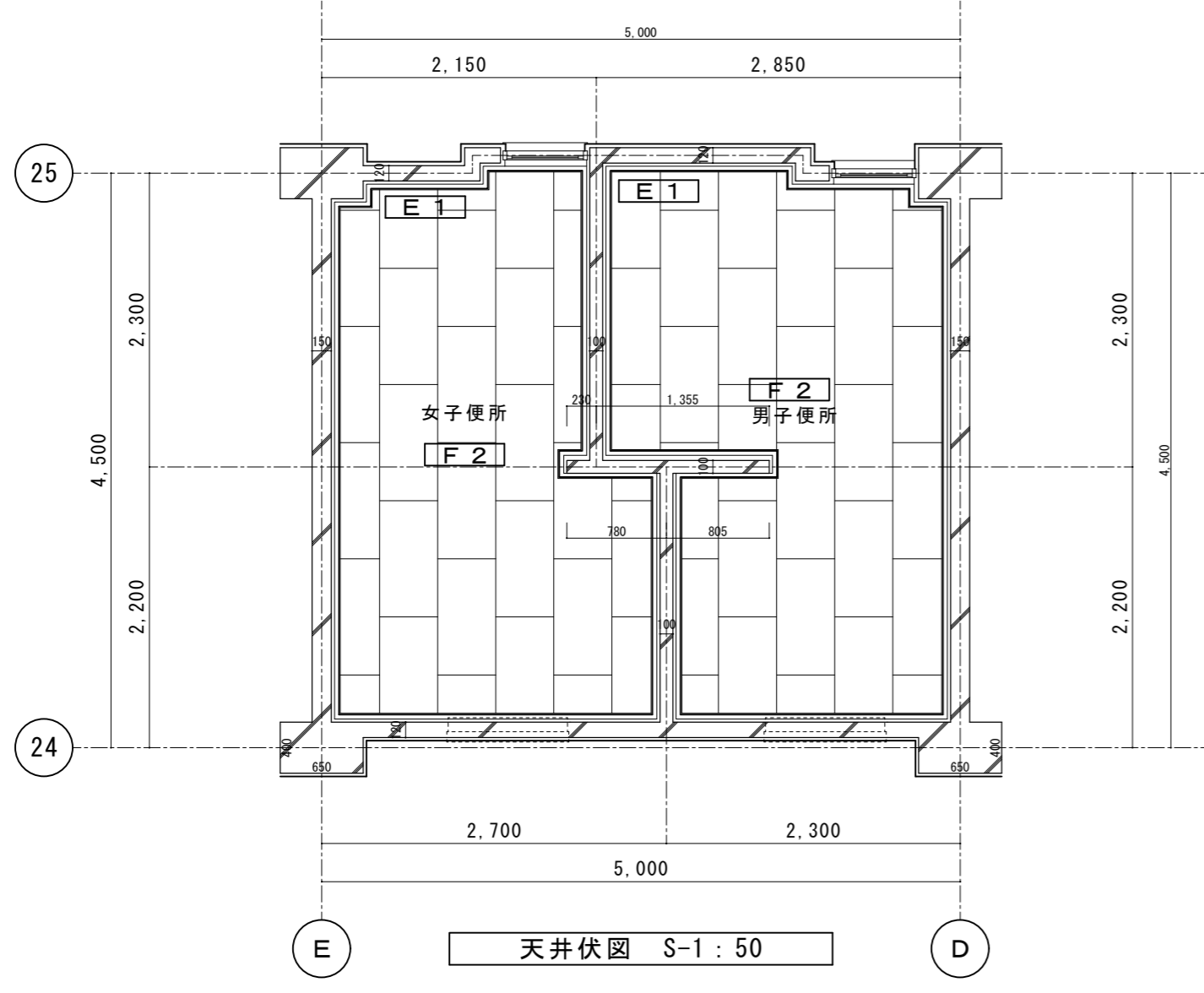
男子便所
展開図 S-1:50

改修後

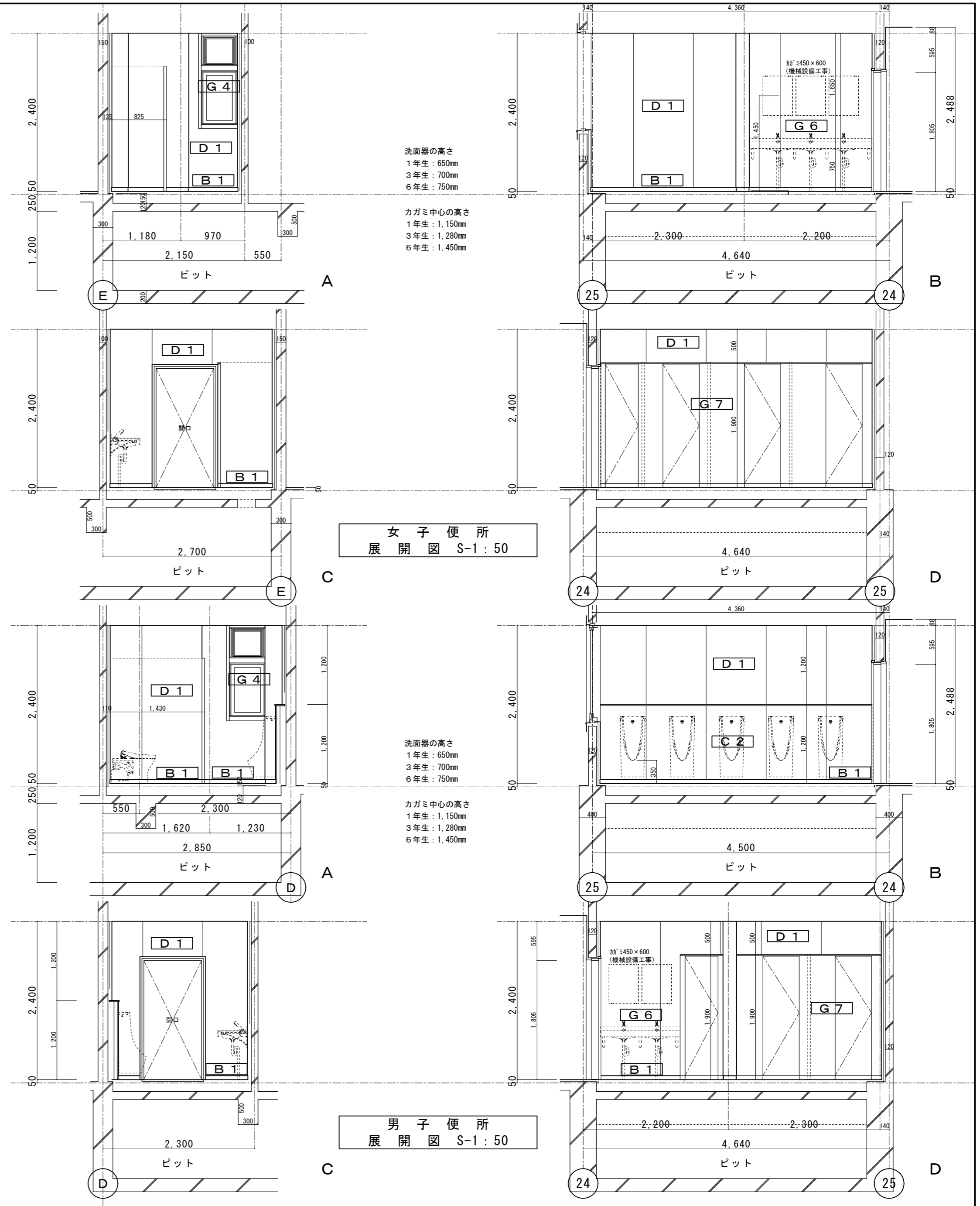


平面図 S-1:50

アルミジョイナー出隅



天井伏図 S-1:50

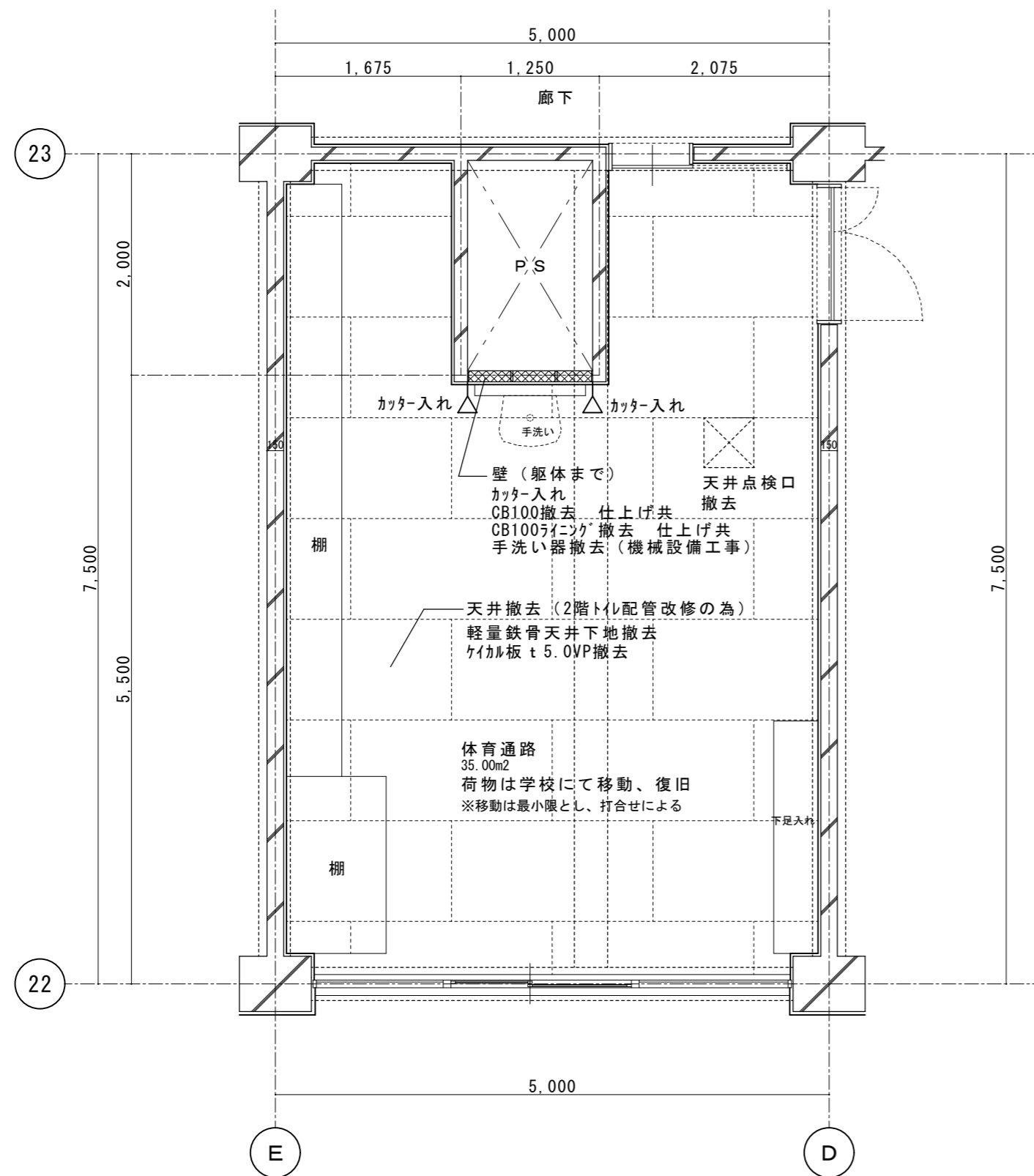


女子便所 展開図 S-1:50

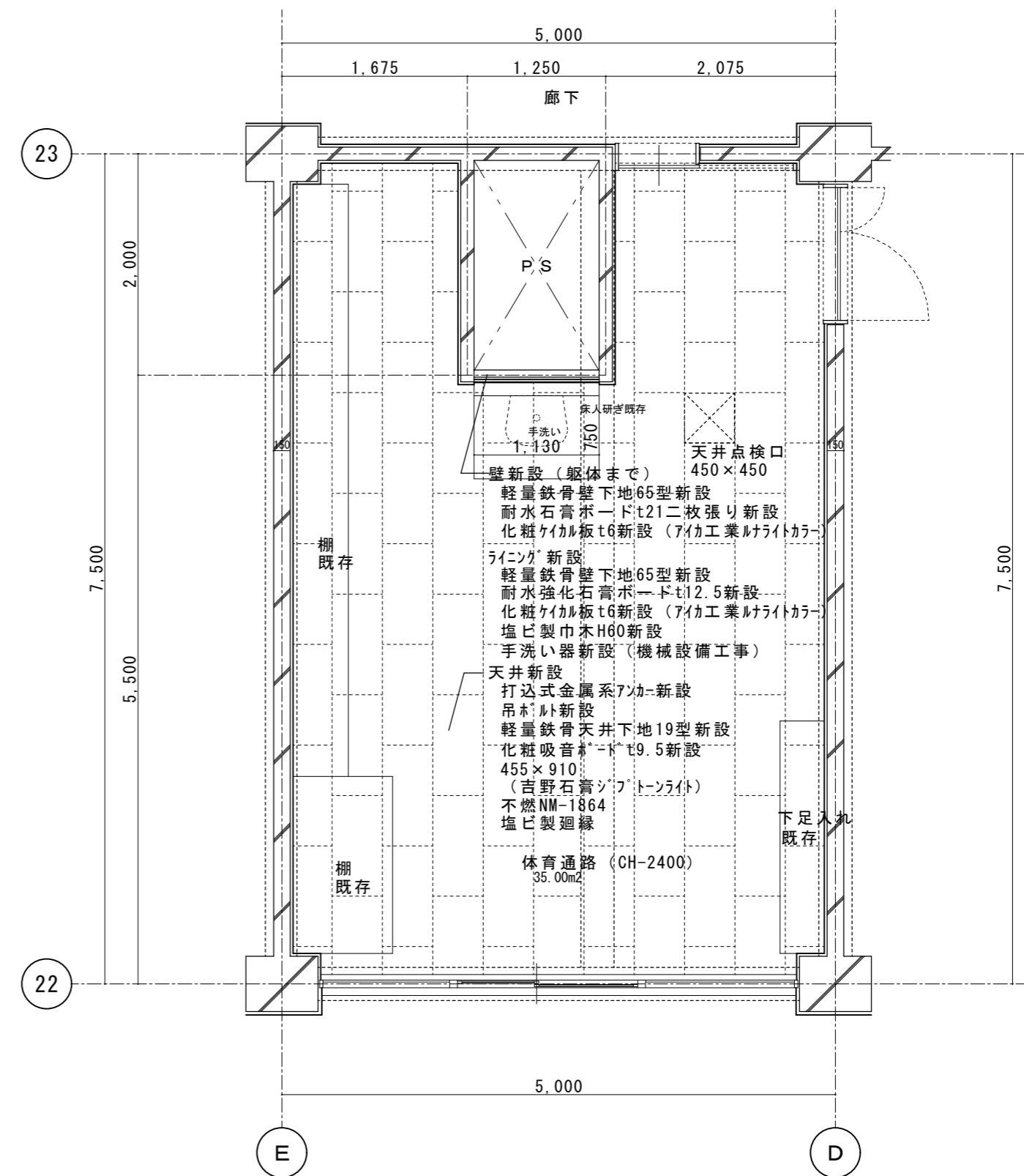
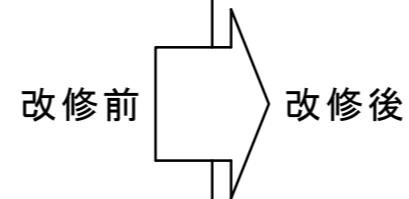
男子便所 展開図 S-1:50

改修前

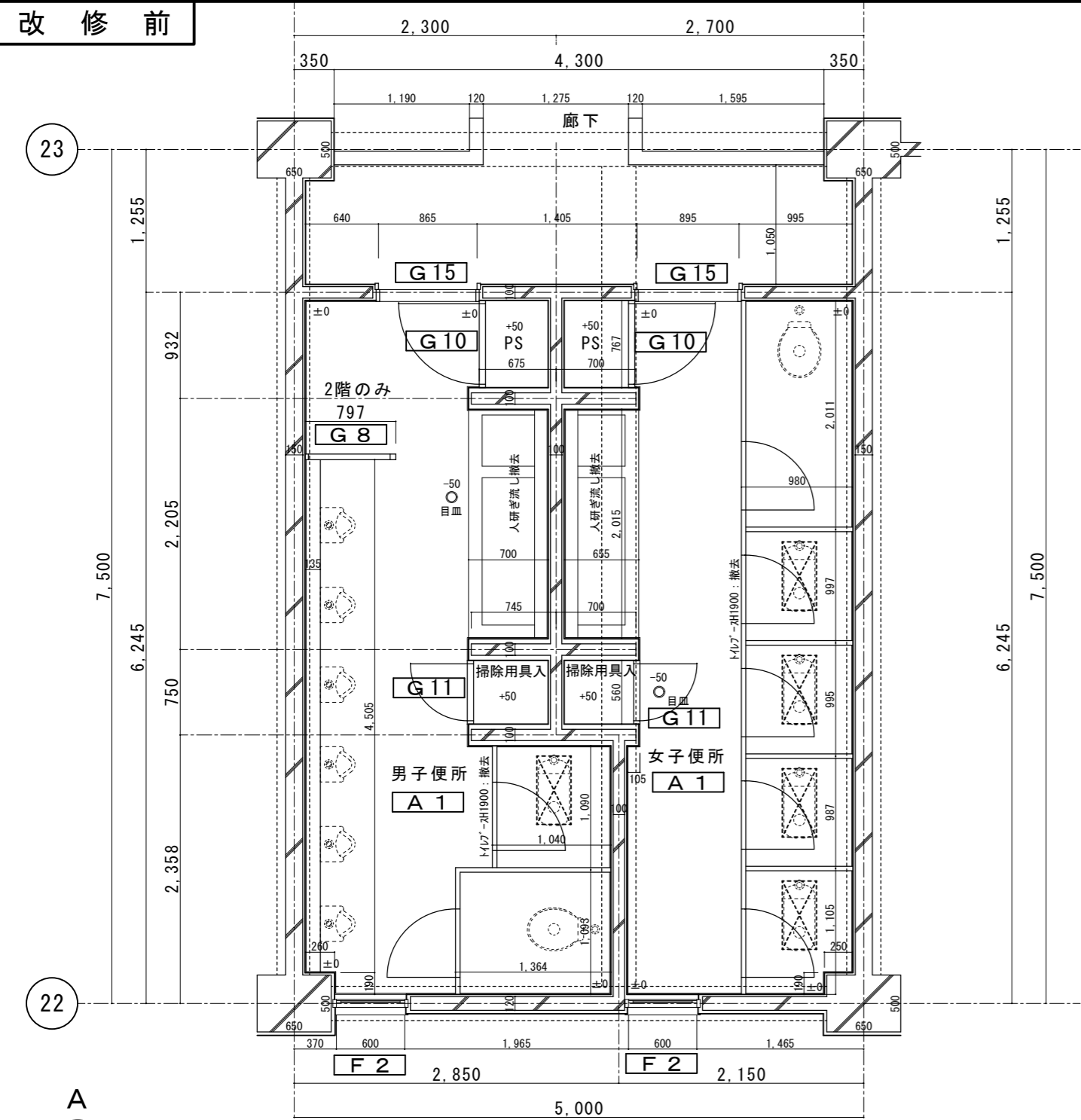
改修後



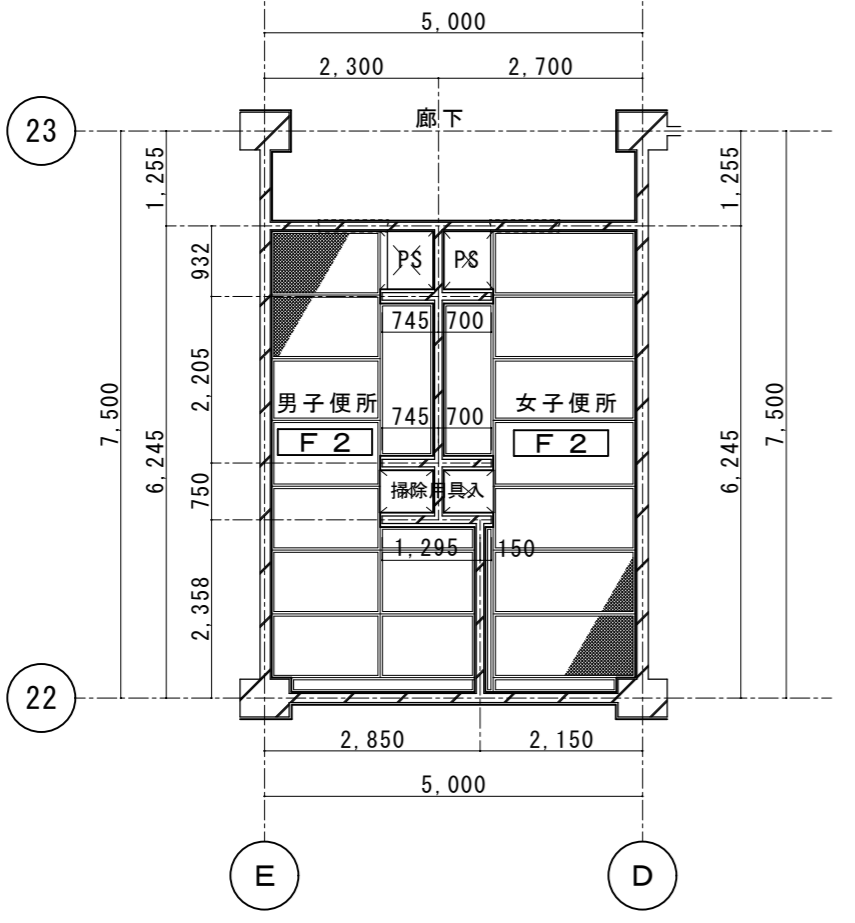
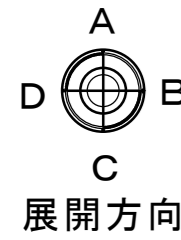
平面図 S-1 : 50



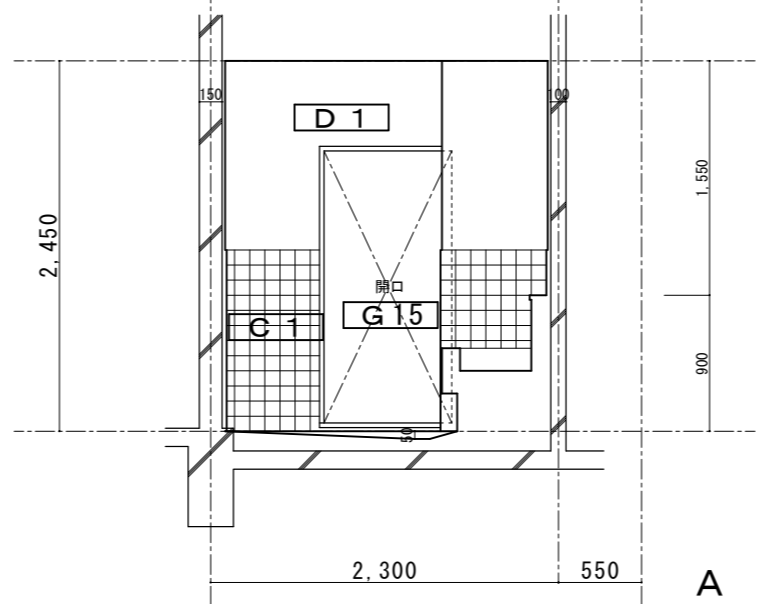
平面図 S-1 : 50



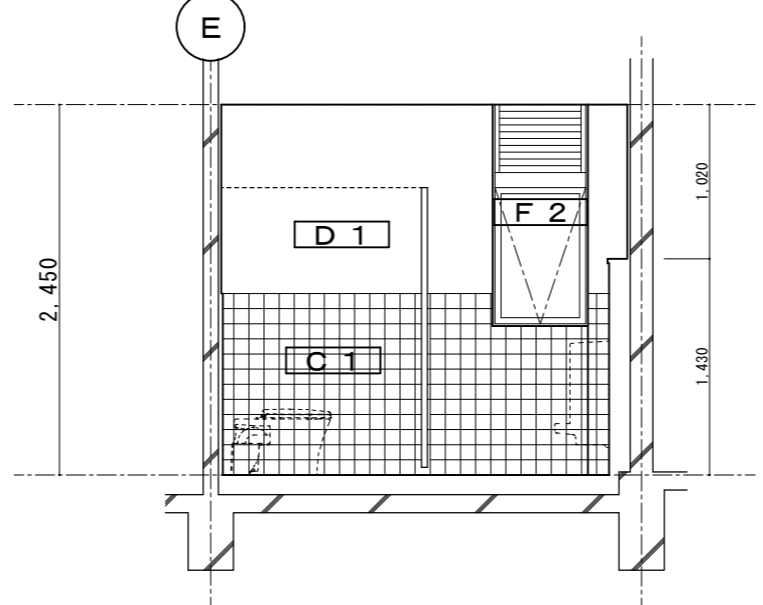
平面図 S-1: 50



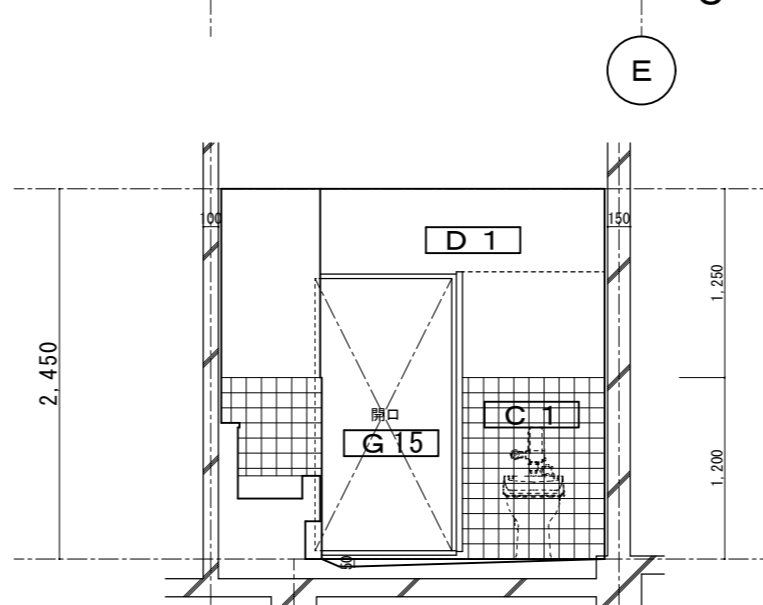
天井伏図 S-1: 100



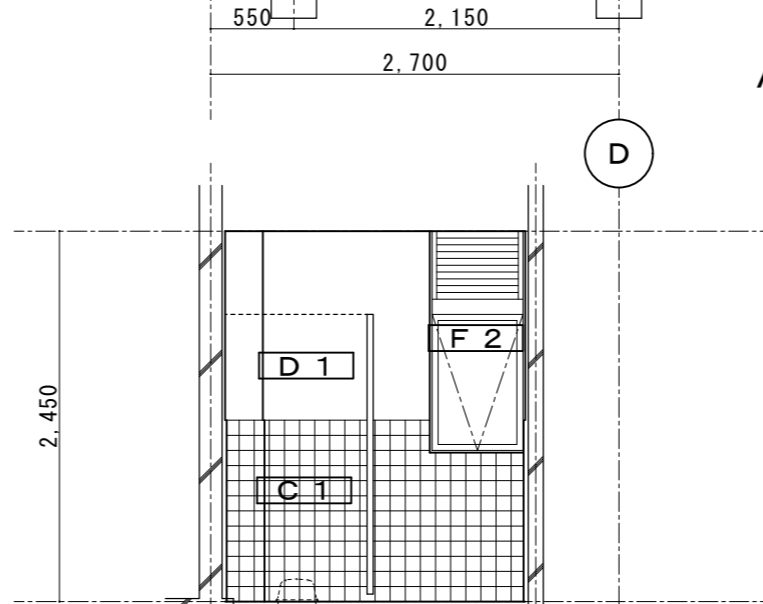
A



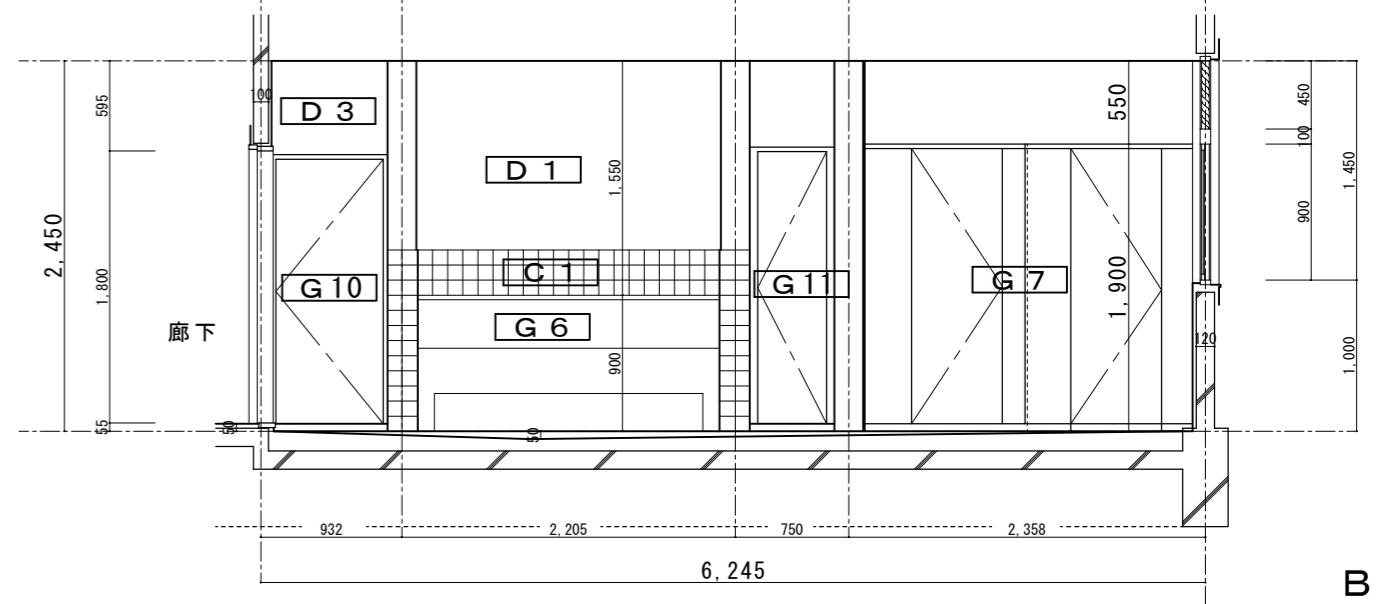
C



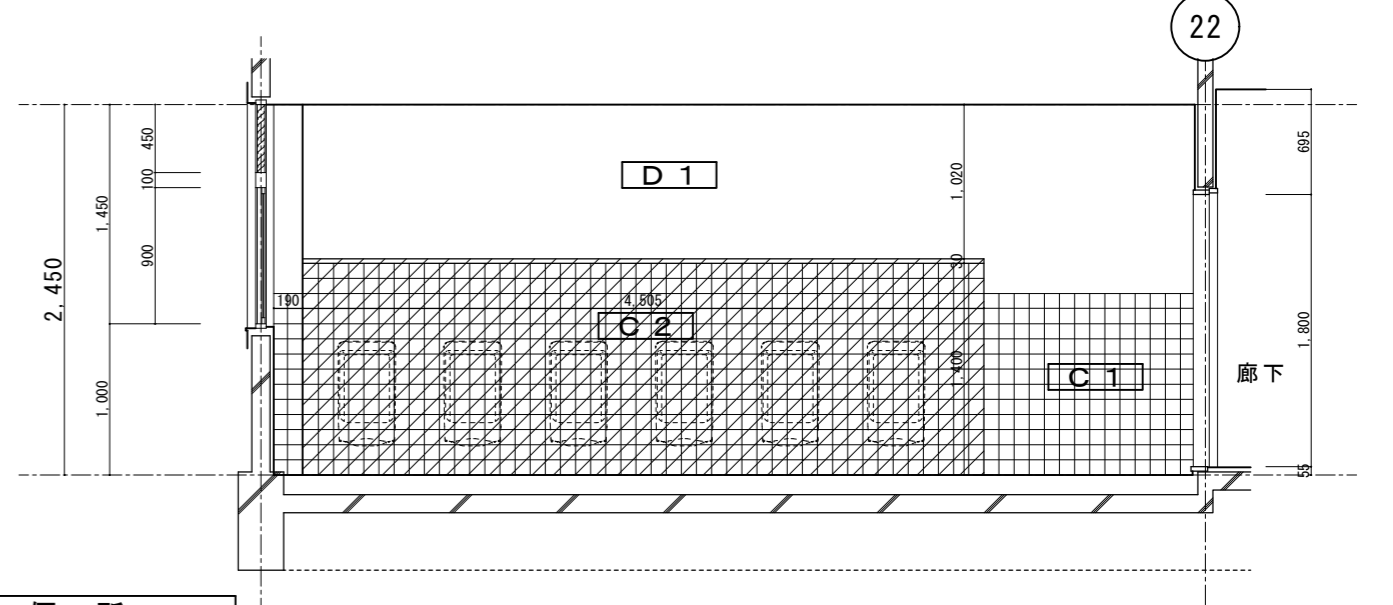
A



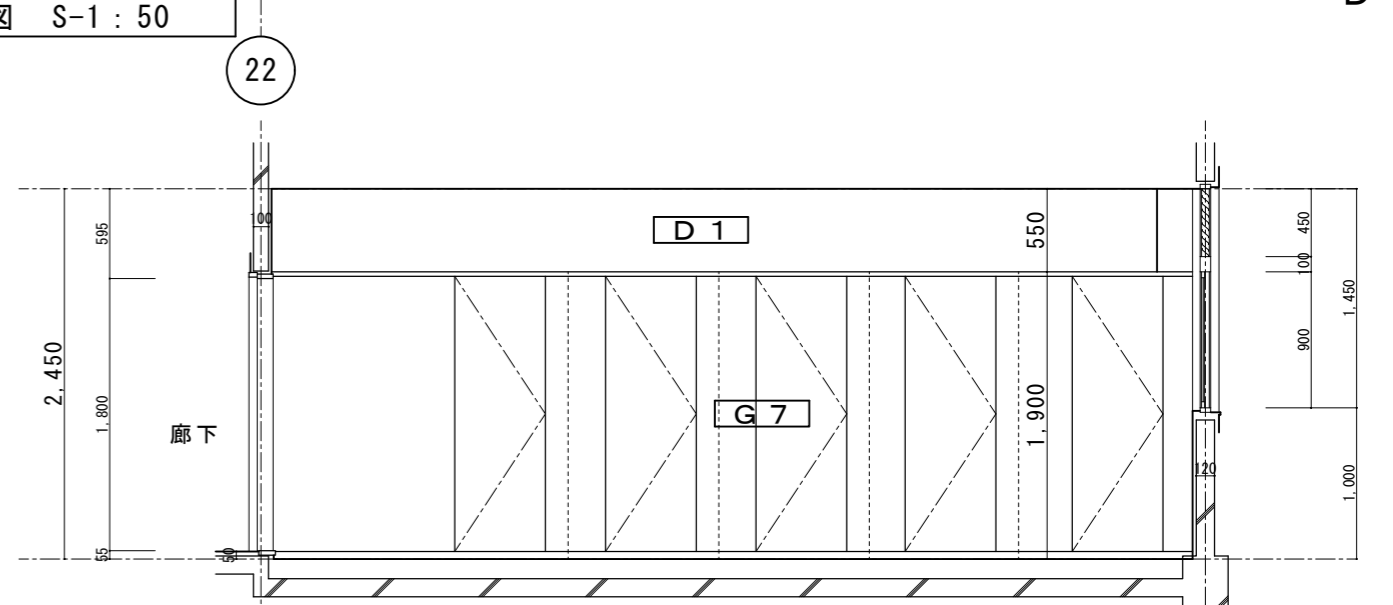
C



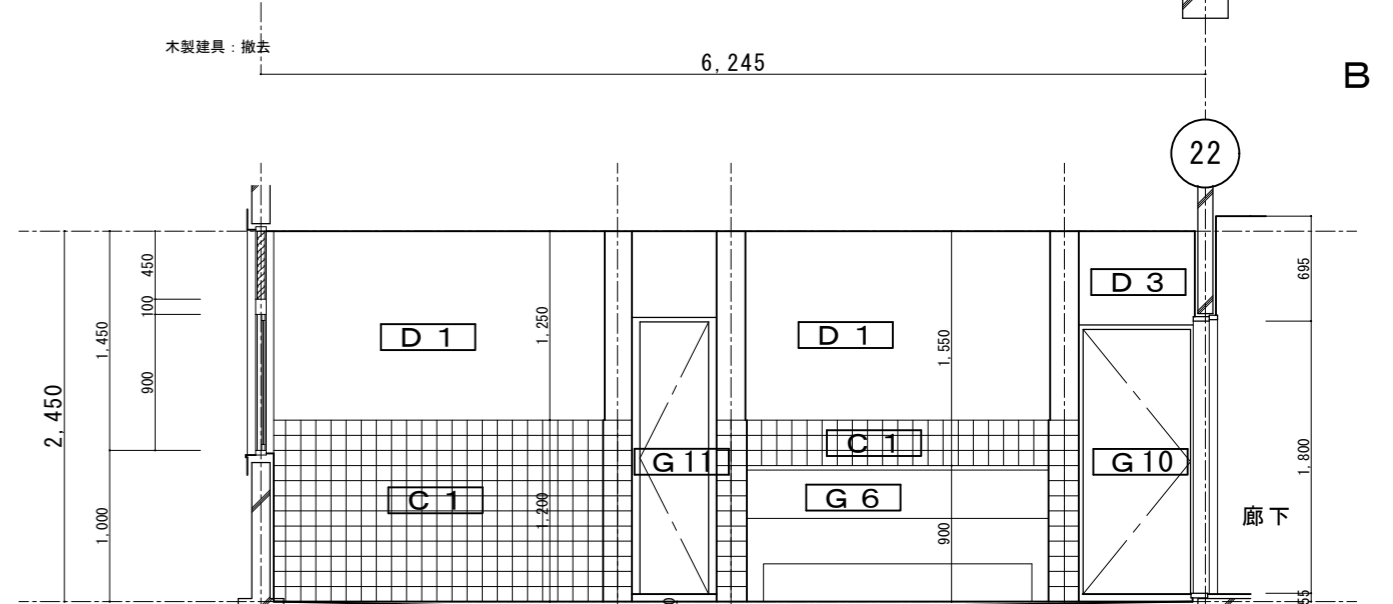
B



D



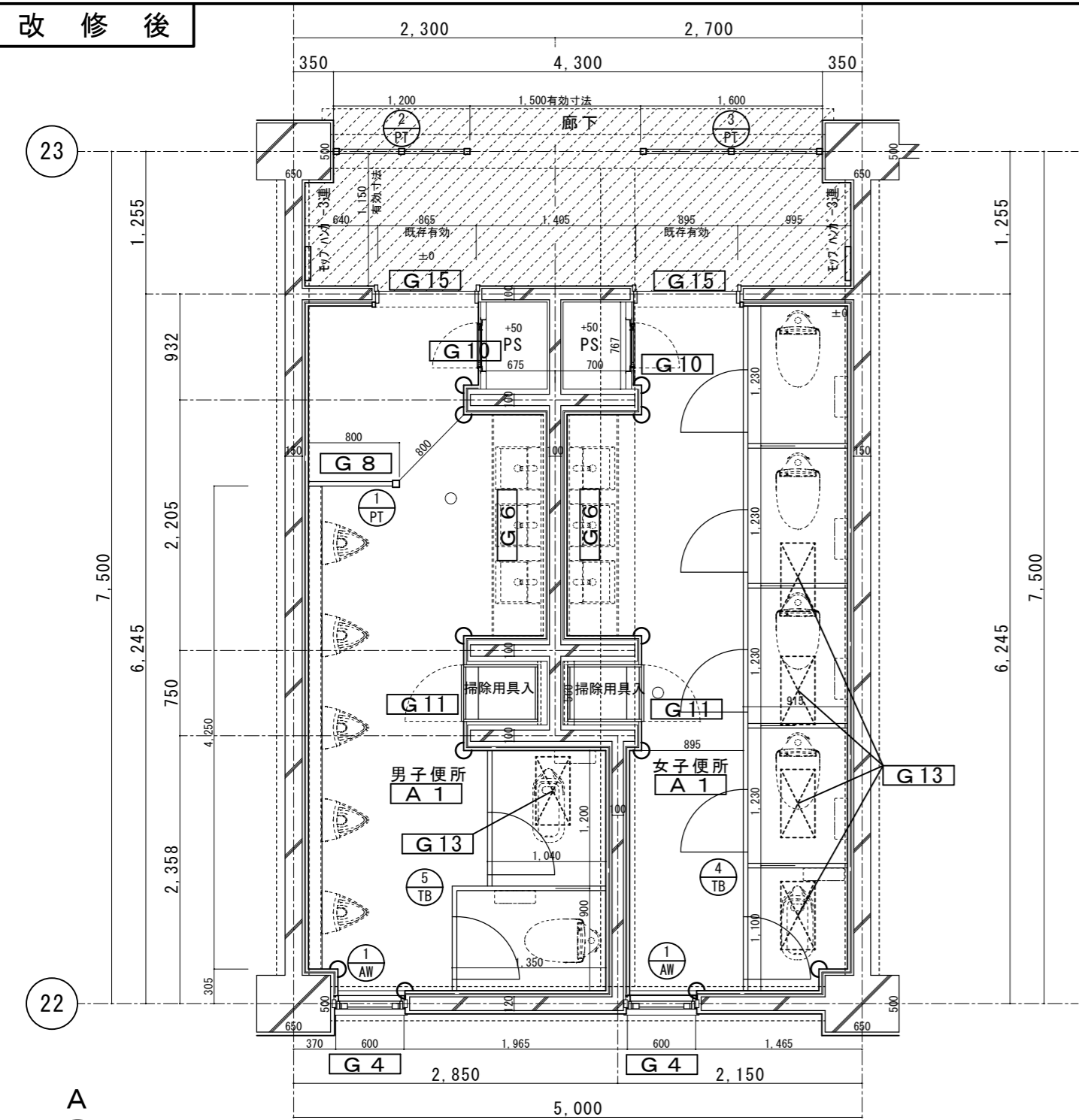
B



D

男子便所
展開図 S-1: 50

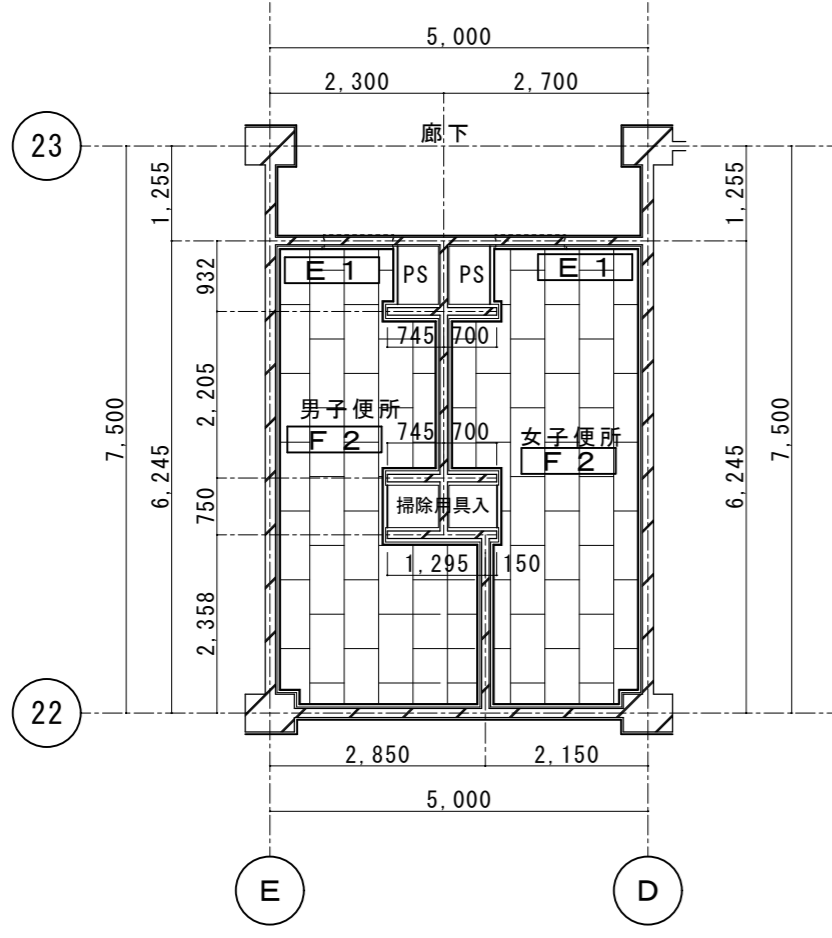
女子便所
展開図 S-1: 50



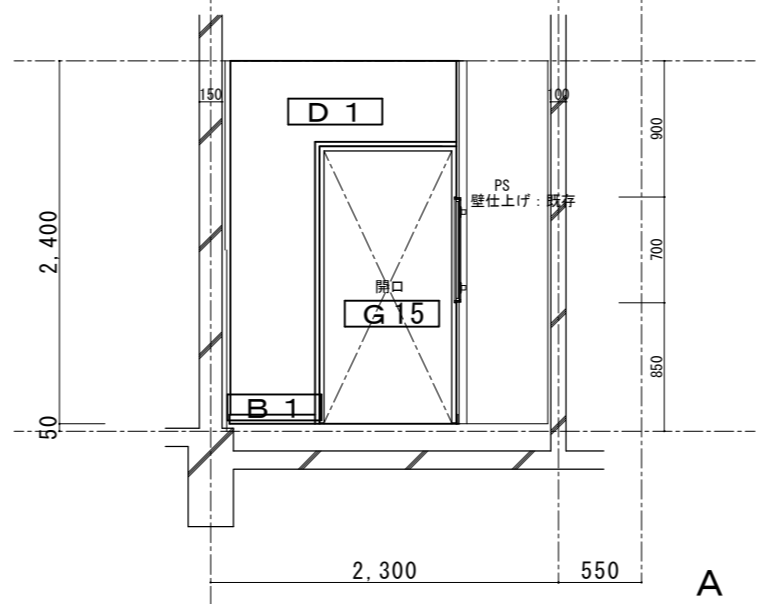
平面図 S-1:50

展開方向

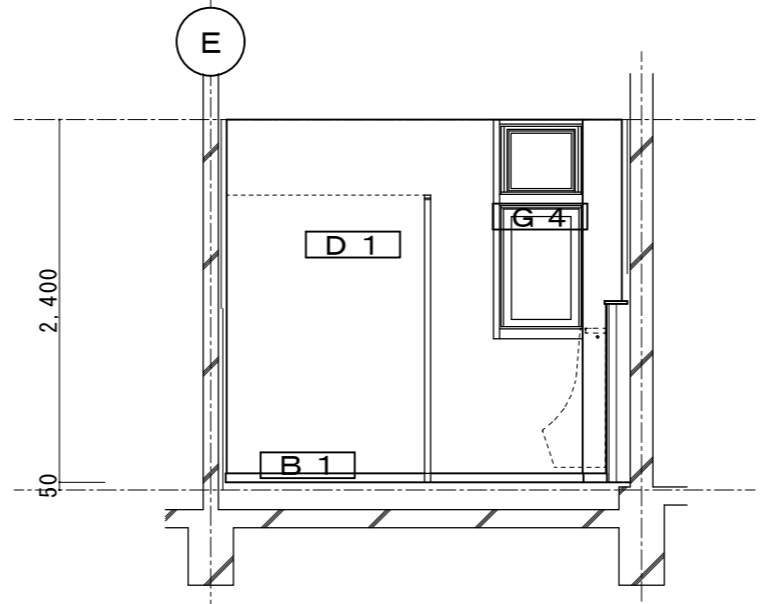
アルミジョイナー出隅



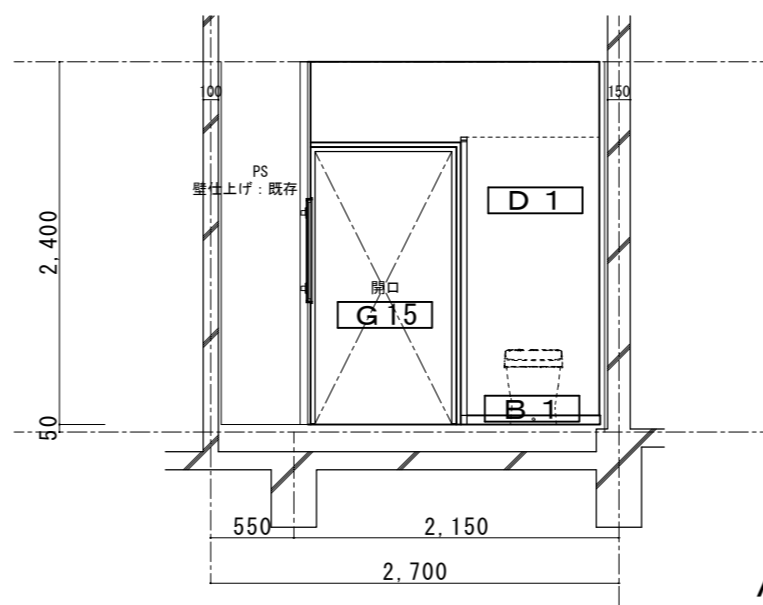
天井伏図 S-1:100



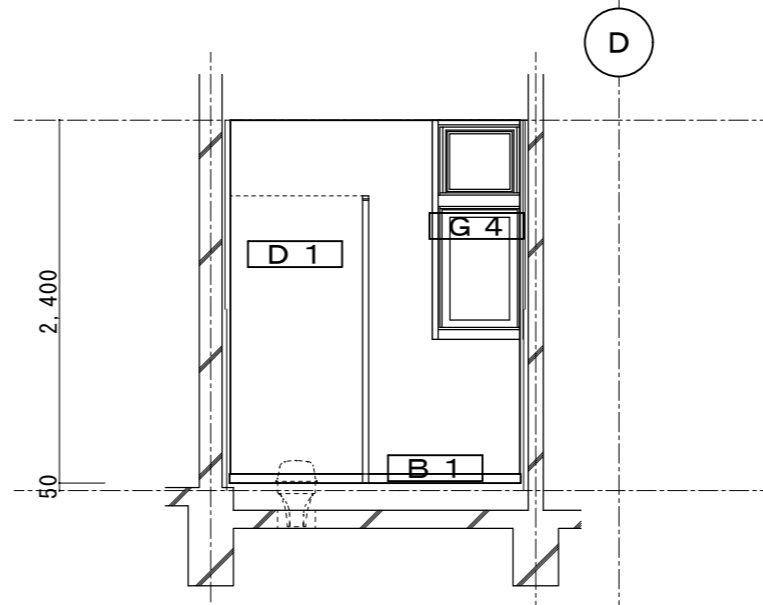
A



C



A



C

洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

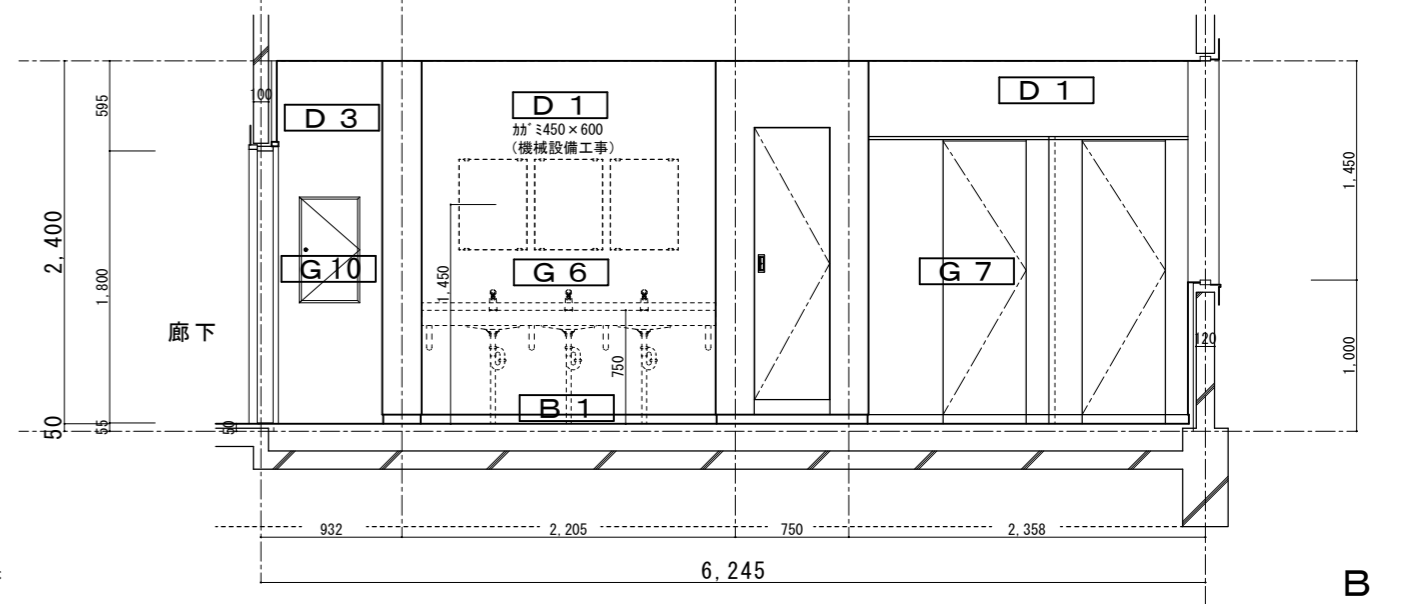
カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

男子便所
展開図 S-1:50

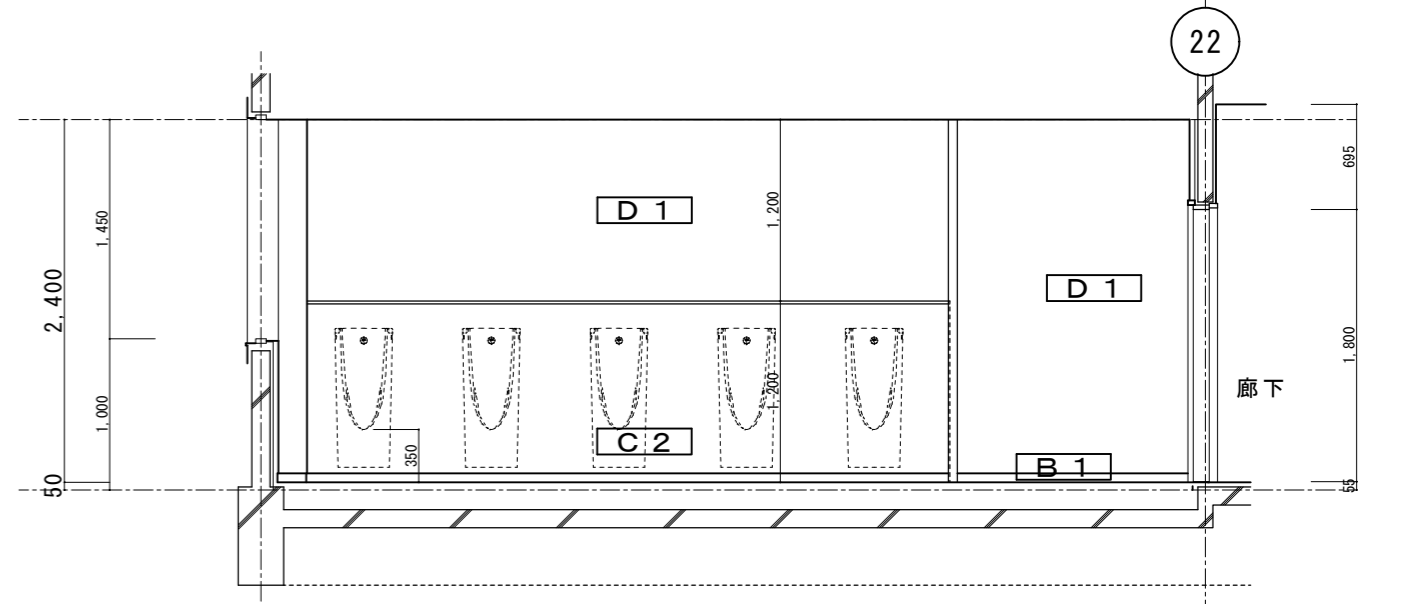
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

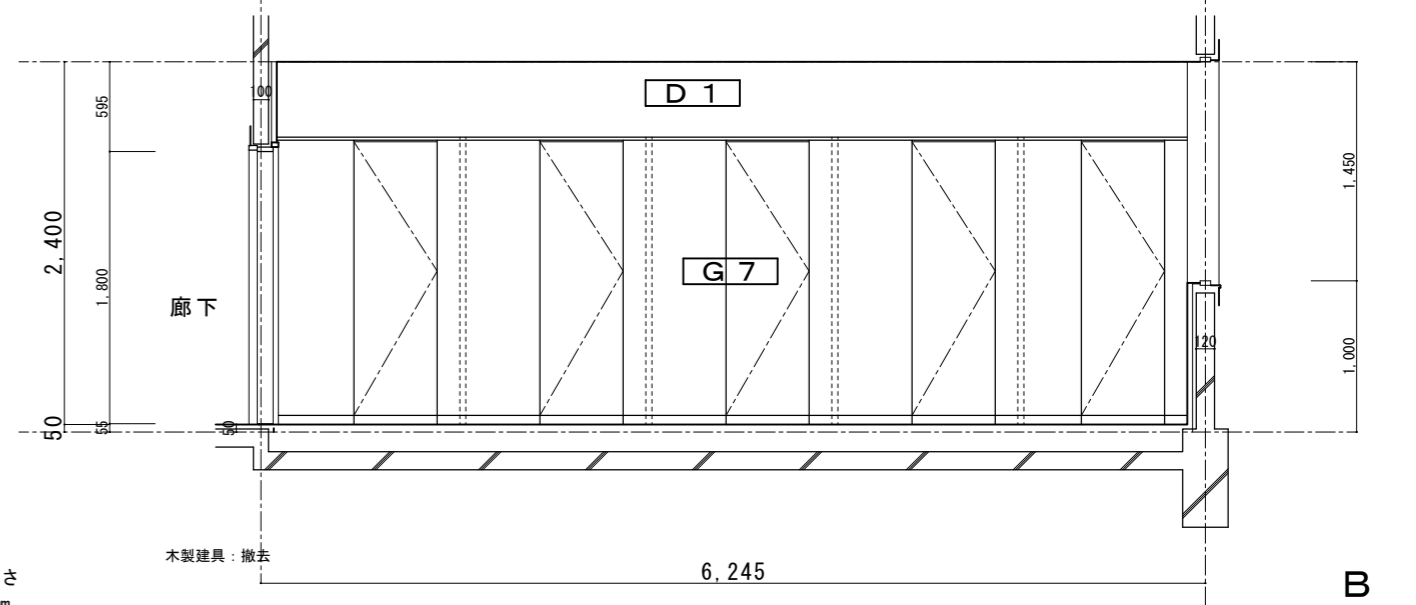
女子便所
展開図 S-1:50



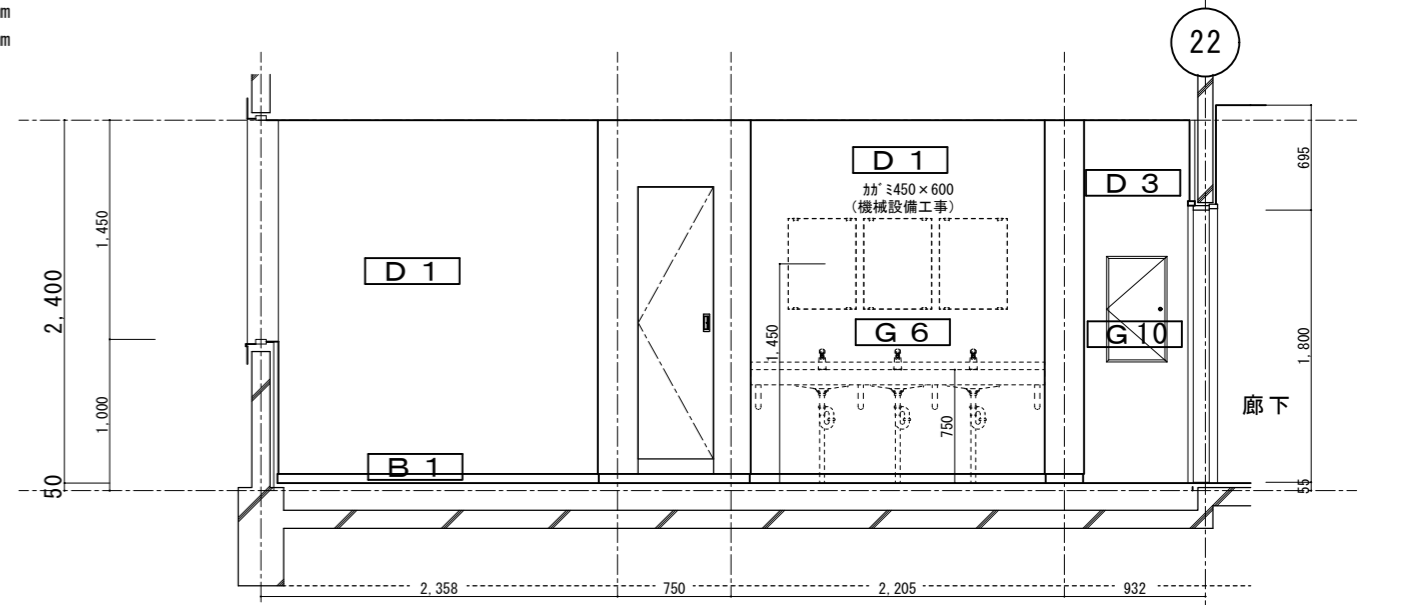
B



D

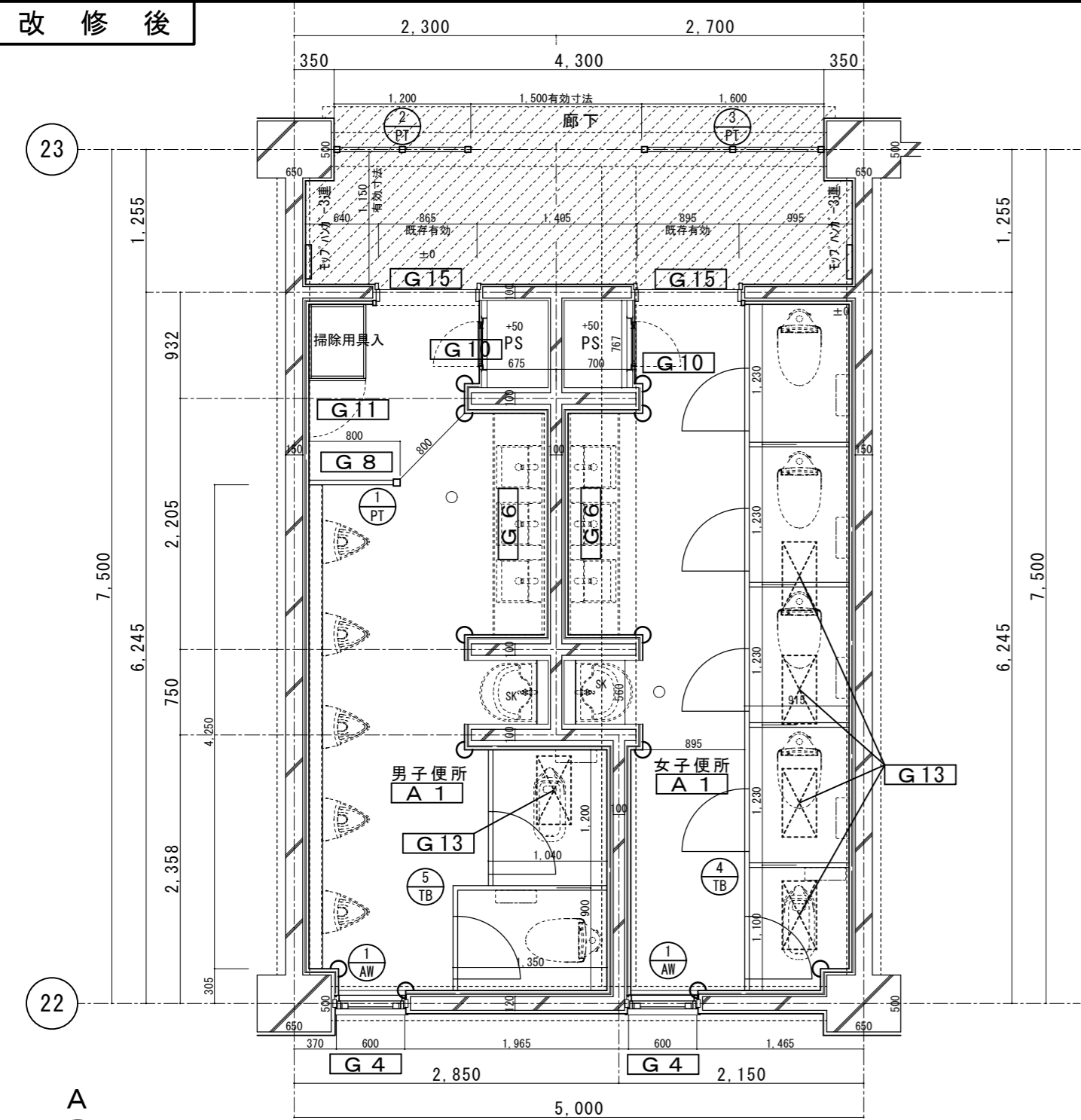


B

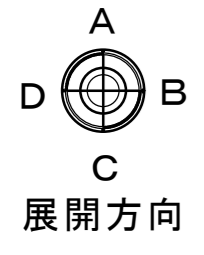


D

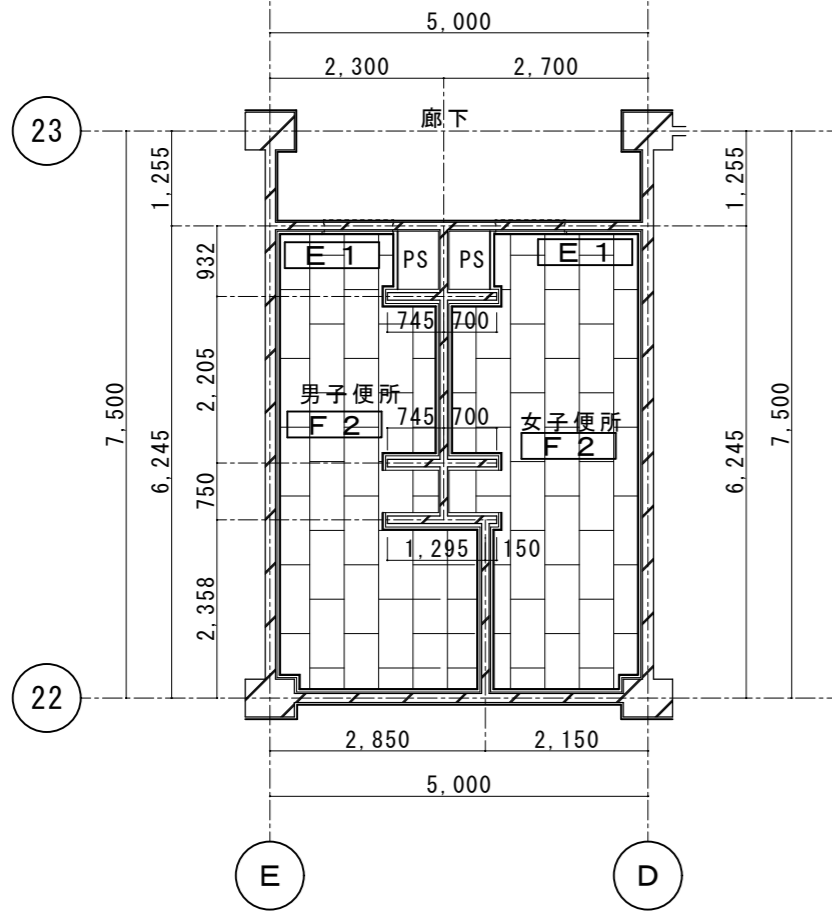
R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事) 図面名 3階トイレ改修後図	図面番号 A
			登録番号 第 85179 号	変更年月日										S=1:50 S=1:100



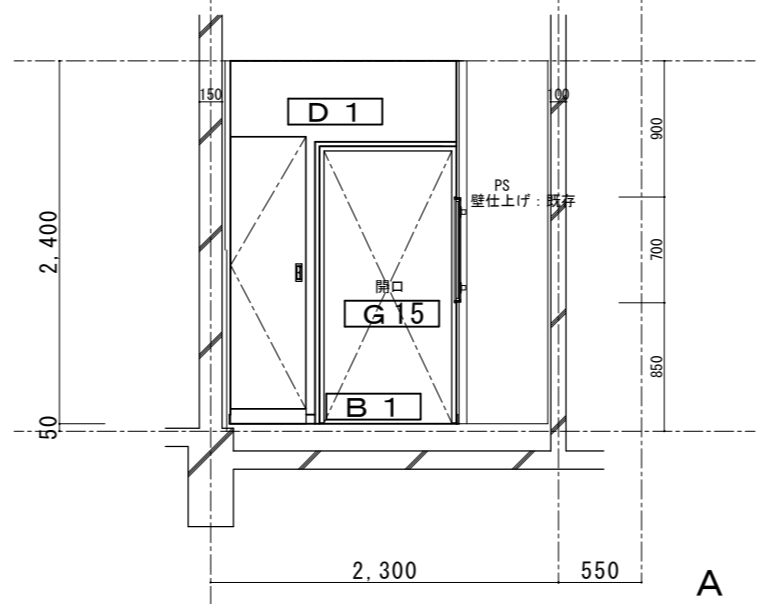
平面図 S-1:50



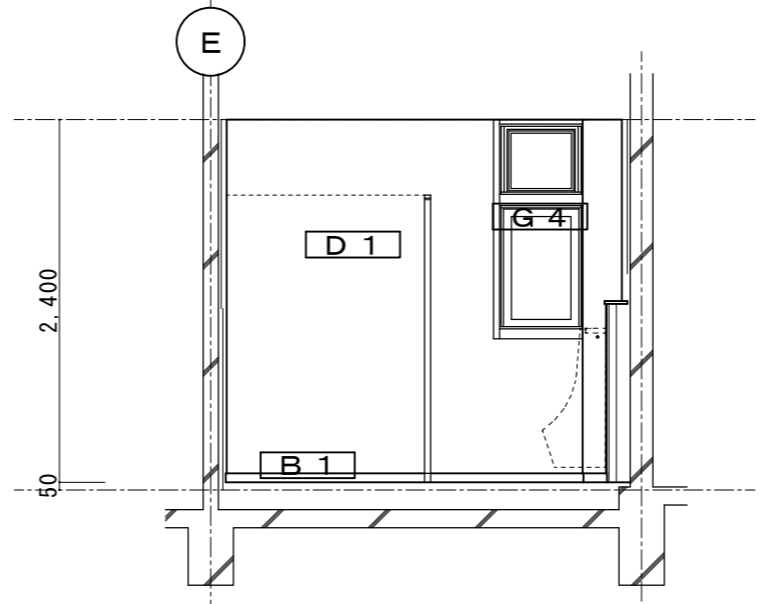
アルミジョイナー出隅



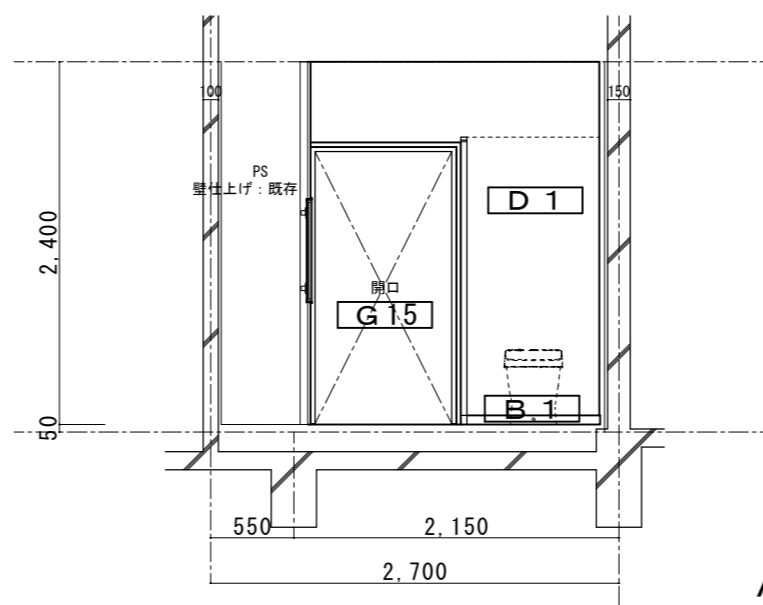
天井伏図 S-1:100



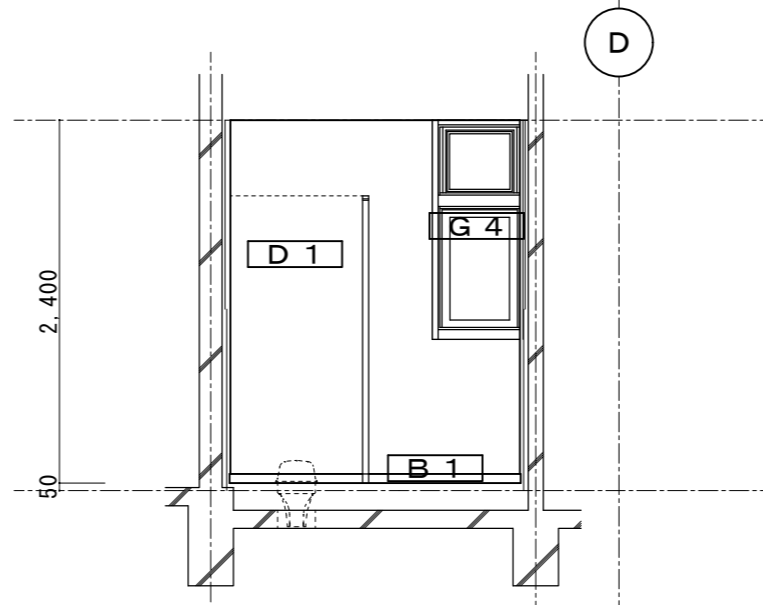
A



C



A

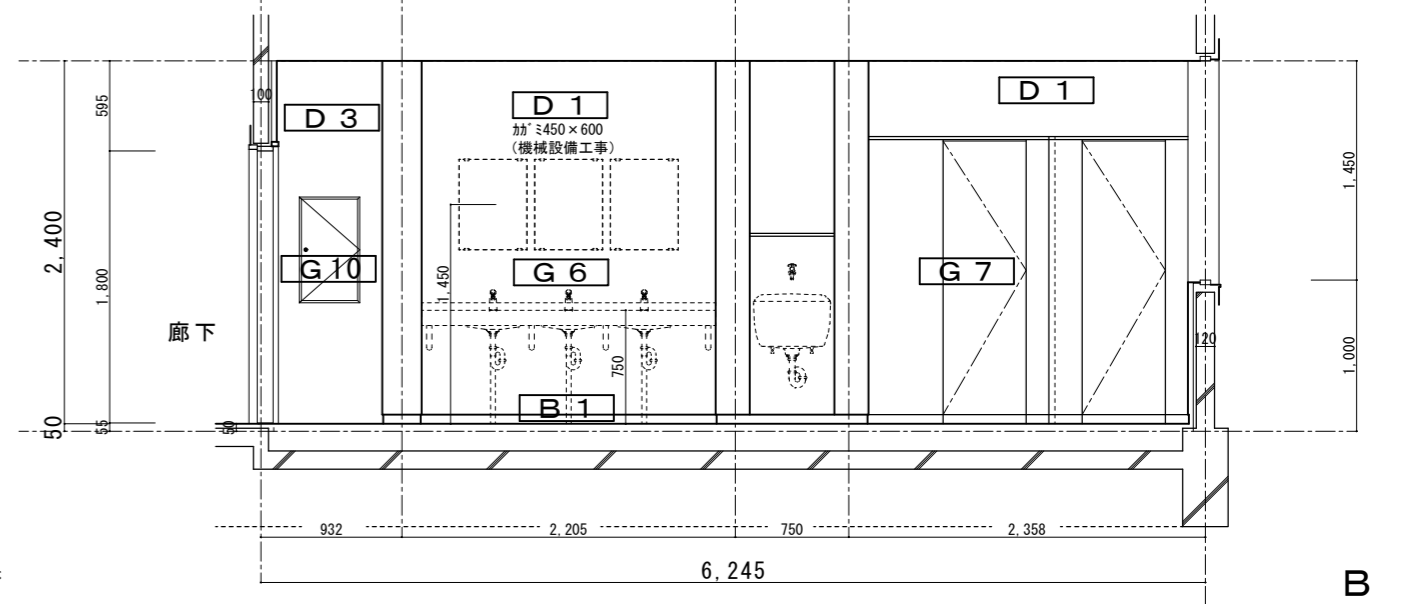


C

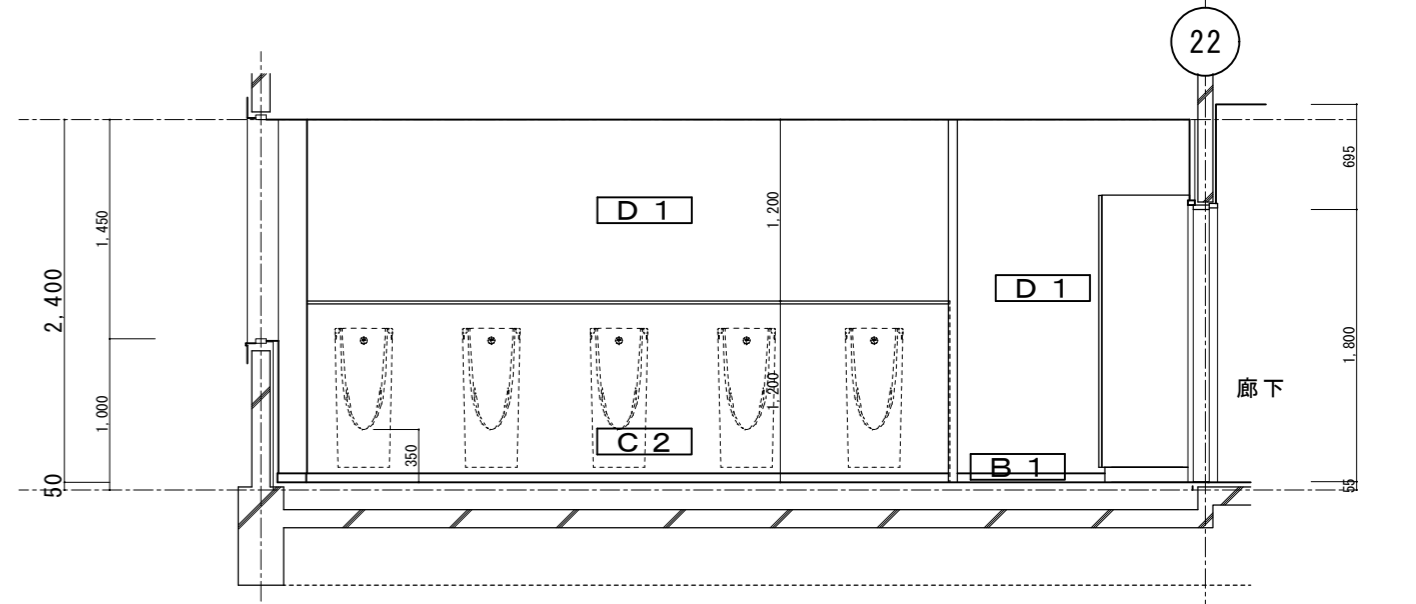
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

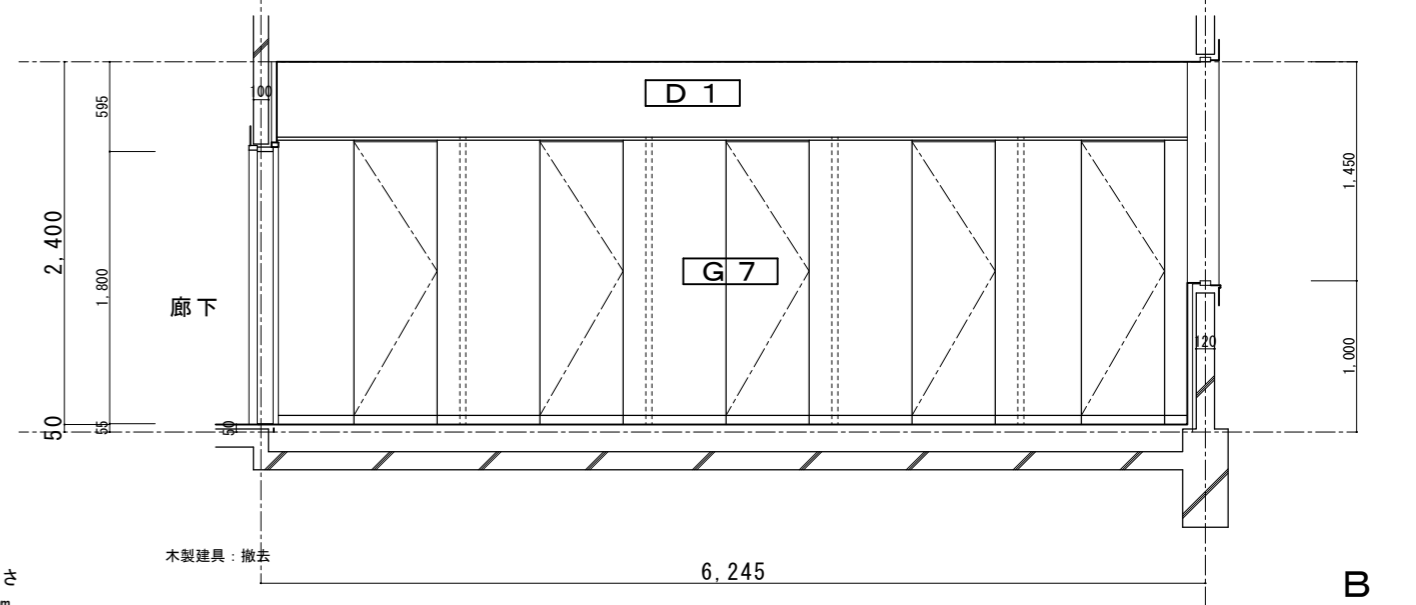
男子便所
展開図 S-1:50



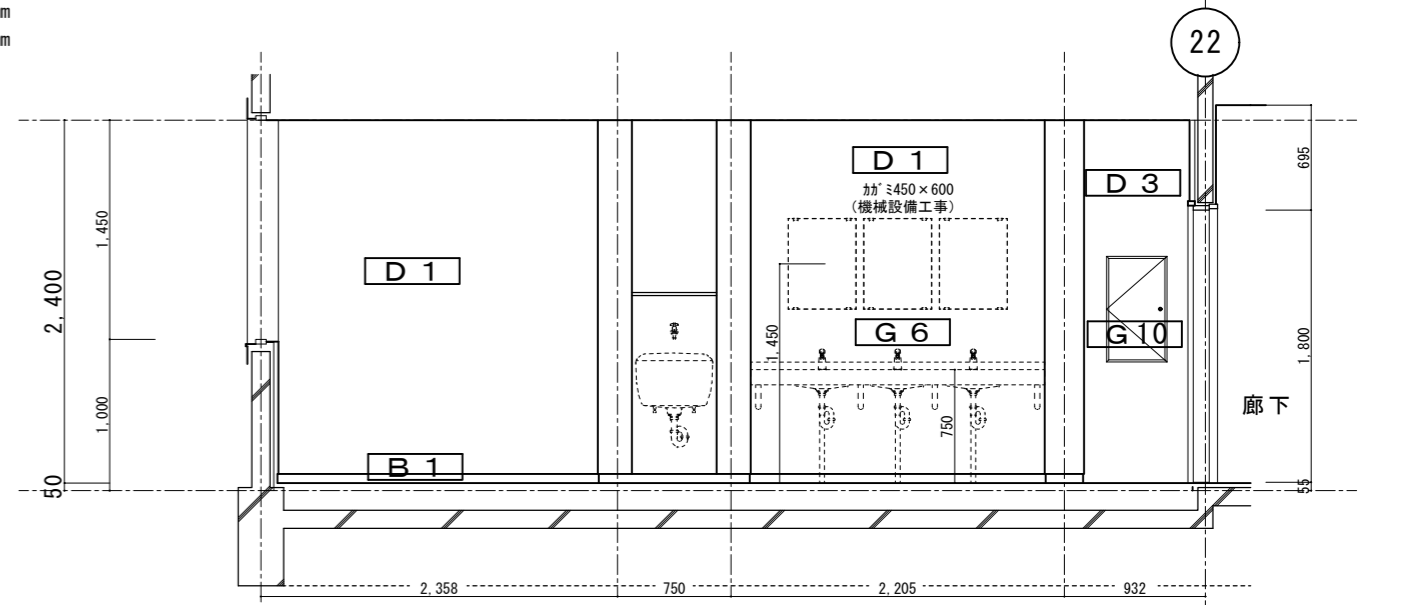
B



D



B



D

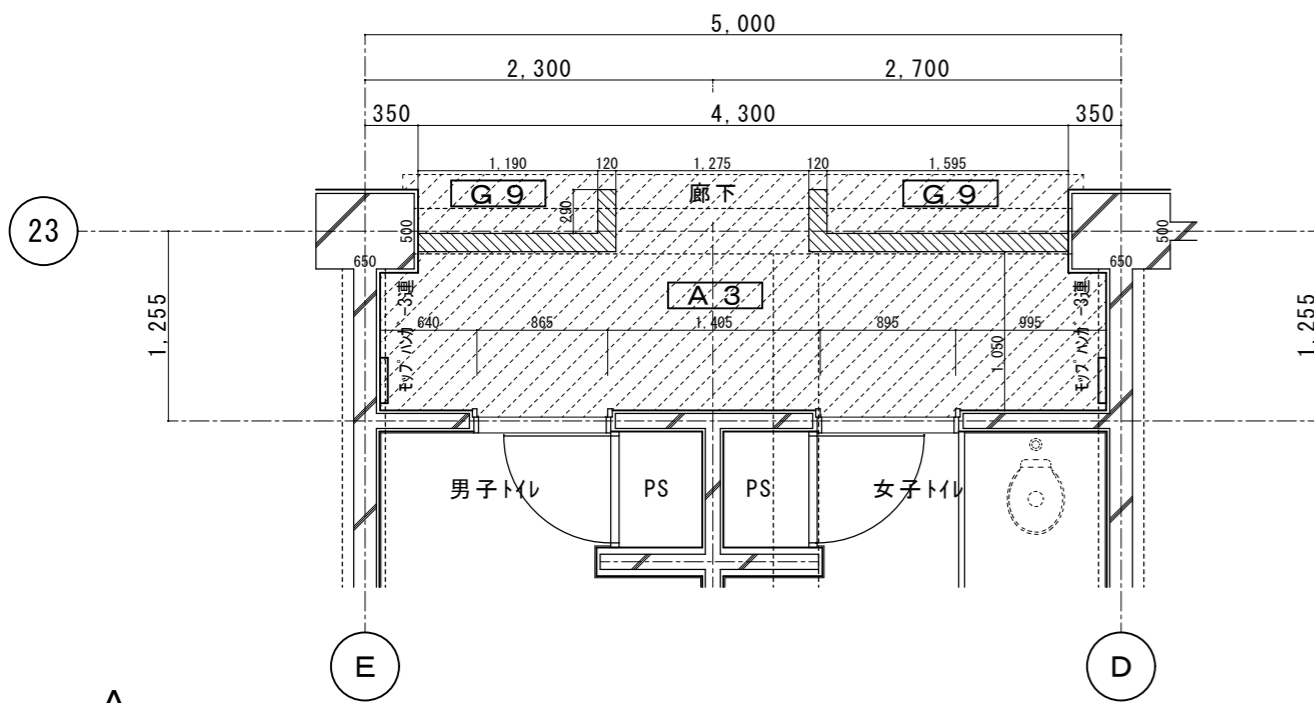
洗面器の高さ
1年生: 650mm
3年生: 700mm
6年生: 750mm

カガミ中心の高さ
1年生: 1,150mm
3年生: 1,280mm
6年生: 1,450mm

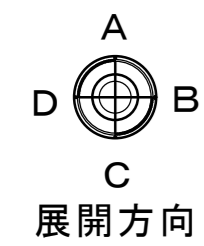
女子便所
展開図 S-1:50

R1 富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@nifty.com	一級建築士 柳井 博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部 管財課	課長	副課長	保全G	担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事) 図面名 2、4階トイレ改修後図	図面番号 A
			登録番号 第85179号	変更年月日										S=1:50 S=1:100

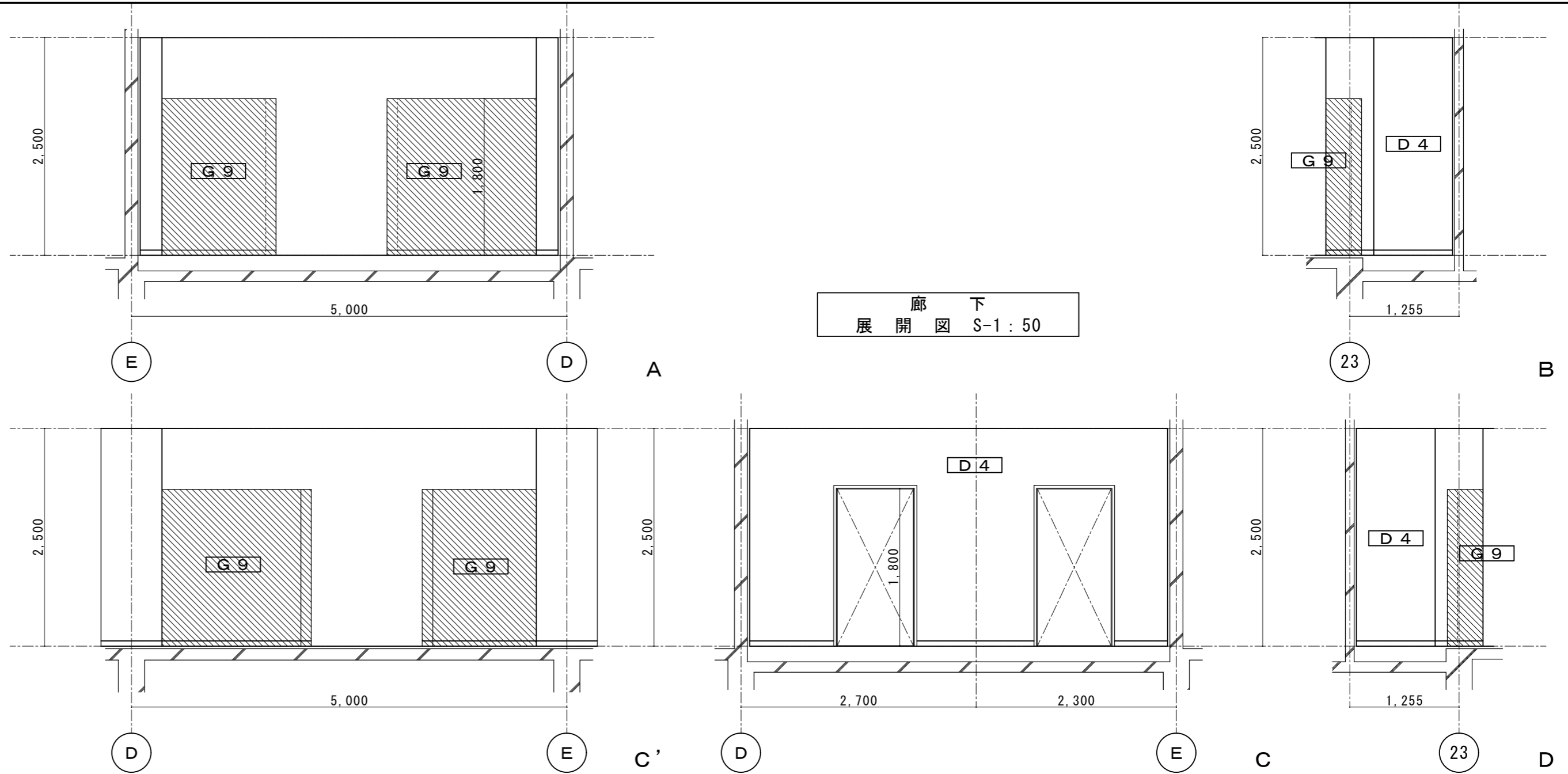
改修前



平面図 S-1:50

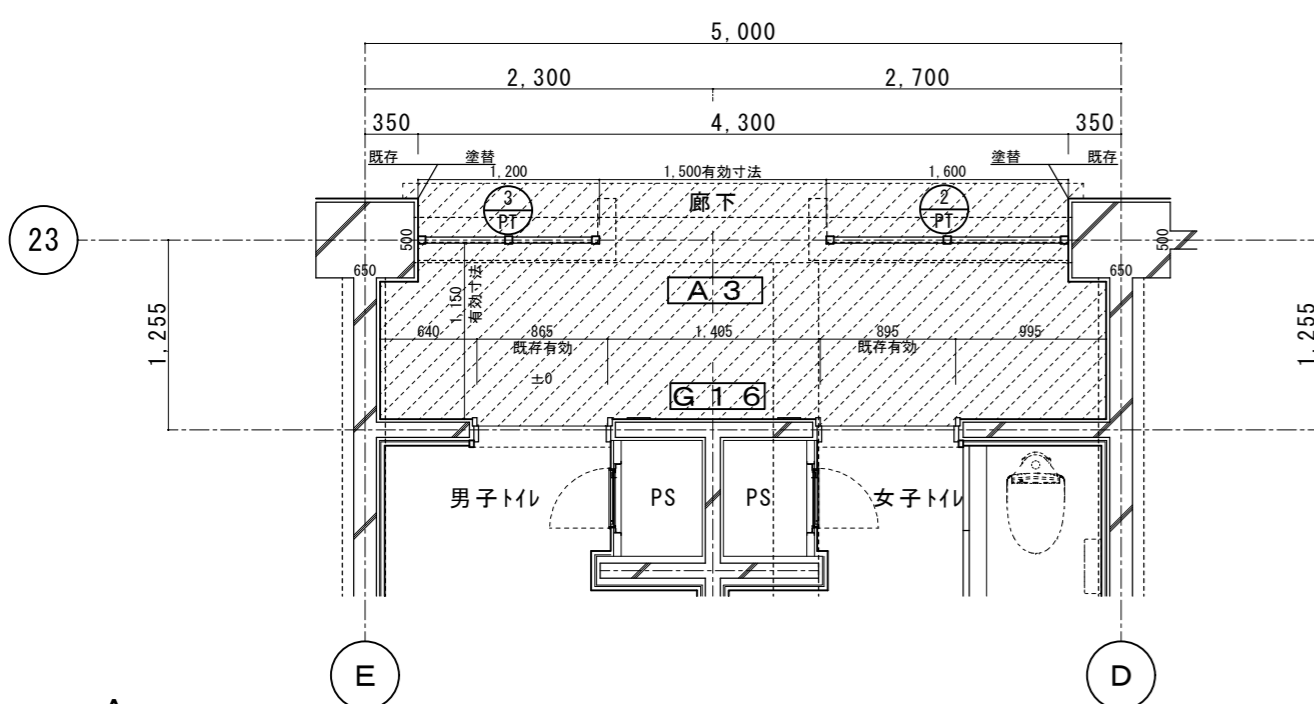


改修前

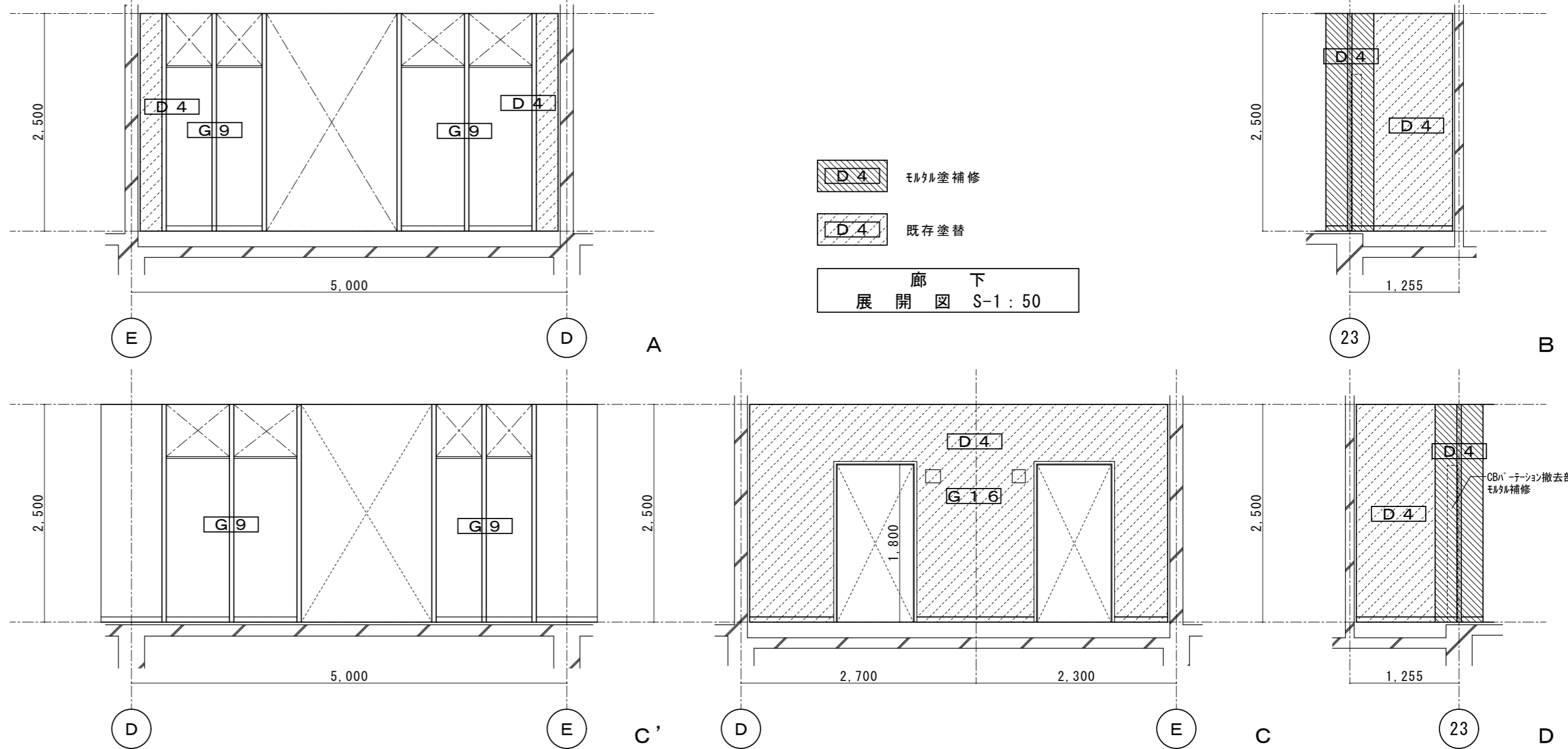
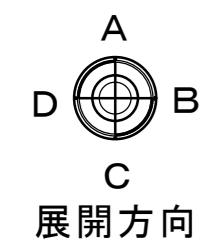


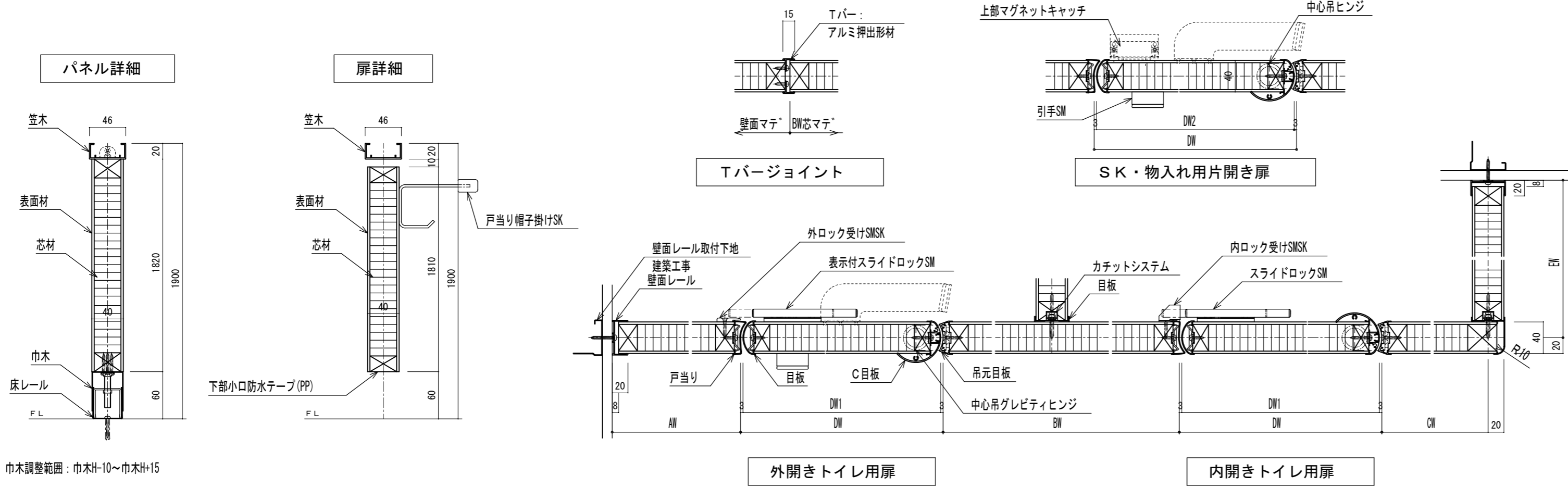
改修後

改修後



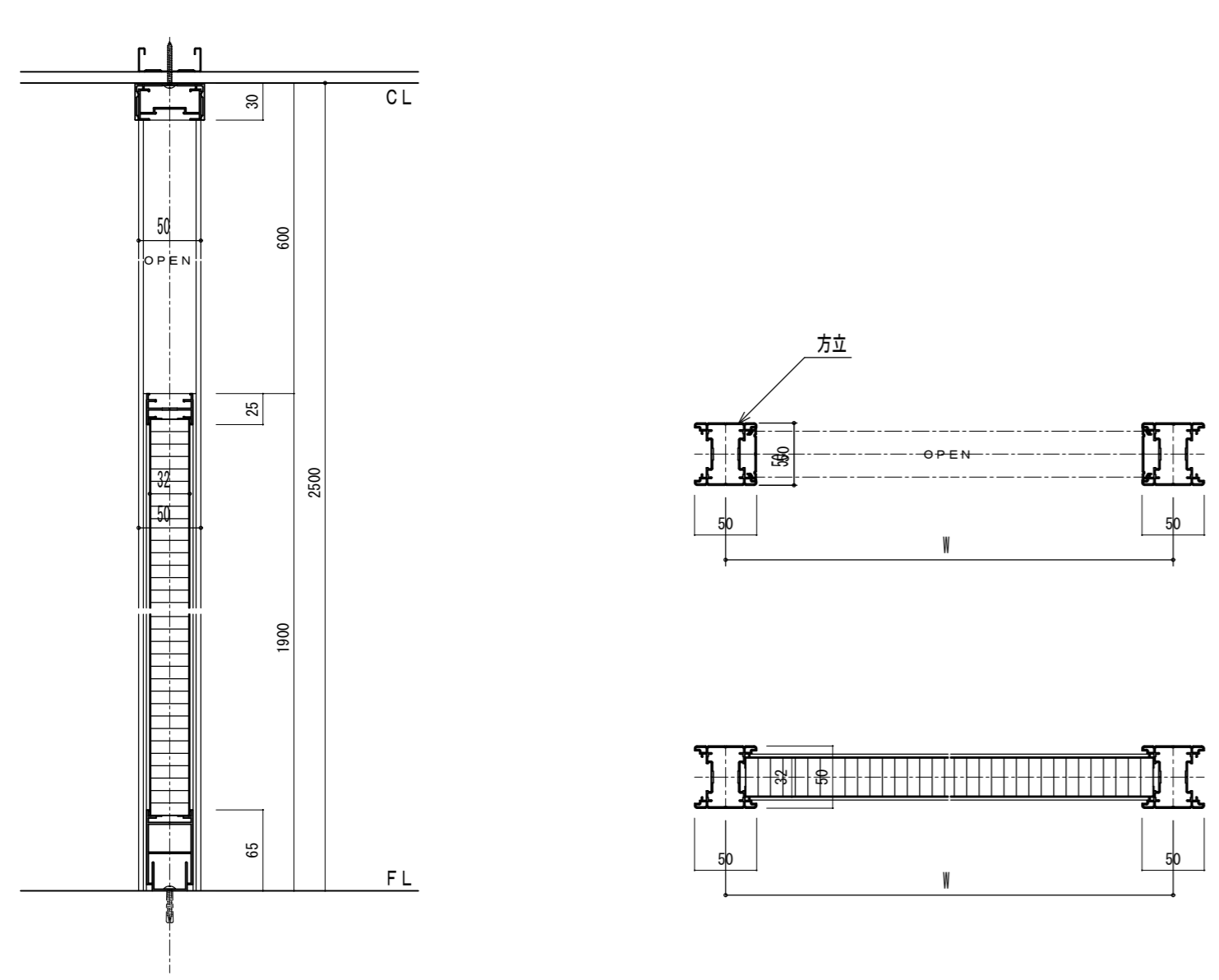
平面図 S-1:50





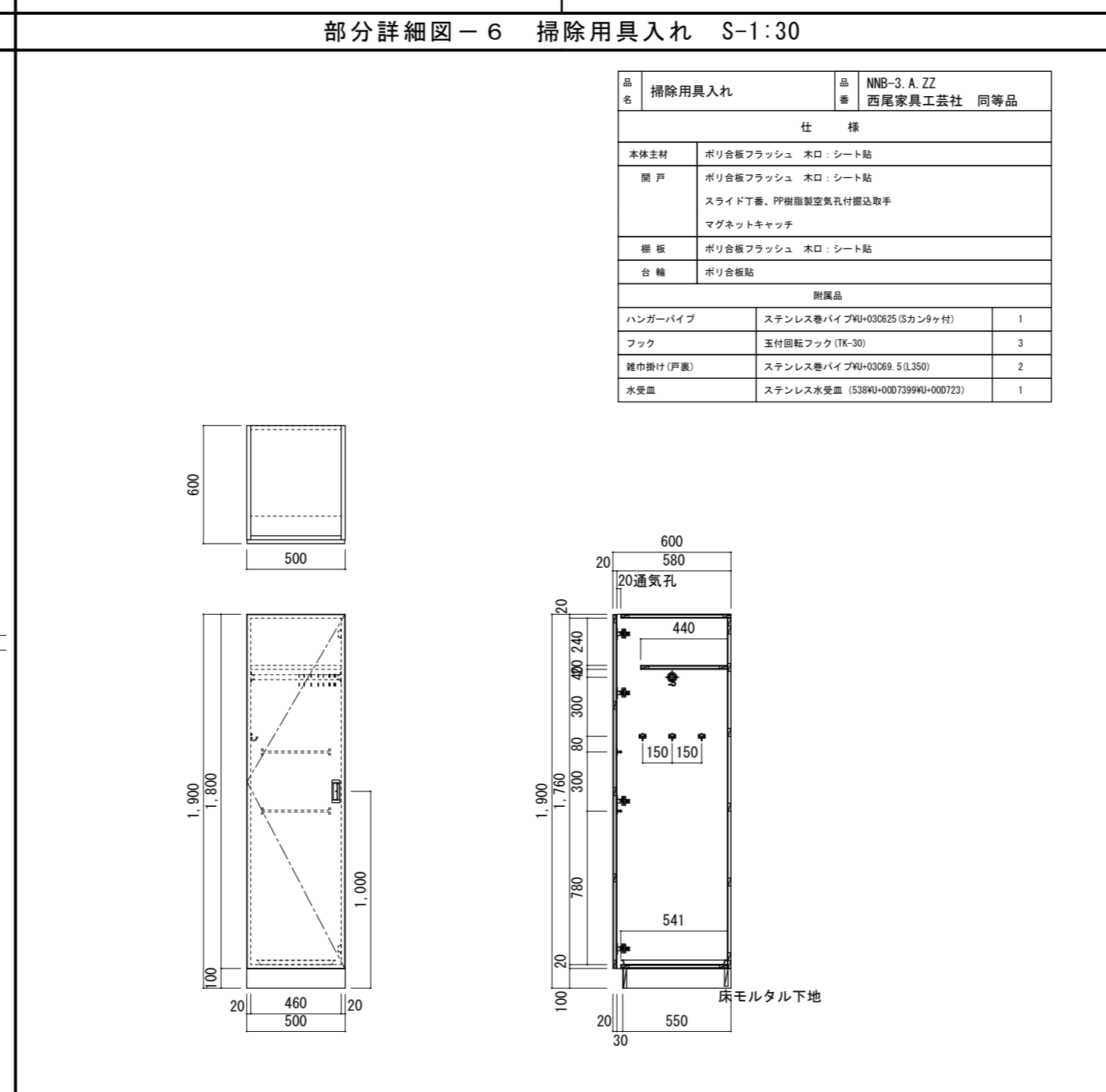
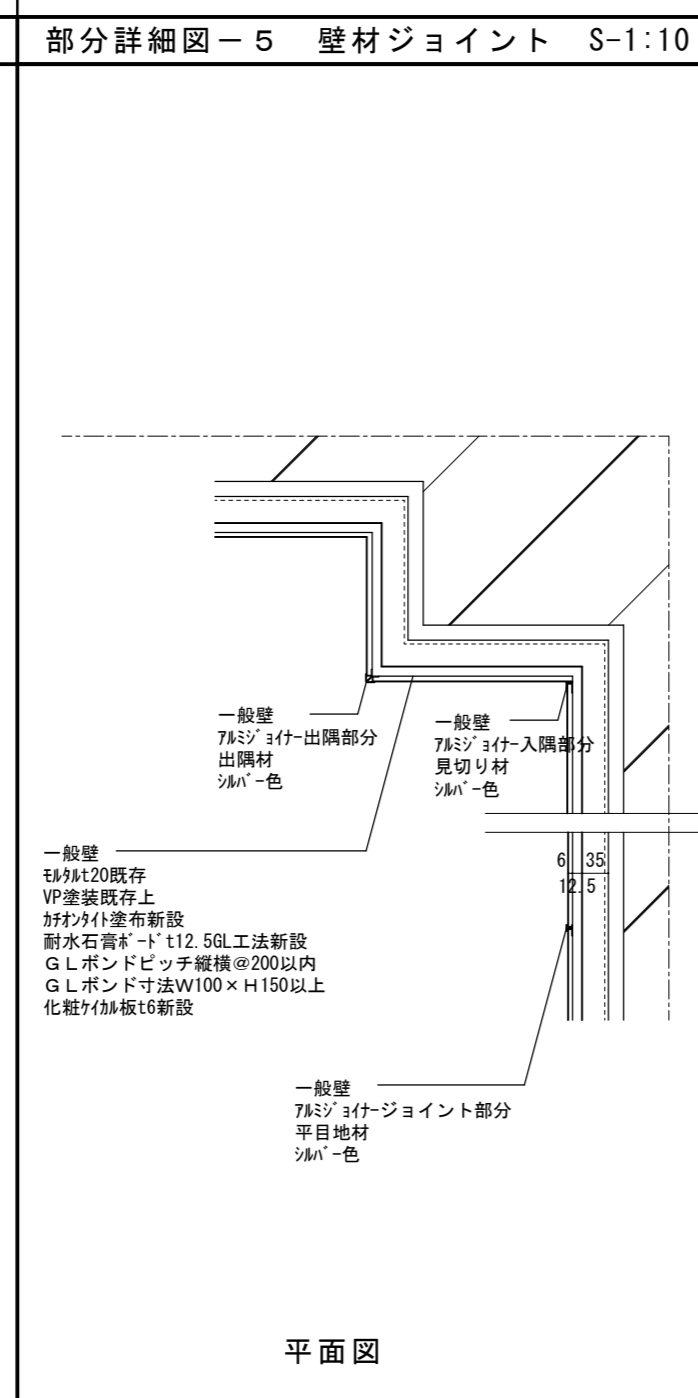
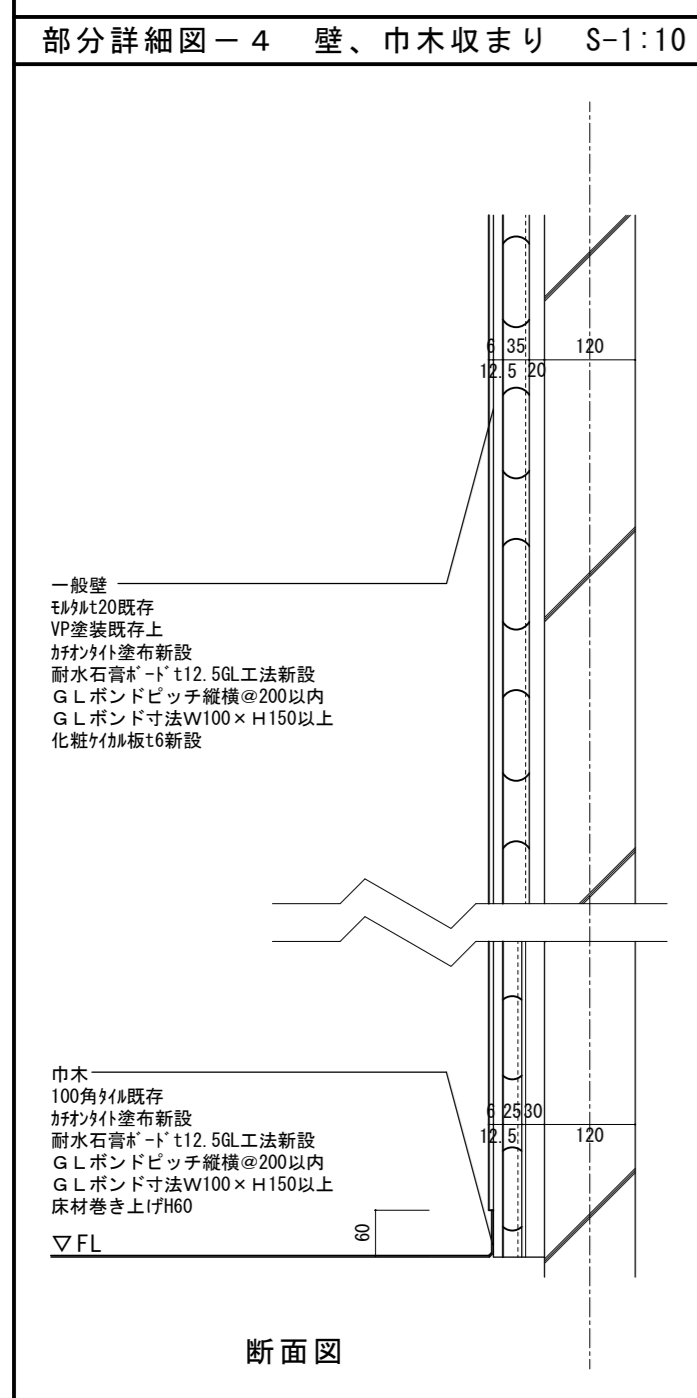
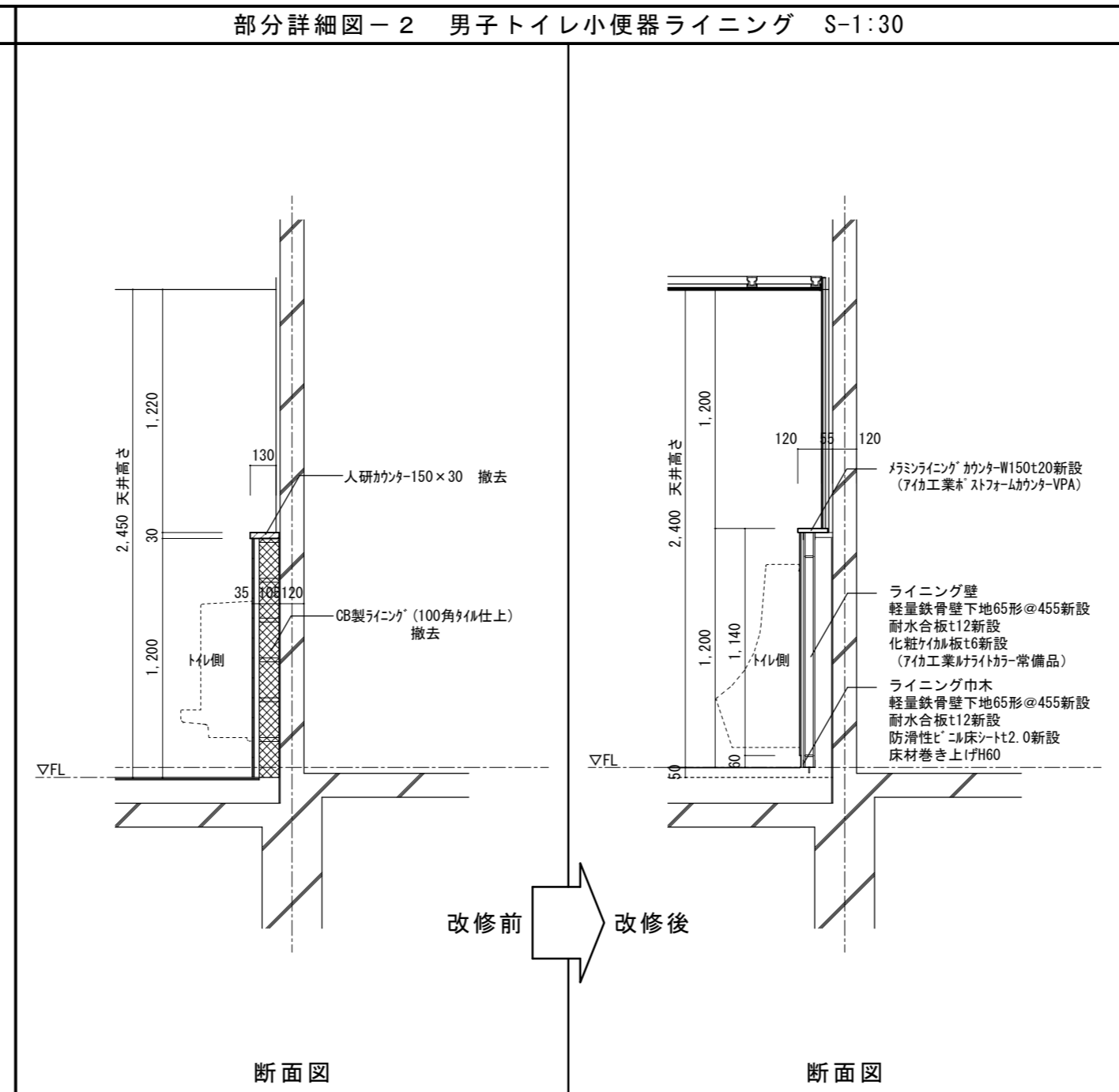
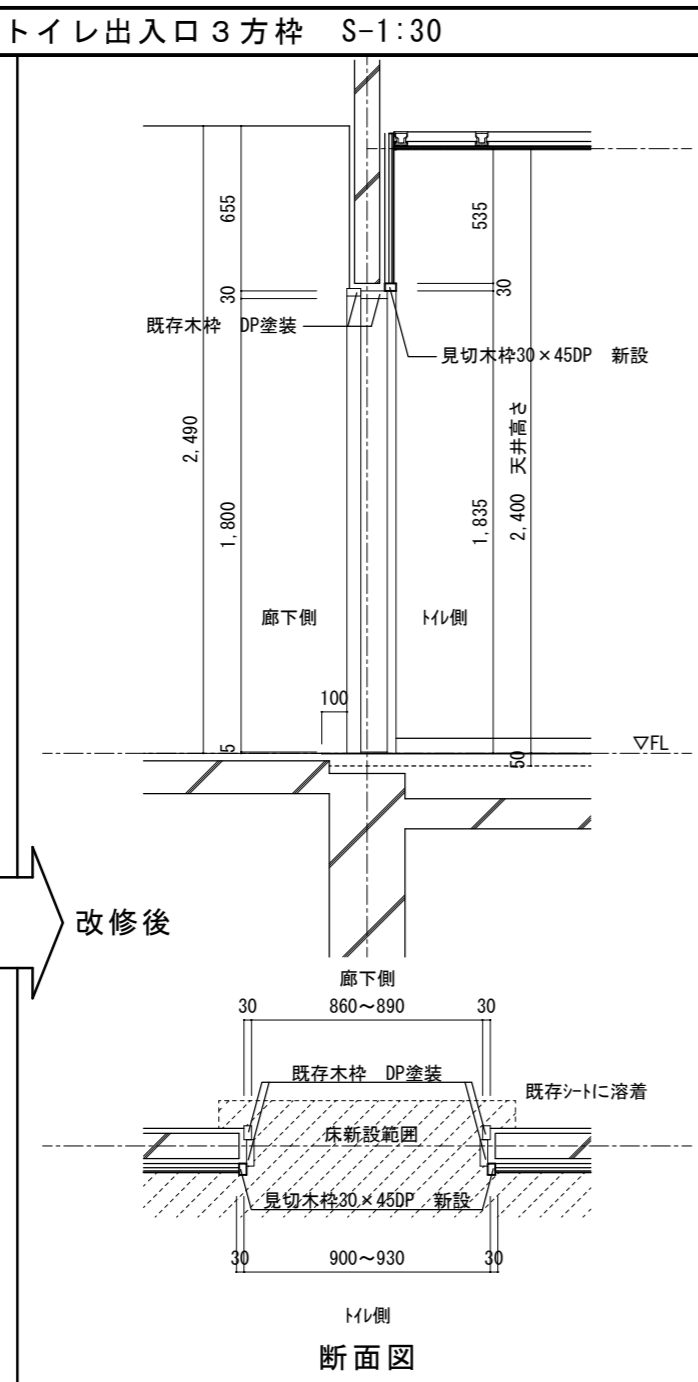
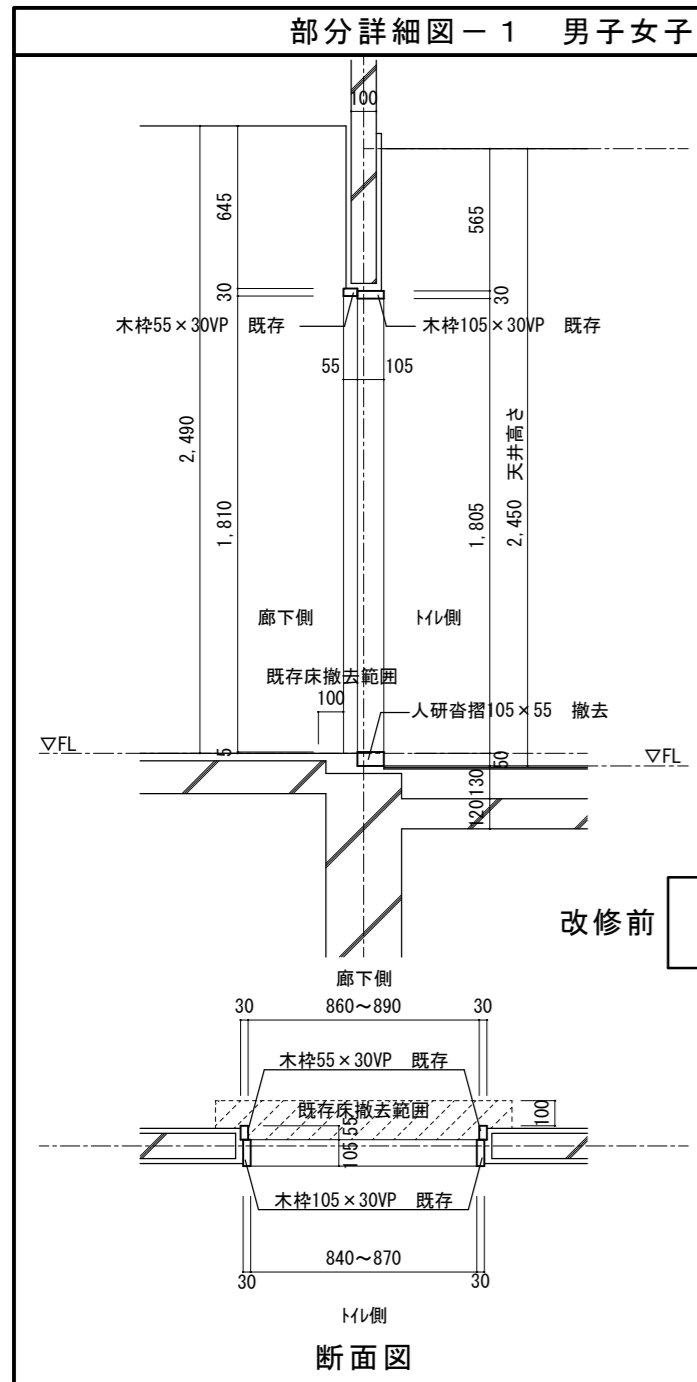
◇仕様表 (小松ウオール サニティTB-GPRタイプ同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
パネル	パネル表面材	ポリエステル樹脂化粧板
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
付属品	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	笠木	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理上>
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	スライドロックSM
その他金物	戸当り帽子掛けSK	

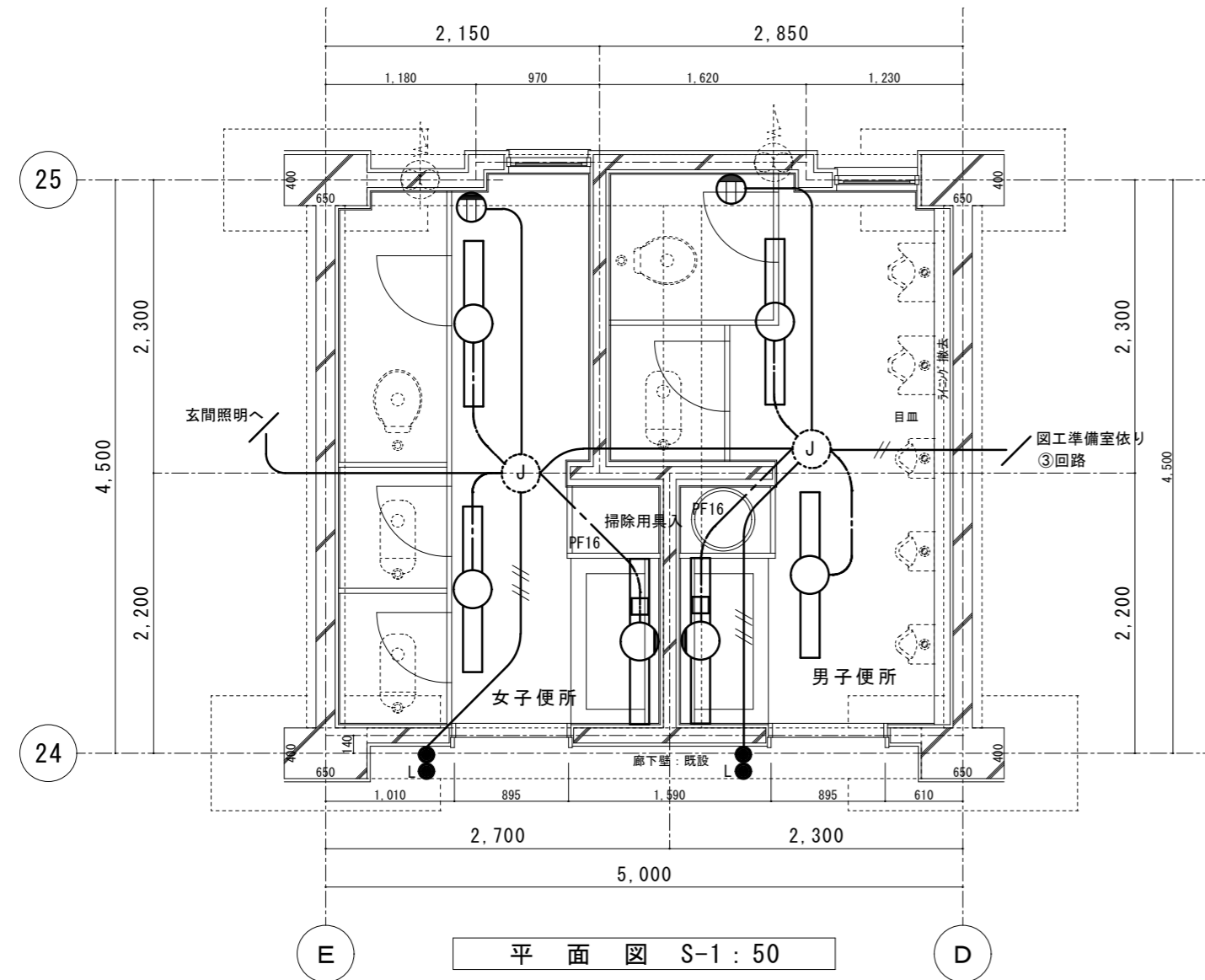


◇仕様表 (小松ウオール ナック-50SW同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール・床レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	方立・巾木	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	天井上枠・上枠	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
	コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイト処理上>
パネル	パネル表面材	垂鉛めっき鋼板 0.45mm <焼付塗装仕上> 冷間圧延鋼板 0.45mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア

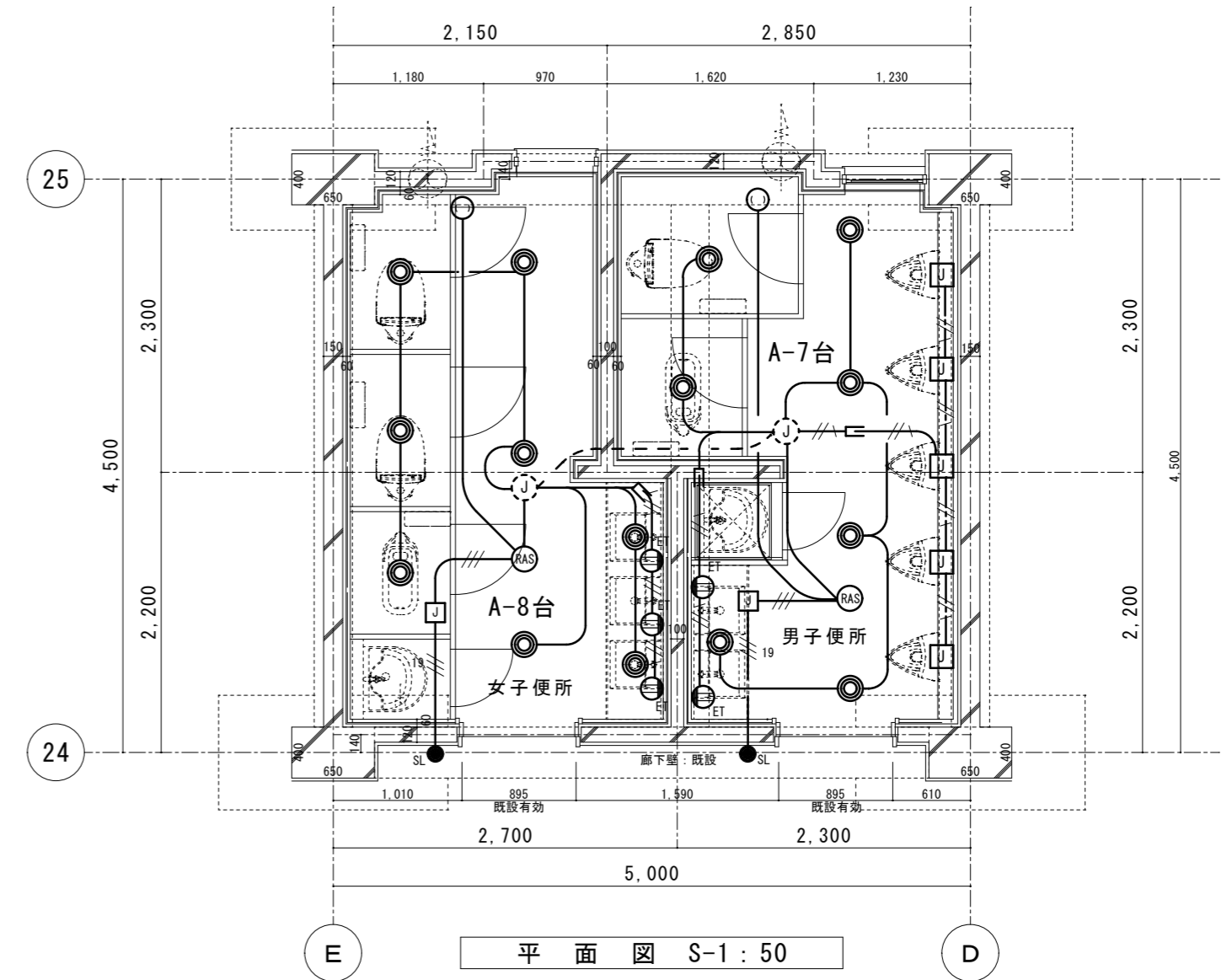


改修前



改修前

改修後



改修後

凡例

図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

—	IV1. 6x2 (既設配管19)
—	IV2. 0x2 (既設配管19)
—	IV1. 6x4 (既設配管19)
—	VVF1. 6-2C
—	VVF1. 6-2C (PF16)
—	照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
●●L	スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
⊕	換気扇用コンセント 2P15Ax1
○	照明：直付・富士型・FL40Wx1
○	照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

撤去

照明：直付・富士型・FL40Wx1
 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
 スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
 コンセント 2P15Ax1
 照明壁付立下げメタルモール
 配管内電線 (IV1. 6x2) (IV1. 6x4)
 天井内隠蔽配線 (VVF1. 6-2C)
 天井内配管取り合いに依り撤去

凡例

図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

—	EM-EEF1. 6-2C
—	EM-EEF1. 6-3C
—	EM-IEIV1. 6x3 (19)
—	EM-EEF1. 6-3C 1本接地線 (PF22)
- - -	既存配線

接地は既存天井内配管ボックス依り分岐
 二重天井内配線は、ケーブル配線とする。
 図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。

VVFケーブル：PF16
 VVFケーブル：PF22

凡例

○RAS	トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
●SL	操作ユニット WTC5820W (トイレ操作)
⊕ET	コンセント2P15Ax1 ET付
○	コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
⊕J	小便器センサー用電源

立ち下げボックス配管部分既存壁碎り隠蔽とする

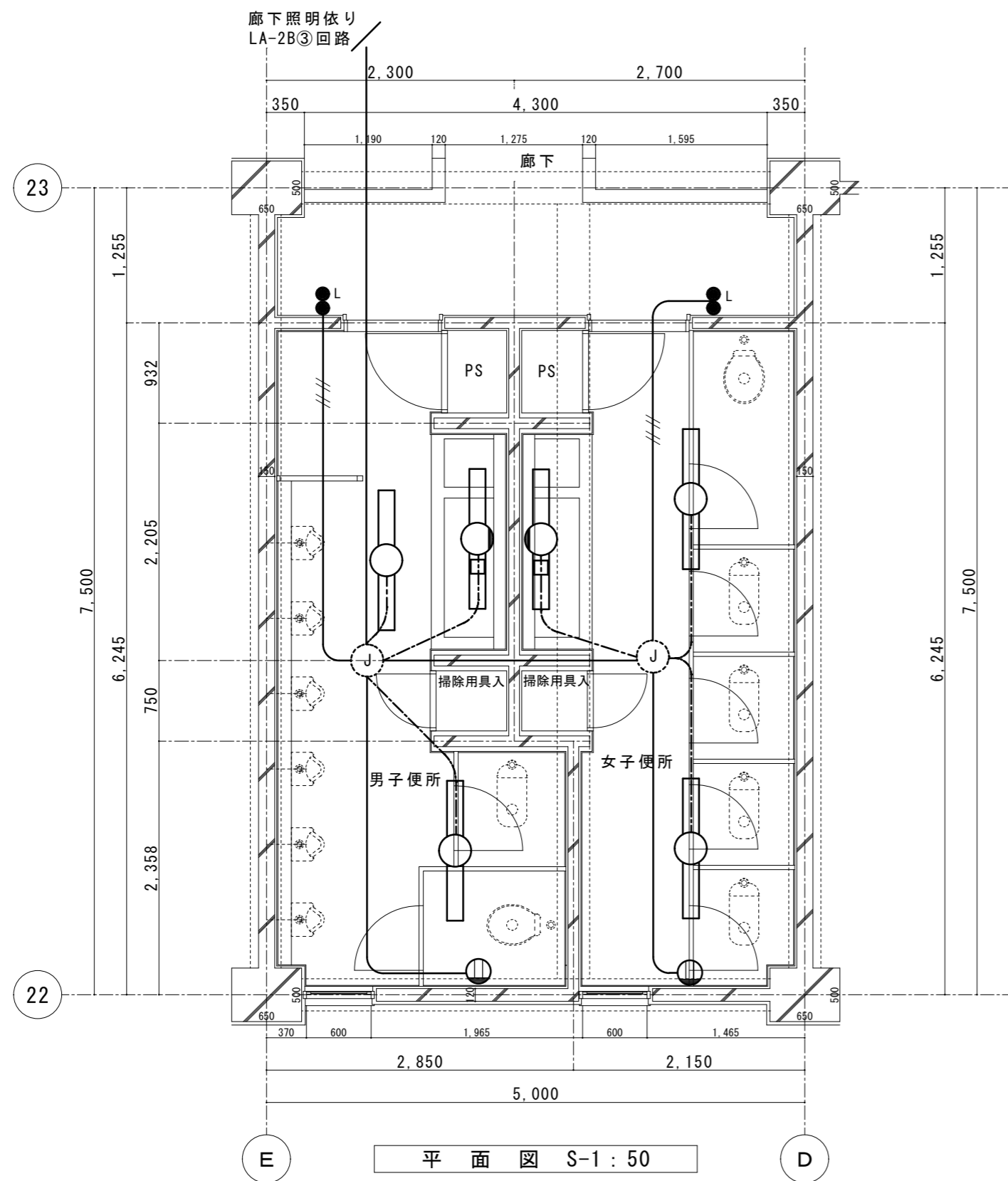
A LEDダウンライト 人感センサー付

本体：アルミダイカスト 埋込穴径：φ150
 枠：樹脂/バーজনホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103
 反射板：バーজনホワイト
 LED (昼白色)
 電源ユニット内蔵 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)

東芝 LEDD16001MY-LD9
 公 LDS2-LRS1-850LM + LECF10N-W11GH5070P

照明器具姿図

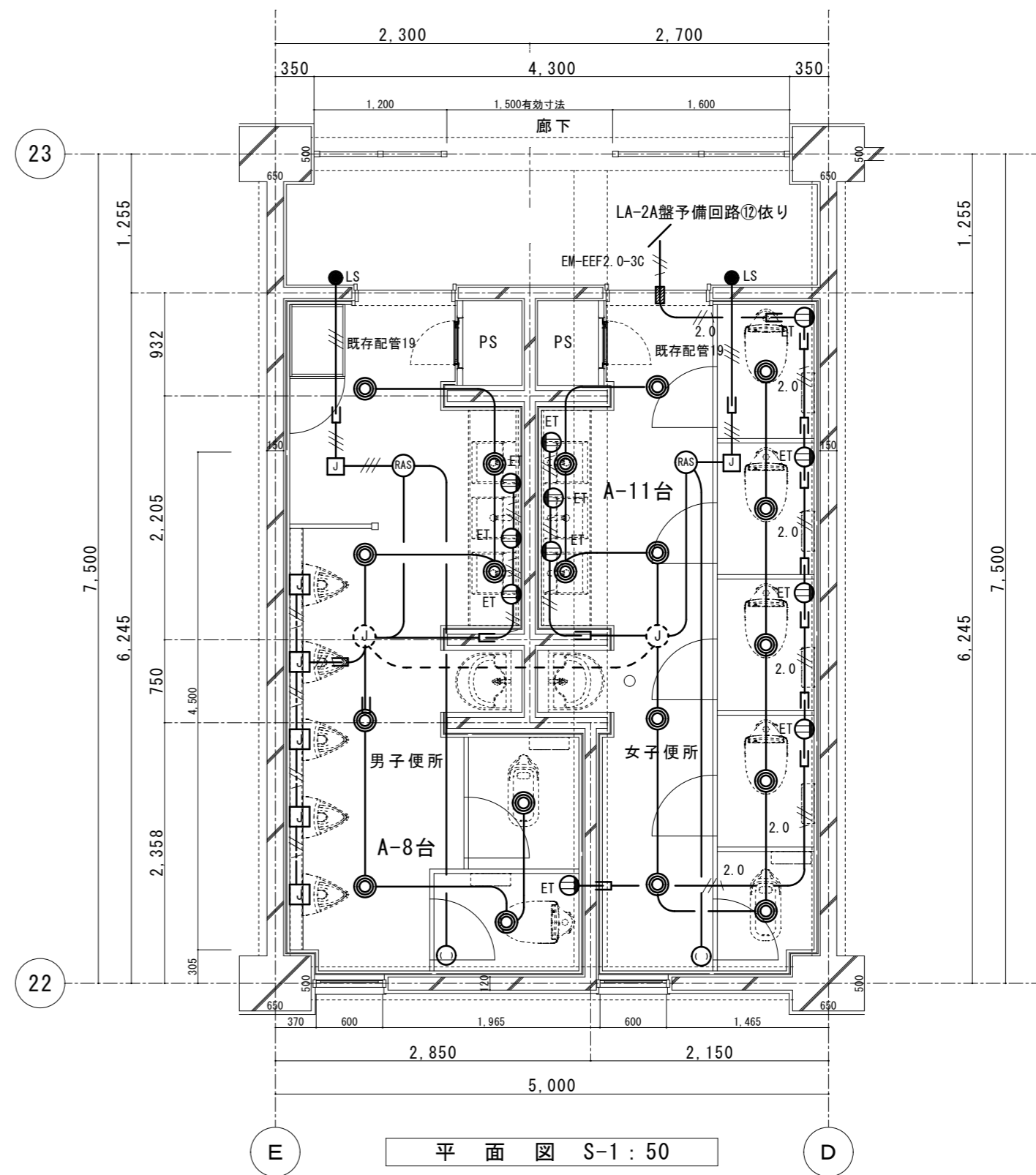
改修前



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- IV1. 6x2 (既設配管19)
 - IV2. 0x2 (既設配管19)
 - IV1. 6x4 (既設配管19)
 - VVF1. 6-2C
 - VVF1. 6-2C (PF16)
 - L 照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
 - L スイッチ 1P15Ax1 + 1P15AP付
 - 換気扇用コンセント 2P15Ax1
 - 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

- 撤去**
- 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
 - スイッチ 1P15Ax1 + 1P15AP付
 - コンセント 2P15Ax1
 - 照明壁付立下げメタルモール
 - 配管内電線 (IV1. 6x2) (1. 6x4)
 - 天井内隠蔽配線 (VVF1. 6-2C)
 - 天井内配管取り合いに依り撤去

改修後



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- EM-EEF1. 6-2C
 - EM-EEF1. 6-3C
 - EM-IEIV1. 6x3 (19)
 - EM-EEF1. 6-3C 1本接地線 (PF22)
 - EM-EEF2. 0-3C 1本接地線 (PF22)
 - 既設配線
 - 2.0 接地は既存天井内配管ボックス依り分岐
 - 2.0 二重天井内配線は、ケーブル配線とする。
 - 図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。
 - VVFケーブル A2条 : PF16
 - VVFケーブル A2条・3C : PF22
 - 壁貫通 38φ 100~150mm 防火区画材 国土交通省認定品

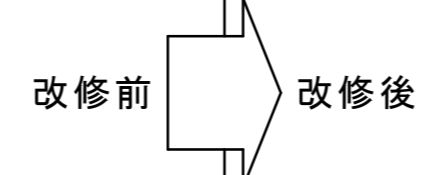
- 凡例**
- RAS トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
 - SL 操作ユニット WTC5820W (トイレ操作用)
 - コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
 - J 小便器センサー用電源
 - 立ち下げボックス配管部分既存壁内隠蔽とする
 - ET コンセント2P15Ax1 E端子付

A LEDダウンライト 人感センサー付

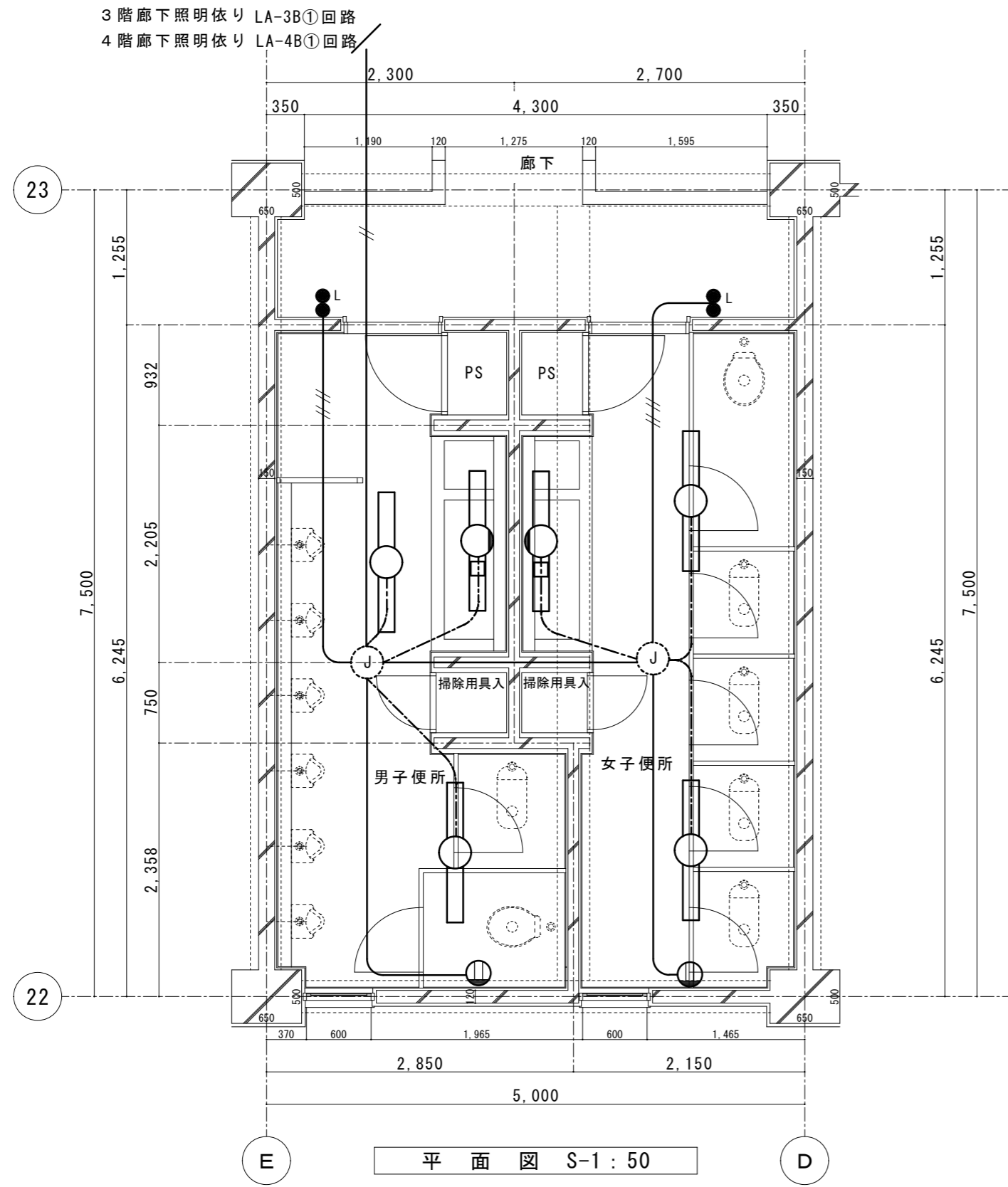
本体：アルミダイキャスト 埋込穴径：φ150
 枠：樹脂・パーシホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103
 反射板：パーシホワイト
 LED：昼白色
 電源ユニット内蔵 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)

東芝 LEDD16001MY-LD9
 公 LDS2-LRS1-850LM + LECF10N-W11GH5070P

照明器具姿図



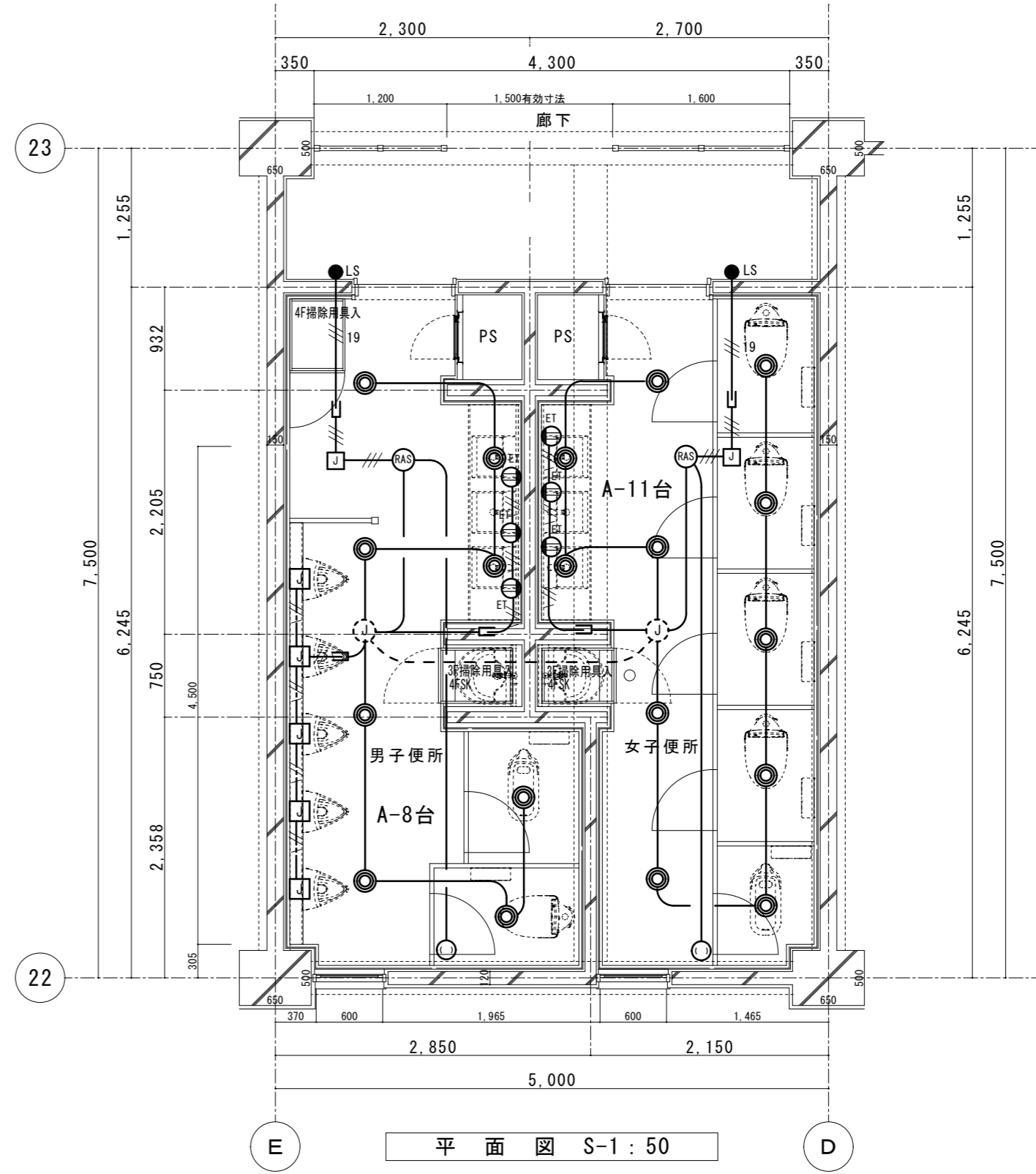
改修前



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- IV1.6x2 (既設配管19)
 - IV2.0x2 (既設配管19)
 - IV1.6x4 (既設配管19)
 - VVF1.6-2C
 - VVF1.6-2C (PF16)
 - L 照明壁付への立下げメタルボックス+メタルA
 - L 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - L 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1

- 撤去**
- 照明：直付・富士型・FL40Wx1
 - 照明：壁付・カバー付・FL40Wx1
 - スイッチ 1P15Ax1+1P15AP付
 - コンセント 2P15Ax1
 - 照明壁付立下げメタルモール
 - 配管内電線 (IV1.6x2) (IV1.6x4)
 - 天井内隠蔽配線 (VVF1.6-2C)
 - 天井内配管取り合いに依り撤去

改修後



- 凡例**
- 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。
- EM-EEF1.6-2C
 - EM-EEF1.6-3C
 - EM-LEIV1.6x3 (19)
 - EM-EEF1.6-3C 1本接地線 (PF22)
 - 既設配線
- 接地は既存天井内配管ボックス依り分岐
二重天井内配線は、ケーブル配線とする。
図中特記なき立下げ防護管は、下記とする。
VVFケーブル1束 : PF16
VVFケーブル2束・3C : PF22

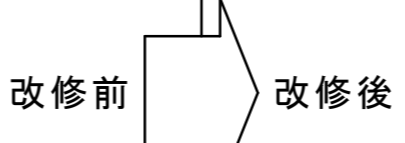
- 凡例**
- RAS トイレセンサー 親 WTK2401K 動作適正位置確認の事
 - SL 操作ユニット WTC5820W (トイレ操作)
 - ET コンセント2P15Ax1 ET端子付
 - コンセント2P15Ax1 ロック式 換気扇用
 - J 小便器センサー用電源
- 立ち下げボックス配管部分既存壁貼り隠蔽とする

A LEDダウンライト 人感センサー付

本体：アルミダイカスト 埋込穴径：φ150
 枠：樹脂/パーズンホワイト 器具寸法：幅169×303×埋込高103
 反射板：パーズンホワイト LED (昼白色)
 電源ユニット内蔵 寿命：40,000時間 (光束維持率85%)

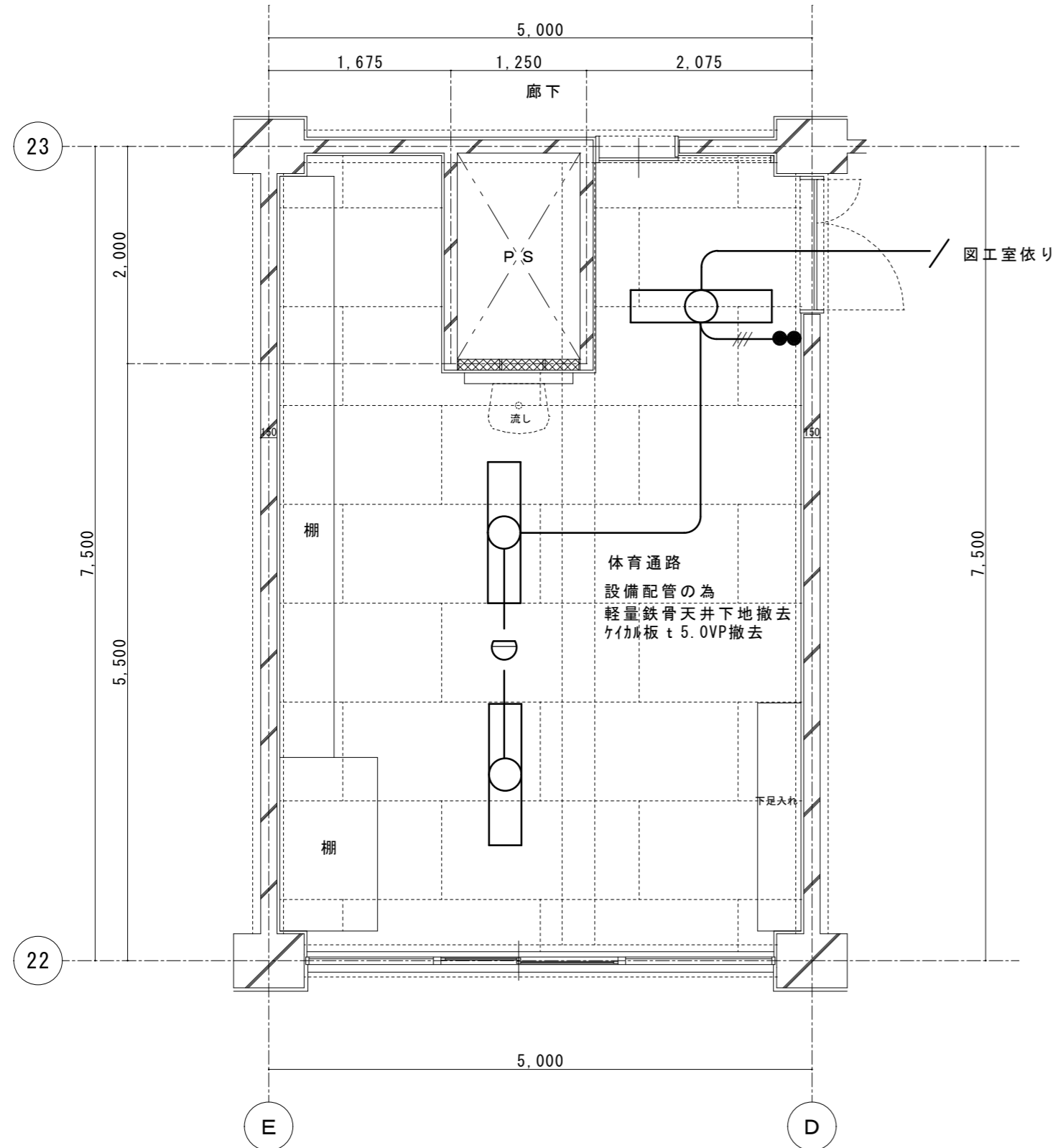
東芝 LEDD16001MY-LD9
 + LECF10N-W11GH5070P
 公 LDS2-LRS1-850LM

照明器具姿図



改修前

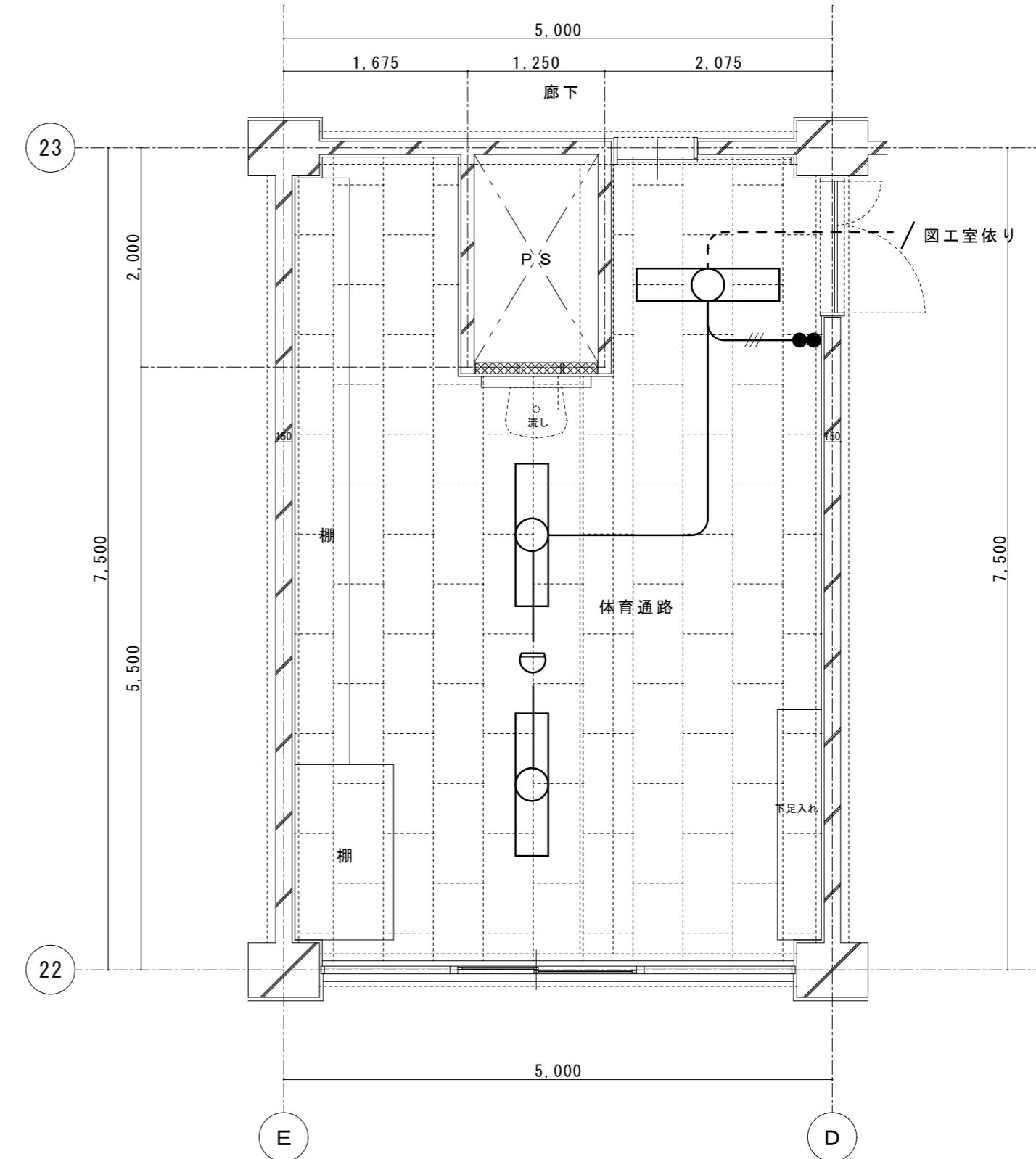
改修後



平面図 S-1:50

改修前

改修後



平面図 S-1:50

凡例
 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

	IV1.6x2 (既設配管19)
	IV1.6x3 (既設配管19)
	スイッチ 1P15Ax2
	照明：直付・富士型・FL40Wx2
	自火報 差動式スポット 2種

撤去

照明：直付・富士型・FL40Wx2
自火報 差動式スポット 2種
スイッチ 1P15Ax2
天井内配管配線

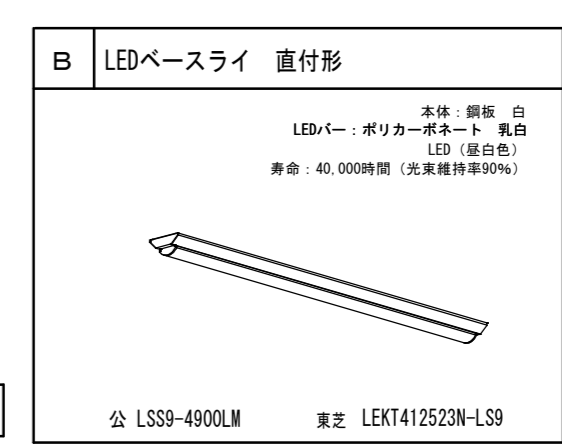
凡例
 図中特記なき配管配線は、下記の通りとする。

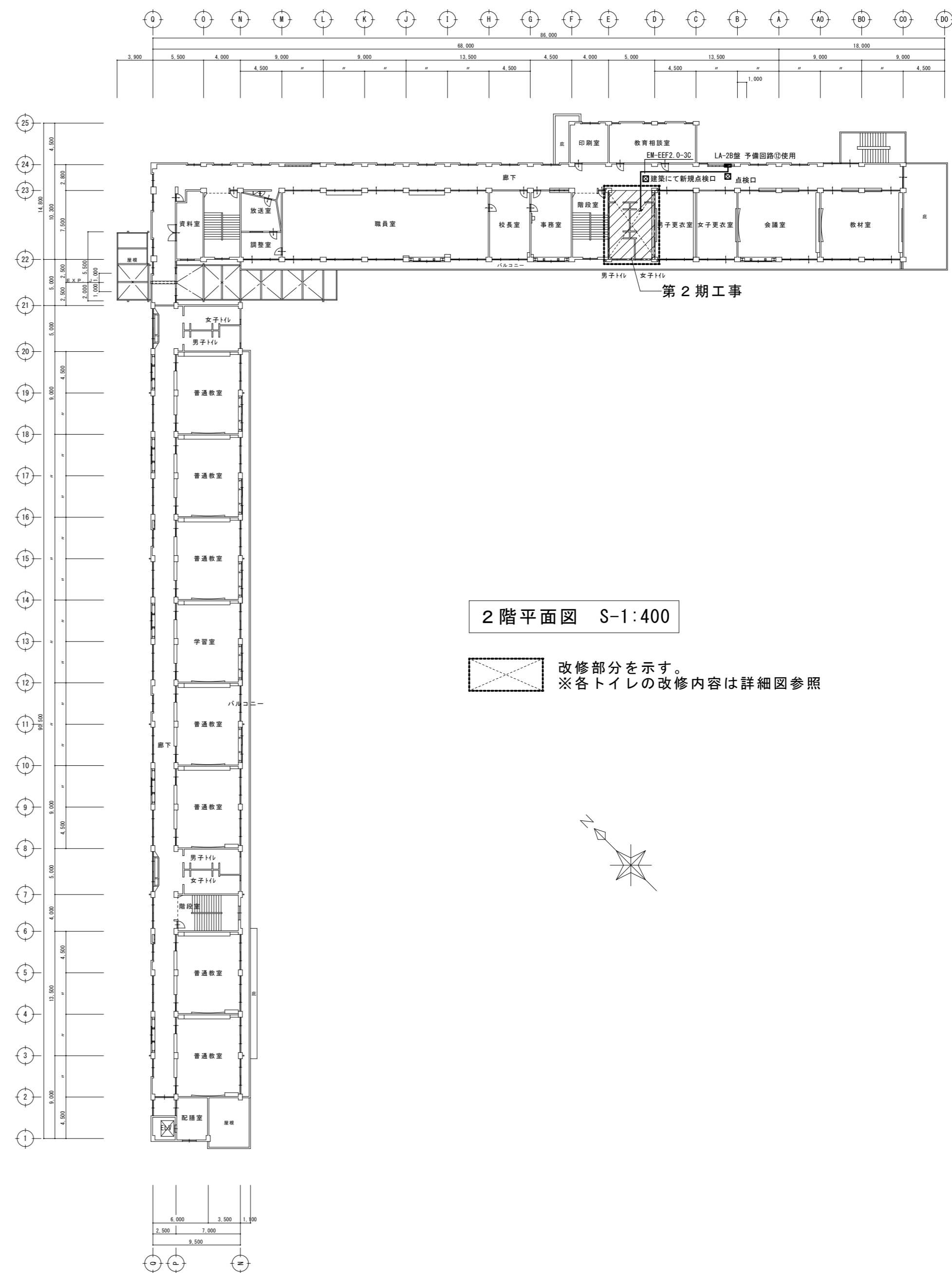
	EM-EEF1.6-2C
	IV1.6x4 (既設配管19)
	スイッチ 1P15Ax2 新設
	照明：直付・富士型・LED40W相当x2 新設
	自火報 差動式スポット 2種 新設

特記

照明・スイッチ新設とする。
自火報 差動式スポット 2種 新設とする。

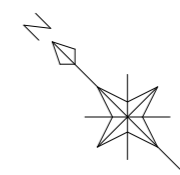
照明器具姿図





2階平面図 S-1:400

改修部分を示す。
※各トイレの改修内容は詳細図参照



R1
富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisekai@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 設計 製図

富士見市総合政策部
管財課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第2期工事)
図面名 2階分岐幹線図 S=1:400

図面番号
E
06

○ 環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1. 本工事は、アスベスト含有の恐れのある保温材、ダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。 設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2. アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3. この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事（建築工事）」（平成29年版）（以下「改修標準」という）による。																																																																																																																							
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う（下表による） <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </tbody> </table> 採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト） 分析方法 ※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																													
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																							
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																								
3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による） 測定箇所 ※ 図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 5</td> <td>負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点（レベル3は1点）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 9</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点（レベル3は1点）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定 10</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マップレフィルの直径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> 報告書の作成（記録する項目） ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。） エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向	適用		測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3					○	○	・	測定 1	処理作業室内	※各2点・各3点		○	○	・	測定 2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 3	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定 4	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	○	・	・	測定 5	負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	○	測定 7	処理作業室内	各2点（レベル3は1点）		○	○	・	測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定 9	処理作業室内	各2点（レベル3は1点）		・	・	・	測定 10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			マップレフィルの直径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
適用		測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																																			
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																							
○	○	・	測定 1	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																																				
○	○	・	測定 2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
・	・	・	測定 3	処理作業室内	各2点																																																																																																																				
○	・	・	測定 4	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																			
○	・	・	測定 5	負圧・粉じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																			
○	○	・	測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
○	○	○	測定 7	処理作業室内	各2点（レベル3は1点）																																																																																																																				
○	○	・	測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
・	・	・	測定 9	処理作業室内	各2点（レベル3は1点）																																																																																																																				
・	・	・	測定 10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																				
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																						
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																								
マップレフィルの直径	25 mm		47 mm																																																																																																																						
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																						
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																						
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法																																																																																																																								
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																								
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																								
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																						

4 7μm以上含有吹き付け材の撤去（レベル1）	アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹き付けアスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> 2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td>・</td> <td>※ 図示 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td>アモサイト トリセライト アグライト</td> <td>※ 図示 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>・</td> <td>※ 図示 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 図示 撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> ※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。 ＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー <pre> (1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査 ↓ 可能性あり・不明 ↓ (2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認） ↓ 可能性あり・不明 ↓ 分析を実施しない場合 → 石綿含有とみなす → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 ↓ 分析を実施する場合 ↓ (3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など ↓ 石綿含有0.1%を超えていると判断 → 石綿使用あり・届出要件確認・届出 ↓ 石綿含有0.1%以下と判断 → 石綿使用なし </pre> ＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー 1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等の非飛散性石綿含有建材を原形のまま取り外す場合には、粉じん飛散の程度が比較的低いことから、薬液等による湿潤化を基本として、次のとおり除去する。なお、劣化し粉じん飛散のおそれのある場合は、石綿含有吹き付け材除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・	・	※ 図示	・	・	※ 図示	・	・	※ 図示	・	・	※ 図示	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	・	※ 図示 撤去範囲すべて	・石綿含有保温材付配管	アモサイト トリセライト アグライト	※ 図示 撤去範囲すべて	・石綿含有配管フランジパッキン	・	※ 図示 撤去範囲すべて	・	・	※ 図示 撤去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
・	・	※ 図示																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	・	※ 図示 撤去範囲すべて																													
・石綿含有保温材付配管	アモサイト トリセライト アグライト	※ 図示 撤去範囲すべて																													
・石綿含有配管フランジパッキン	・	※ 図示 撤去範囲すべて																													
・	・	※ 図示 撤去範囲すべて																													

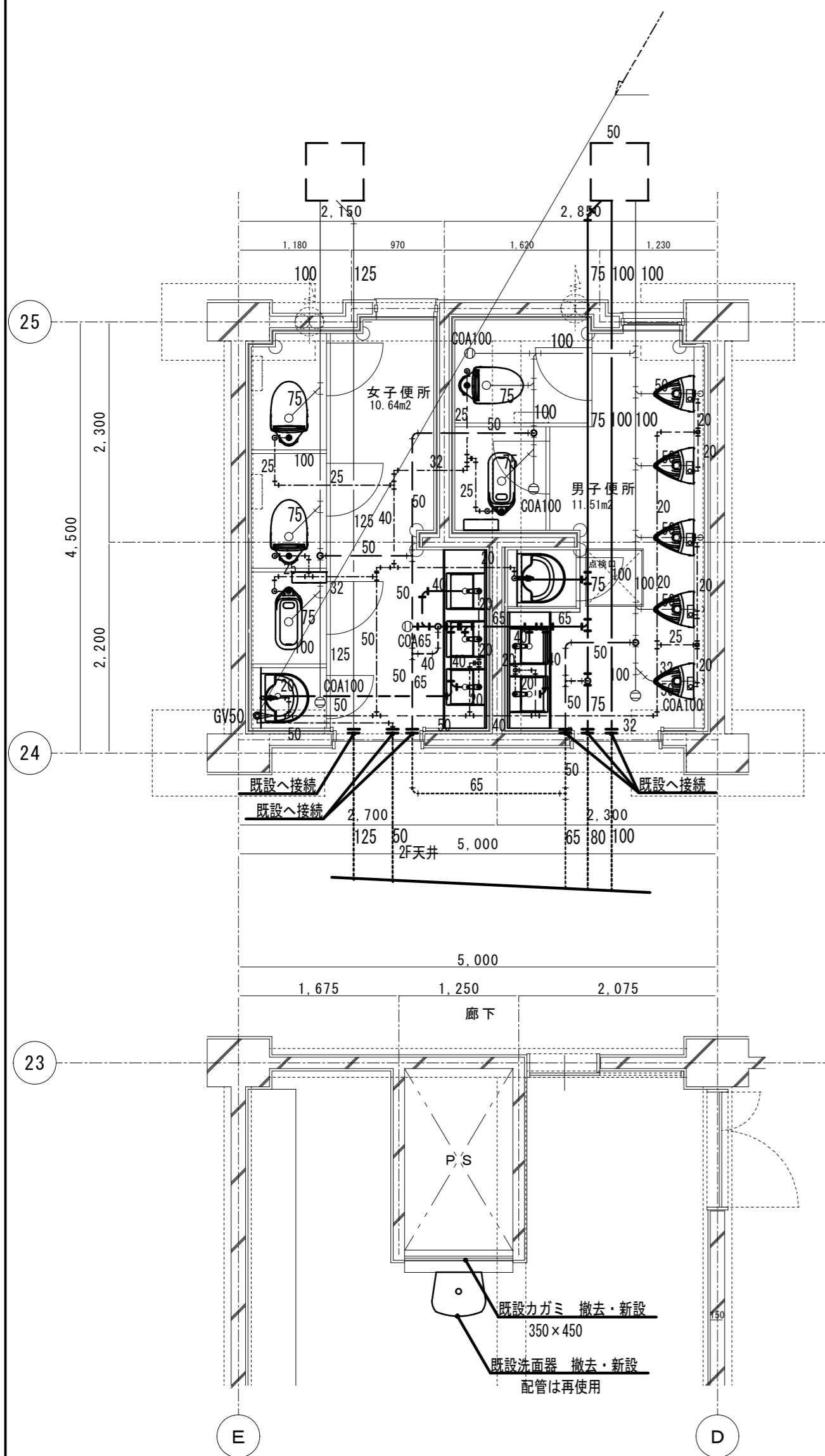
<p>＜作業フローチャート＞</p> <p>2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3） 建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではなく、特定粉じん飛散のおそれがない場合には、「特定粉じん等排出作業」には該当しない。</p> <p>＜作業フローチャート＞</p> <p>参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法 石綿含有パッキン、ダクトジョイントパッキン、ジョイントボックス、切断、紙締め、ダクト鉄板、切断。</p> <p>参考図2 配管フランジパッキンの除去方法 石綿含有パッキン、切断、ガス管、切断。</p> <p>3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル3一部レベル2） 直接石綿含有物に触れるわけではなく、レベル3で扱えばよいが、保温材等の劣化が見受けられる場合が多く、飛散のおそれがある。そこで、養生等について一部レベル2として取り扱う。ただし、石綿障害予防規則第5条の「作業届」が必要。</p> <p>＜作業フローチャート＞</p> <p>参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法 養生テープ、石綿含有保温材、ポリシート、養生テープ、切断、10cm程度、切断。</p>	<p>設計年月日</p> <p>榎柳井設計</p> <p>富士見市 総合政策部 管財課</p> <p>課長 副課長 主幹 主任 担当</p> <p>縮尺</p> <p>工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事（第2期工事）</p> <p>図面名称 機械設備工事特記仕様書-3</p> <p>図面番号 M-03</p>
---	---

新設器具表				二期工事管理棟便所							
器具名称	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	仕様・参考型番	二期工事管理棟便所							二期 合計
				一階男子便所・他	一階女子便所	体育通路	二階男子便所	二階女子便所	三階男子便所	三階女子便所	
洋風大便器	CFS494NHNS	C-P25S	CF-T7114A, 普通便座CF49AT, CF-63HST, その他付属品一式共	1	2				2	8	13
洋風大便器	CFS494NHNS	C-P25S	CF-T7114A, ウォシュレット(貯湯式・音姫付), CF-63HST, その他付属品一式共				1	4			5
和風大便器	C755VU	C-852B	CF-610BUT, CF-63HST, その他付属品一式共	1	1		1	1	2	2	8
和風便器用耐火カバー	HG755E	R-40					1	1	2	2	6
小便器	UFS900JCS	U-A51AP	壁掛式、低リップタイプ、自動洗浄、その他付属品一式共	5			5		10		20
カウンター洗面器	MK50	MB500	L=2,000 洗面器x3 自動水栓 その他付属品共		1		1	1	2	2	7
カウンター洗面器	MK50	MB500	L=1,200 洗面器x2 自動水栓 その他付属品共	1							1
化粧鏡		KF-3545		2	3	1	3	3	6	6	24
洗面器	L210C		TLS01101J・付属品共			1					1
掃除用流し	SK507		T130AUN13C T9R+T8C+TK40P・付属品共	1	1		1	1	1	1	6
壁用換気扇			FE-1 30cm 1200m3/Hx31W 電気シャッター・SUSがけカバー・取付枠共	1	1		1	1	2	2	8

* 型番は参考型番とし、同等品以上とする
 * 4階便所の大便器FVは低圧用FVとする。

撤去器具表			二期工事管理棟便所							
器具名称	型番	仕様・参考型番	二期工事管理棟便所							二期 合計
			一階男子便所・他	一階女子便所	体育通路	二階男子便所	二階女子便所	三階男子便所	三階女子便所	
和風大便器	C750VF	付属品一式共	1	2		1	4	2	8	18
洋風大便器	C21	付属品一式共	1	1		1	1	2	2	8
小便器	U57+FV	壁掛け式、その他付属品一式共	5			6		12		23
化粧鏡		450 x 360, 耐食鏡	2	2	1	3	3	6	6	23
洗面器		付属品一式共	1							1
ホーム水栓	F7-13		3	3		4	4	8	8	30
壁用換気扇		30cm 1200m3/Hx31W SUSがけカバー共	1	1		1	1	2	2	8

* 和風大便器撤去後の穴埋め・補修は建築工事とする

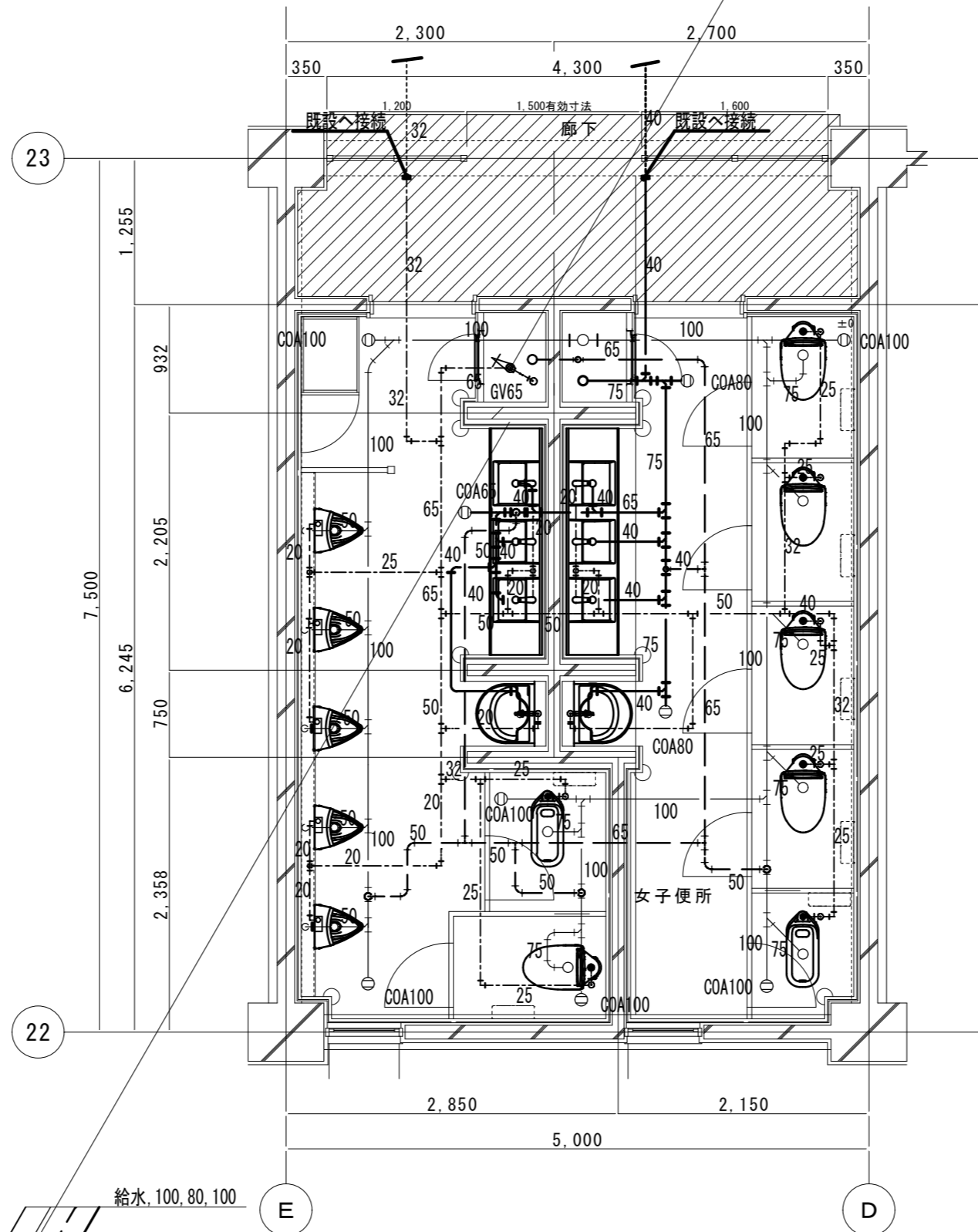


1階 改修後

平面図 S-1:50

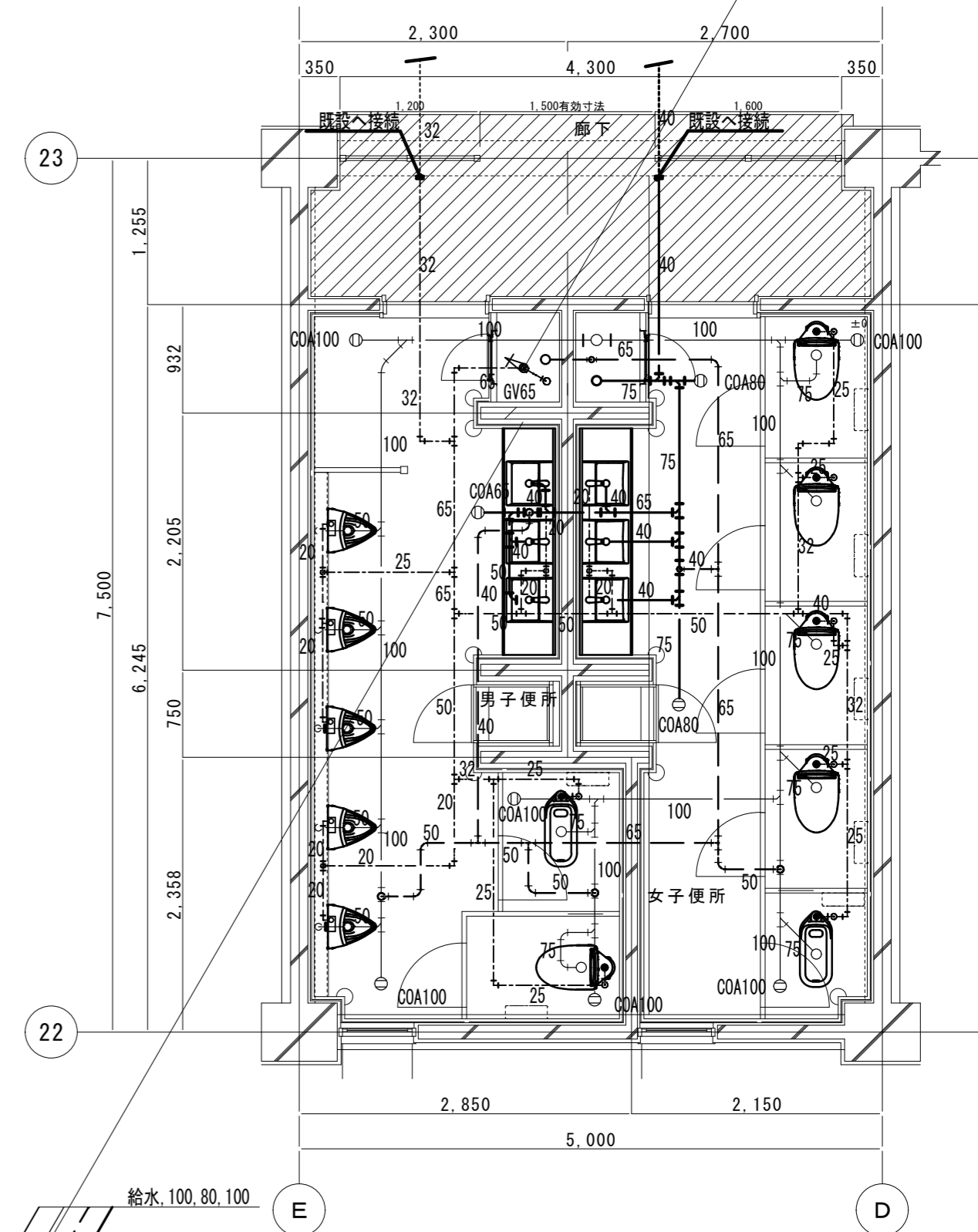
特記事項

- * 梁スリーブは既設を再使用する事。
- * 既設接続配管は既設配管口径に合わせる事。
- * 立て管は再使用する。
- * 床補修は建築工事とする。



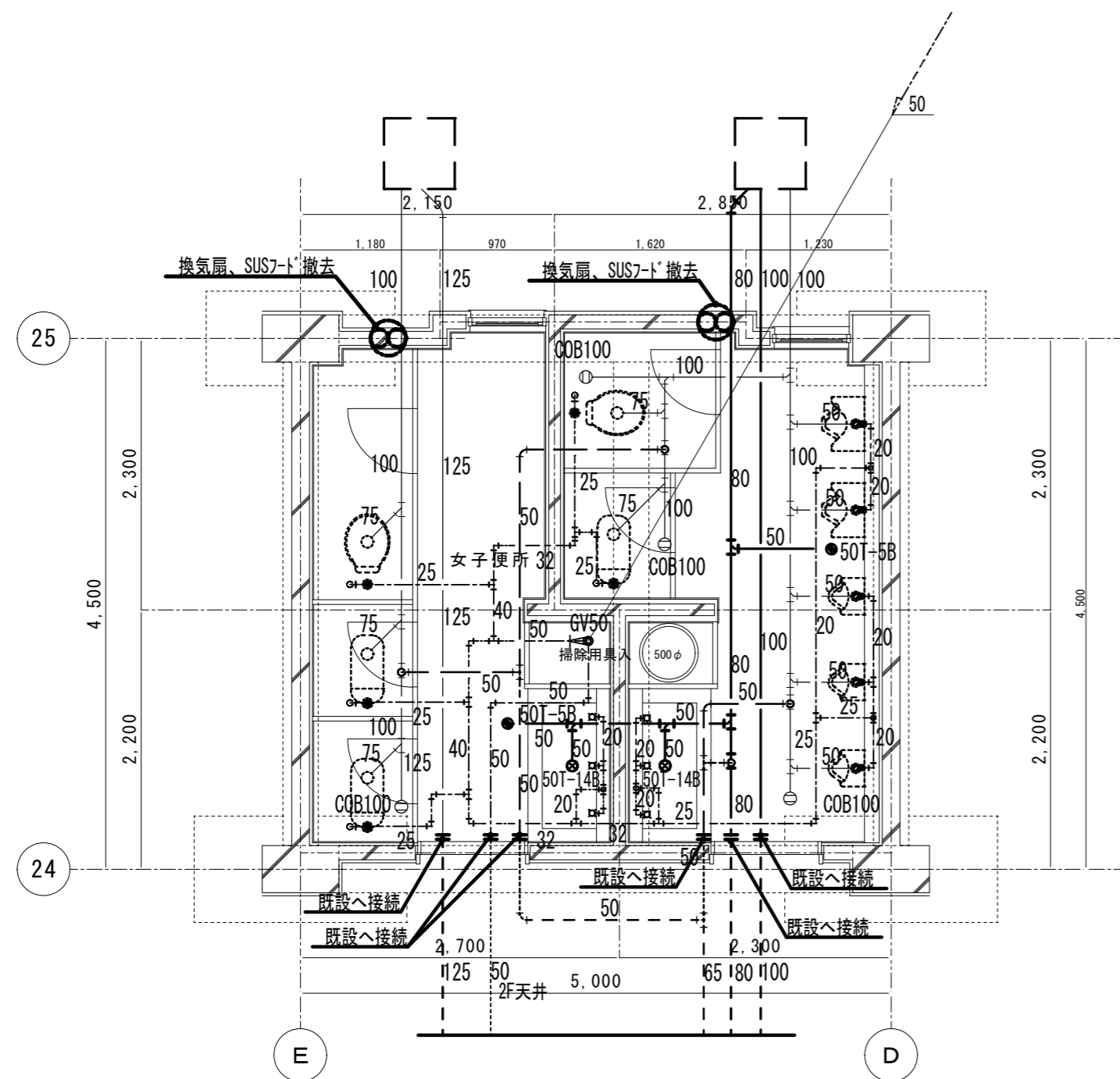
2、4階 改修後

平面図 S-1:50

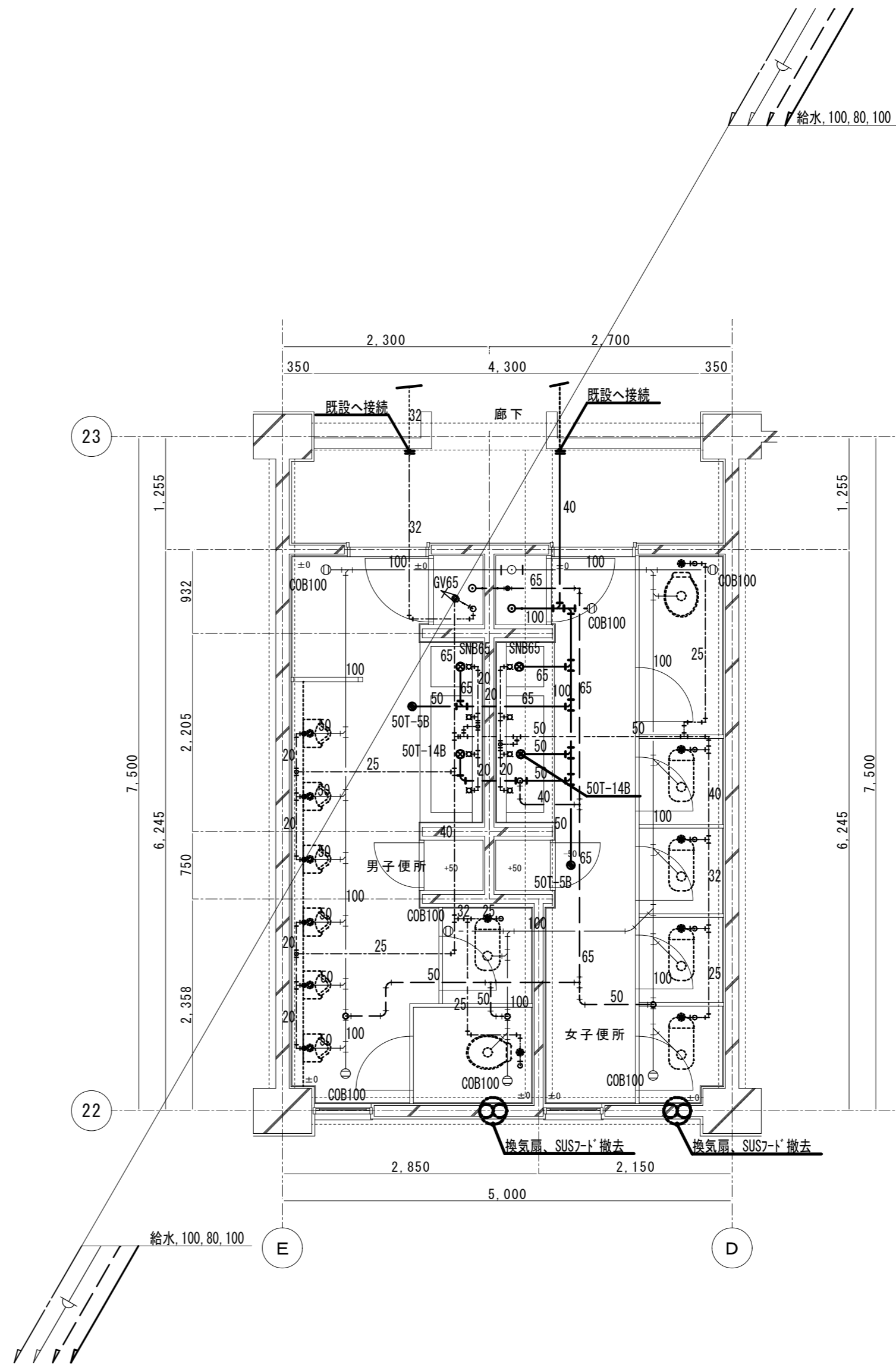


3階 改修後

平面図 S-1:50



1階 改修前
平面図 S-1:50



2-4階 改修前
平面図 S-1:50

特記事項

- * 便所内の器具・配管は全て撤去、新設とする。
- * 立て管は再使用する。